

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査  
調査結果報告書

平成 31 年 3 月  
湯沢町



# 目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査の種類と実施方法	1
3 回収結果	1
4 報告書をみる際の注意	1
II. 就学前児童アンケート調査結果	2
1 お住まいの地域について	2
(1) 居住地区	2
2 お子さんご家族の状況について	2
(2) お子さんの年齢	2
(3) お子さんの人数	3
(4) 回答者の続柄	4
(5) 回答者の配偶関係	4
(6) 子育ての主な担い手	5
3 育ちをめぐる環境について	5
(7) 子どもをみてもらえる親族・知人	5
(8) 親族に子どもをみてもらう状況	6
(9) 友人・知人に子どもをみてもらう状況	7
(10) 子育てについての相談者の存在	7
(11) 子育てについての相談者	8
4 保護者の就労状況について	9
(12) 保護者の就労状況	9
(13) フルタイムへの転換希望	12
(14) 就労希望	13
5 職場の両立支援制度について	15
(15) 父母の育児休業の取得状況	15
(16) 0～2歳期における子育てに関する考え方	17
(17) 育児休業取得後の職場復帰状況	17
(18) 育児休業から職場復帰したタイミング	18
(19) 実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢	19

(20)	3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の子どもの年齢.....	20
(21)	子どもが1歳になったとき必ず預けられる事業があった場合.....	20
(22)	希望の時期に職場復帰しなかった理由.....	21
6	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	22
(23)	定期的な教育・保育事業の利用.....	22
(24)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	22
(25)	平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用頻度.....	23
(26)	平日の定期的な教育・保育事業の実施場所.....	25
(27)	平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由.....	25
(28)	平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由.....	26
(29)	平日の定期的な教育・保育事業の実施場所.....	27
(30)	平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所.....	28
(31)	幼稚園の強い利用希望.....	28
(32)	ファミリー・サポート・センターの利用希望.....	29
7	地域の子育て支援事業の利用状況について.....	30
(33)	利用している地域子育て支援拠点事業.....	30
(34)	地域子育て支援拠点事業の利用希望.....	31
(35)	各事業の認知度や利用状況.....	33
8	休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	36
(36)	土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	36
(37)	土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由.....	38
(38)	長期休暇中の幼稚園の利用希望.....	38
9	病気の際の対応について.....	39
(39)	病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験.....	39
(40)	子どもが病気の際の対処方法.....	40
(41)	病児・病後児保育施設等の利用希望.....	42
(42)	病児・病後児保育施設の望ましい事業形態.....	43
(43)	病児・病後児保育施設等を利用したくない理由.....	44
(44)	子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望.....	45
10	不定期の事業・宿泊を伴う一時保育の利用について.....	46
(45)	不定期な教育・保育事業の利用状況.....	46
(46)	不定期な教育・保育事業を利用しない理由.....	48
(47)	不定期な教育・保育事業の利用希望.....	49
(48)	泊りがけで家族以外に預けた経験.....	51
(49)	泊りがけで家族以外に預けた際の困難度.....	53
11	5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方の希望について.....	54
(50)	小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所.....	54

(51) 小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所.....	56
(52) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望.....	58
(53) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望.....	60
12 湯沢町の子育て支援対策について.....	61
(54) 湯沢町が力を入れるべき子育て支援策.....	61
(55) 子育ての環境や支援への満足度.....	62
III. 就学児童アンケート調査結果.....	63
1 お住まいの地域について.....	63
(1) 居住地区.....	63
2 お子さんご家族の状況について.....	63
(2) お子さんの学年.....	63
(3) 子どもの人数.....	64
(4) 回答者の続柄.....	65
(5) 回答者の配偶関係.....	65
(6) 子育ての主な担い手.....	66
3 育ちをめぐる環境について.....	67
(7) 子どもをみてもらえる親族・知人.....	67
(8) 子育てについての相談者の存在.....	68
(9) 子育てについての相談者.....	68
4 保護者の就労状況について.....	69
(10) 保護者の就労状況.....	69
(11) フルタイムへの転換希望.....	72
(12) 就労希望.....	73
5 仕事と子育ての両立支援制度について.....	75
(13) 各事業の認知度や利用状況.....	75
(14) 放課後児童クラブの利用について.....	78
(15) 放課後児童クラブを利用する理由.....	79
(16) 放課後児童クラブを利用しない理由.....	80
(17) 放課後児童クラブの利用希望について.....	81
(18) 放課後児童クラブを利用したい理由.....	82
(19) ファミリー・サポート・センターを利用希望する目的.....	83
6 病気やけがの際の対応について.....	84
(20) 病気やけがで通園や通学が利用できなかった経験.....	84
(21) 子どもが病気の際の対処方法.....	85
(22) 病児・病後児保育施設等の利用希望.....	87

(23) 病児・病後児保育施設を利用したくない理由.....	88
(24) 子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望.....	89
(25) 不定期な教育・保育事業の利用希望.....	90
(26) 泊りがけで家族以外に預けた経験.....	92
(27) 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度.....	94
7 お子さんの日常生活、放課後の過ごし方について.....	95
(28) 小学校の間の放課後過ごさせたい場所.....	95
(29) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望.....	97
(30) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望.....	99
8 湯沢町の子育て支援対策について.....	100
(31) 湯沢町が力を入れるべき子育て支援策.....	100
(32) 子育ての環境や支援への満足度.....	101
 IV. 調査結果からみた課題.....	 102
(1) 育ちをめぐる環境について.....	102
(2) 保護者の就労状況と教育・保育事業について.....	102
(3) 職場の両立支援制度について.....	102
(4) 地域子育て支援事業利用について.....	102
(5) 子育て支援事業の認知とニーズについて.....	103
(6) 病児・病後児保育について.....	103
(7) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用について.....	103
(8) 今後町が力を入れるべき子育て支援策について.....	103
(9) 子育ての環境や支援への満足度について.....	103

# I. 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、子ども・子育て支援事業計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「これから必要な量」を算出し、また、町民の皆様の教育・保育・子育てに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握する目的として実施しました。

## 2 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査対象	実施方法	調査期間
就学前児童アンケート	町内の就学前児童の保護者	就学前児童のいる204人 保育所等を通じた配布・回収	平成30年 11月
就学児童アンケート	町内の就学児童の保護者	就学児童のいる239人 小学校を通じた配布・回収	

## 3 回収結果

調査の種類	配布数	回収数	有効回収数
就学前児童アンケート	204人	173人 (回収率 84.8%)	172人 (有効回収率 84.3%)
就学児童アンケート	239人	211人 (回収率 88.3%)	209人 (有効回収率 87.4%)

## 4 報告書を見る際の注意

- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出します。したがって、合計が100.0%を上下する場合があります。複数回答については、合計が通常100%を超えます。
- ・図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数(または分類別の該当対象者数)を示しています。
- ・単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合による降順となっています。年齢や日数等、数量で回答していただいた問については、数量増加に伴う割合の変化がわかるよう階級順の棒グラフとなっています。
- ・問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。

## Ⅱ. 就学前児童アンケート調査結果

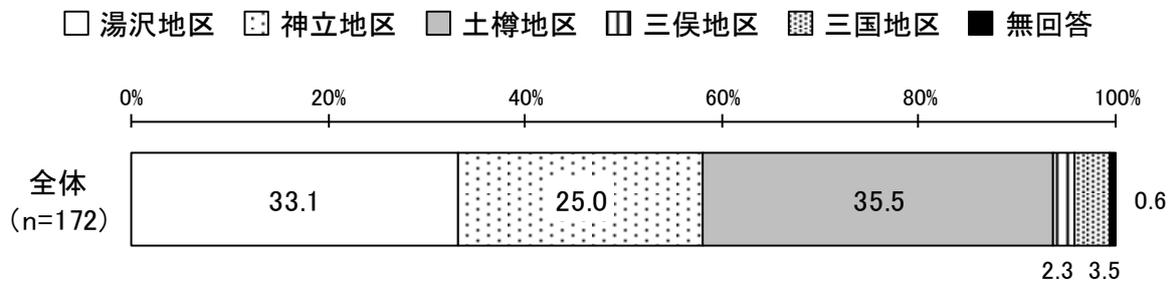
### 1 お住まいの地域について

#### (1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどちらですか。

居住地区については、「土樽地区」の割合が35.5%で最も高く、次いで「湯沢地区」(33.1%)が続き、以下「神立地区」(25.0%)、「三国地区」(3.5%)、「三俣地区」(2.3%)の順となっています。

居住地区



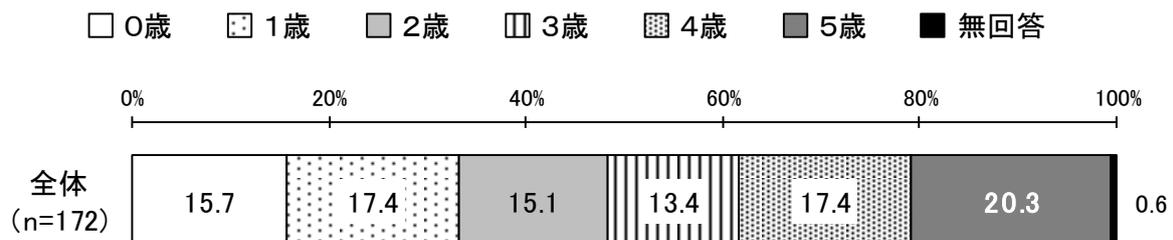
### 2 お子さんご家族の状況について

#### (2) お子さんの年齢

問2 お子さんの年齢は何歳ですか。

お子さんの年齢については、「5歳」の割合が20.3%で最も高く、次いで「1歳」及び「4歳」(同率17.4%)が続き、以下「0歳」(15.7%)、「2歳」(15.1%)、「3歳」(13.4%)の順となっています。

お子さんの年齢

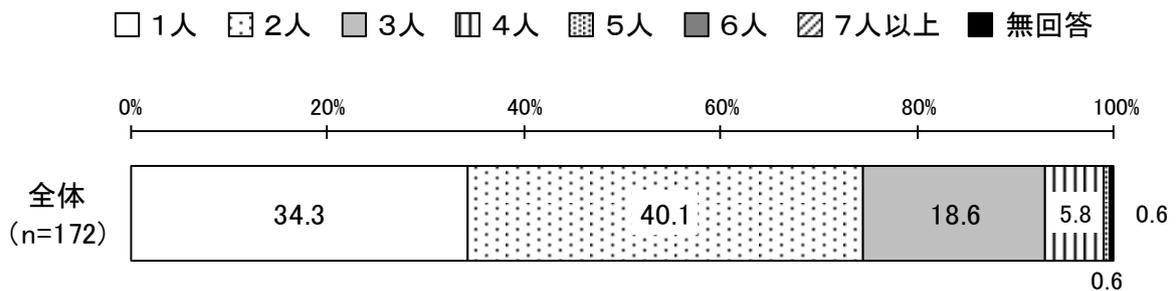


### (3) お子さんの人数

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。  
 ※お子さんを含めた人数  
 ※お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の年齢をご回答ください。

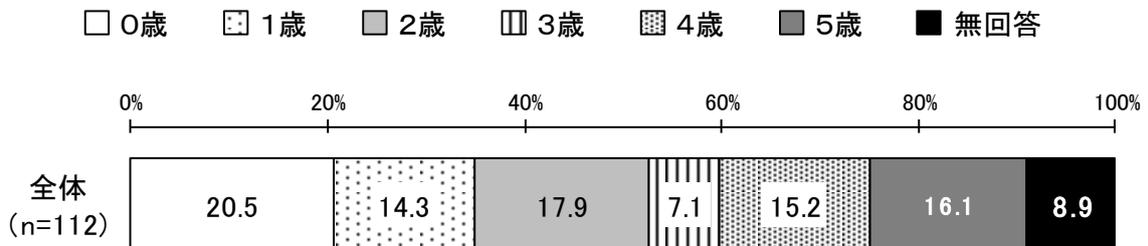
お子さんの人数については、「2人」の割合が40.1%で最も高く、次いで「1人」(34.3%)が続き、以下「3人」(18.6%)、「4人」(5.8%)、「5人」(0.6%)の順となっています。

お子さんの人数



末子の年齢については、「0歳」の割合が20.5%で最も高く、次いで「2歳」(17.9%)が続き、以下「5歳」(16.1%)、「4歳」(15.2%)、「1歳」(14.3%)、「3歳」(7.1%)の順となっています。

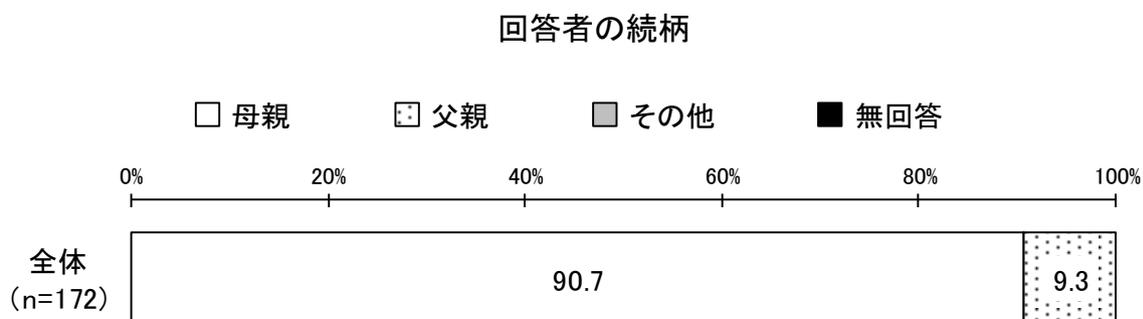
末子の年齢



#### (4) 回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

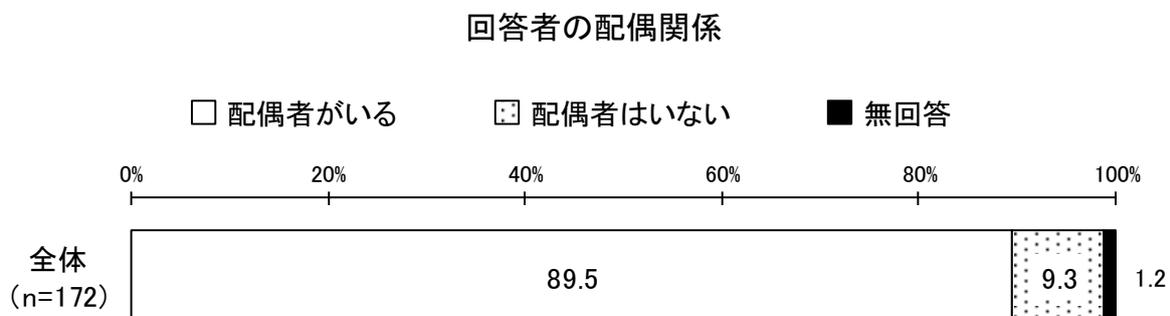
回答者の続柄については、「母親」の割合が90.7%で「父親」(9.3%)の割合を大きく上回ります。



#### (5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」の割合が89.5%で「配偶者はいない」(9.3%)の割合を大きく上回ります。

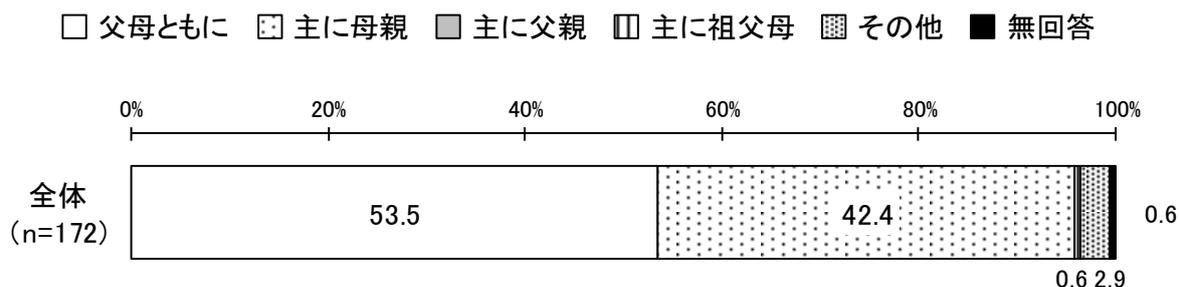


## (6) 子育ての主な担い手

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

子育ての主な担い手については、「父母ともに」の割合が53.5%で最も高く、次いで「主に母親」(42.4%)が続き、以下「主に祖父母」(0.6%)などの順となっています。

子育ての主な担い手



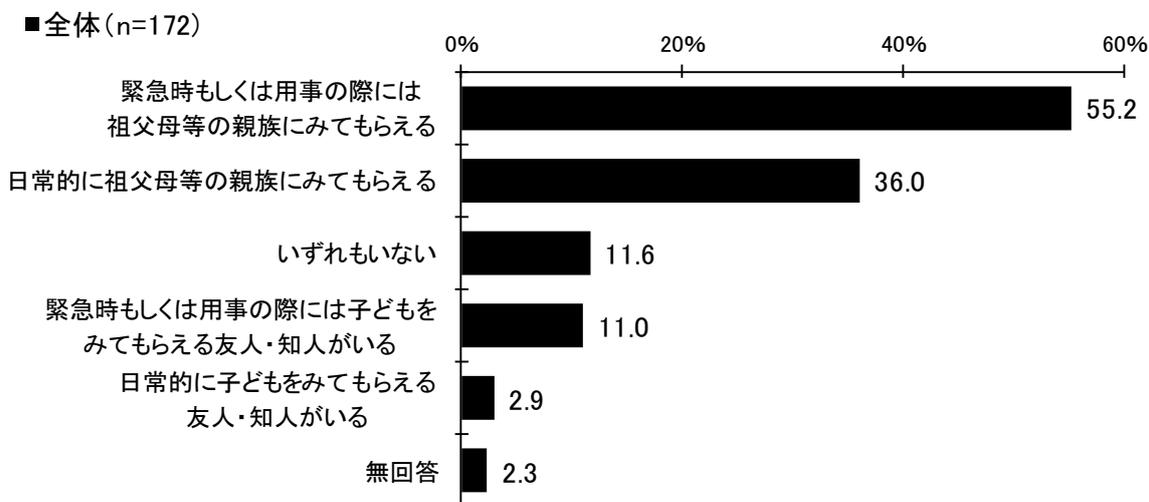
## 3 育ちをめぐる環境について

### (7) 子どもをみてもらえる親族・知人

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.2%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(36.0%)が続きます。

子どもをみてもらえる親族・知人【複数回答】



## (8) 親族に子どもをみてもらう状況

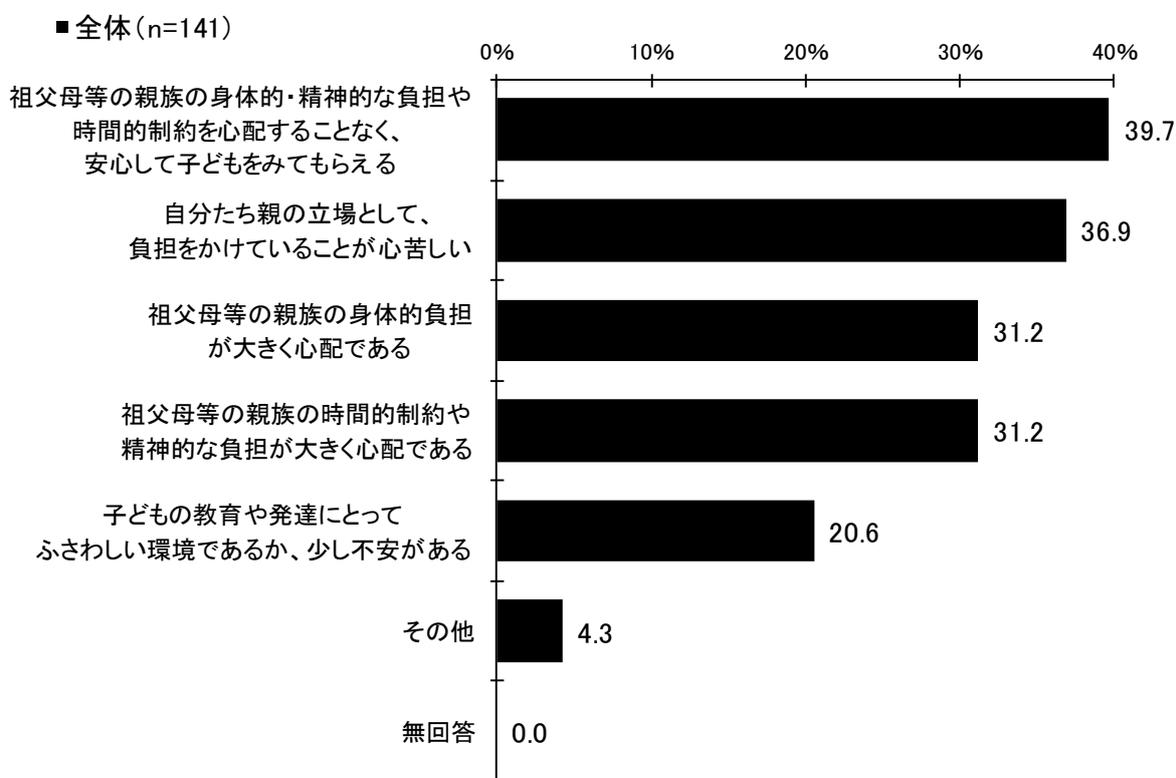
問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にお聞きします。

問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

### 【複数回答】

親族に子どもをみてもらう状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が39.7%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(36.9%)が続き、以下「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」及び「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(同率31.2%)などの順となっています。

### 親族に子どもをみてもらう状況【複数回答】



## (9) 友人・知人に子どもをみてもらう状況

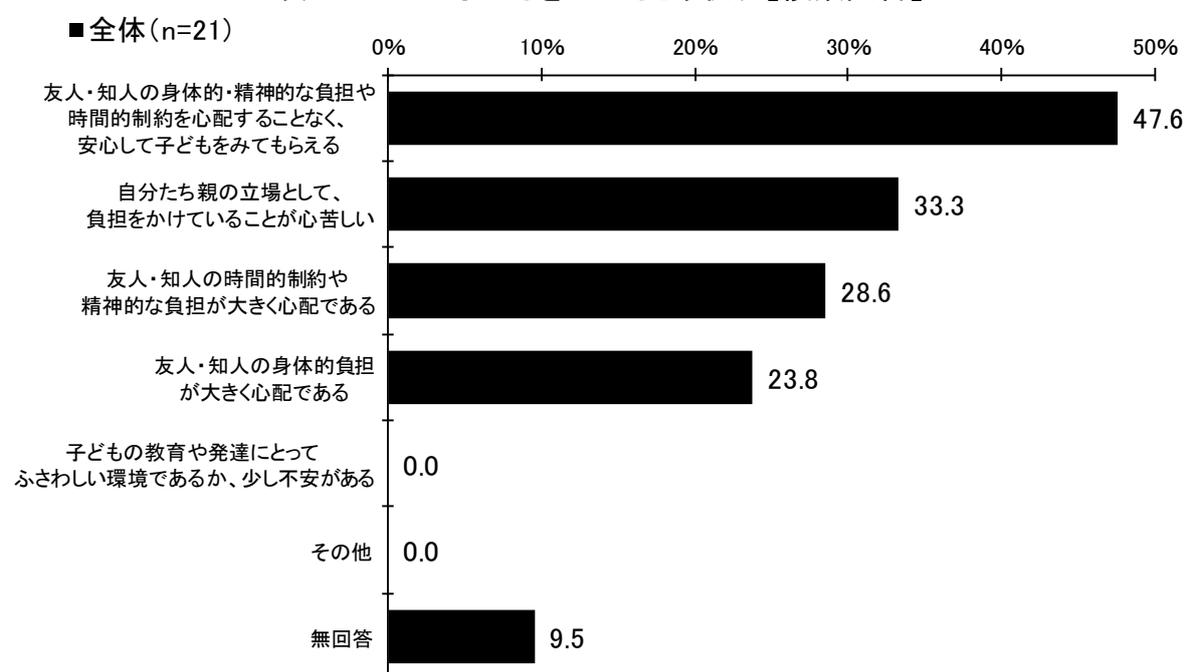
問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にお聞きします。

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【複数回答】

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が47.6%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(33.3%)が続き、以下「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(28.6%)、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」(23.8%)などの順となっています。

友人・知人に子どもをみてもらう状況【複数回答】

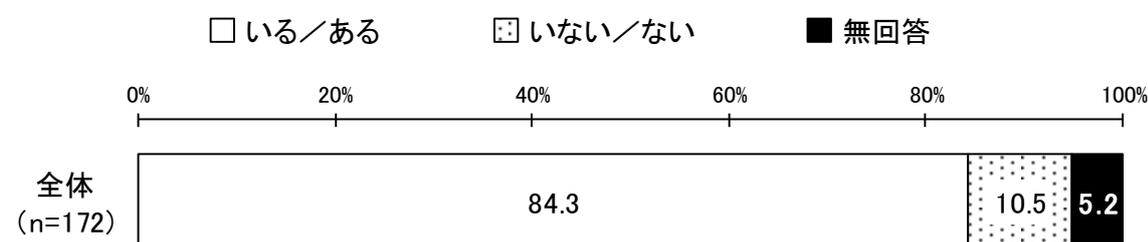


## (10) 子育てについての相談者の存在

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育てについての相談者の存在については、「いる／ある」の割合が84.3%で8割以上を占めます。一方、「いない／ない」の割合は10.5%でした。

子育てについての相談者の存在

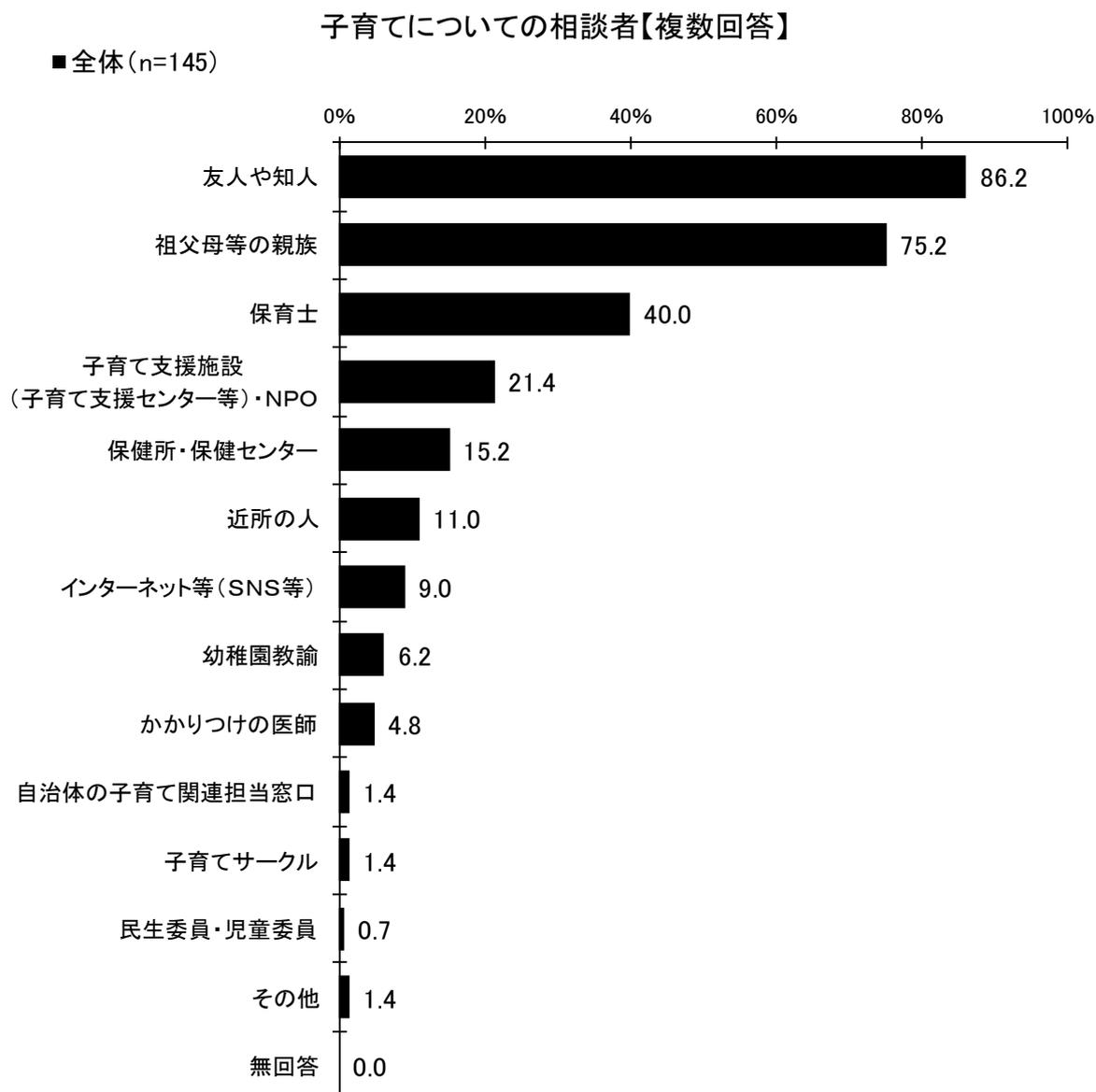


## (11) 子育てについての相談者

問8で「いる／ある」に○をつけた方にお聞きします。

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【複数回答】

子育てについての相談者については、「友人や知人」の割合が86.2%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」（75.2%）が続き、以下「保育士」（40.0%）、「子育て支援施設（子育て支援センター等）・NPO」（21.4%）などの順となっています。



## 4 保護者の就労状況について

### (12) 保護者の就労状況

問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお聞きします。

#### ①母親

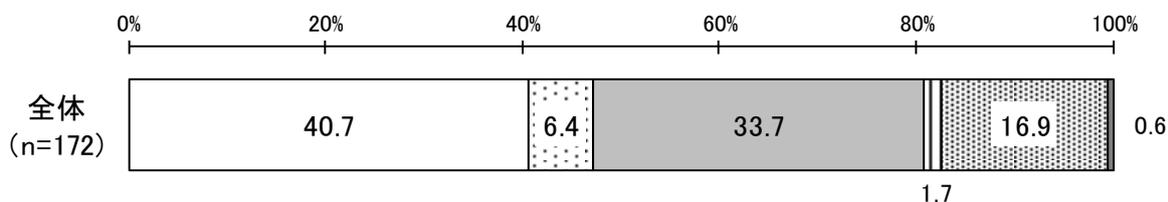
母親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が40.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（33.7%）が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」（16.9%）などの順となっています。

1週当たりの就労日数は「5日」が62.7%、1日当たりの就労時間は「8時間」が34.5%でそれぞれ最も高くなっています。

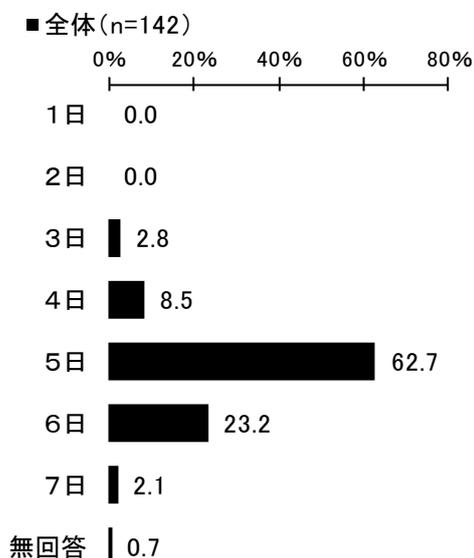
家を出る時間は「8時」が55.6%、帰宅時間は「18時」が26.1%でそれぞれ最も高くなっています。

#### 母親の就労状況

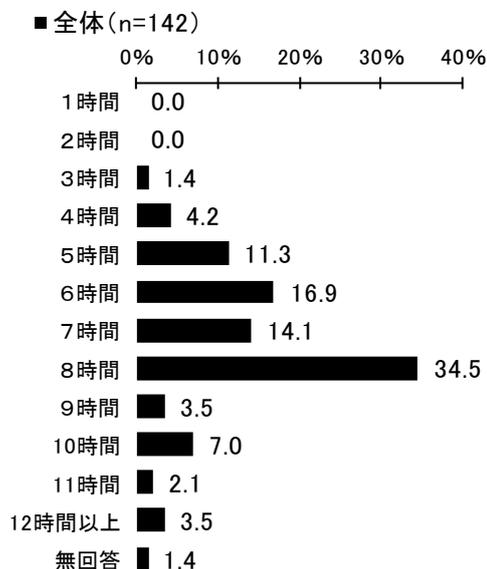
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



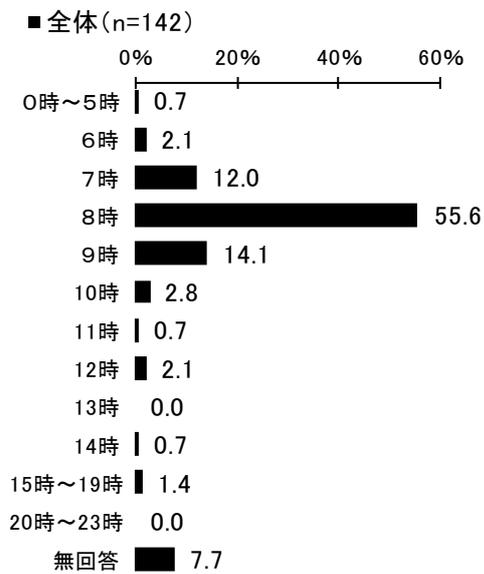
#### 1週当たりの就労日数



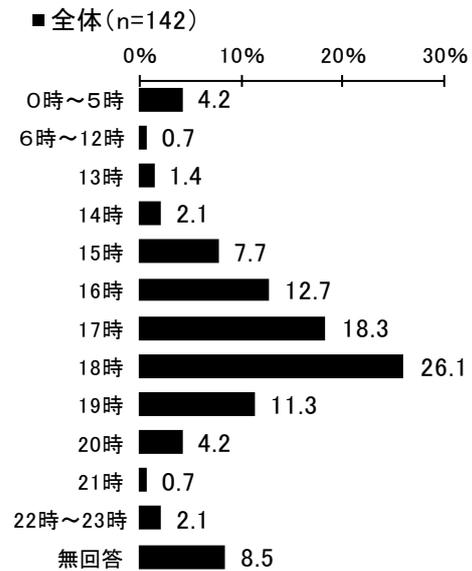
#### 1日当たりの就労時間



### 母親が家を出る時間



### 母親の帰宅時間



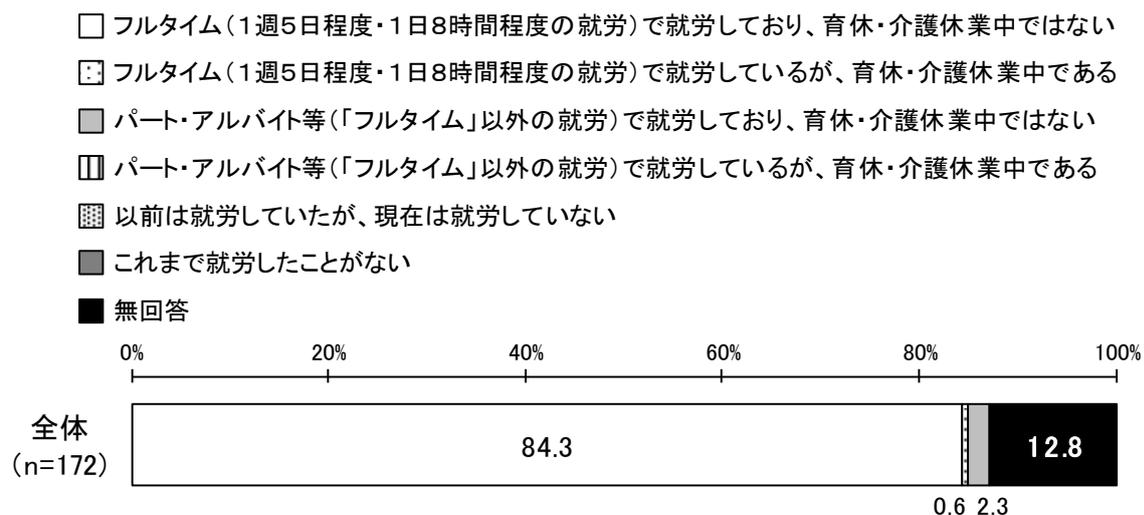
## ②父親

父親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が84.3%で最も高く、8割以上を占めます。

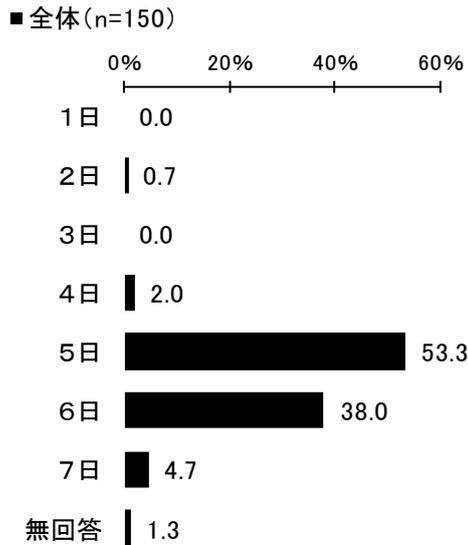
1週当たりの就労日数は「5日」が53.3%、1日当たりの就労時間は「8時間」が48.0%でそれぞれ最も高くなっています。

家を出る時間は「7時」及び「8時」が同率36.0%、帰宅時間は「18時」が36.7%でそれぞれ最も高くなっています。

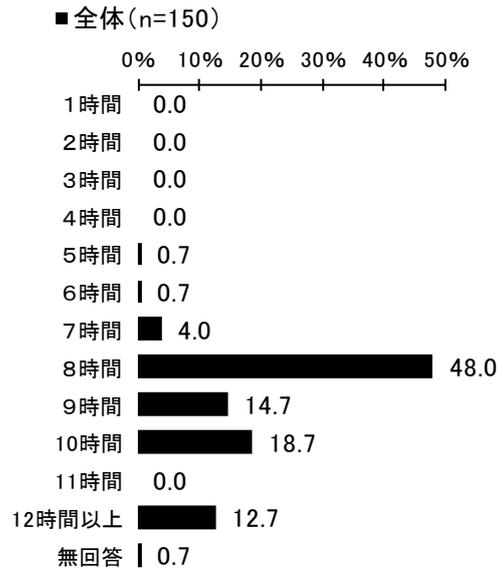
### 父親の就労状況



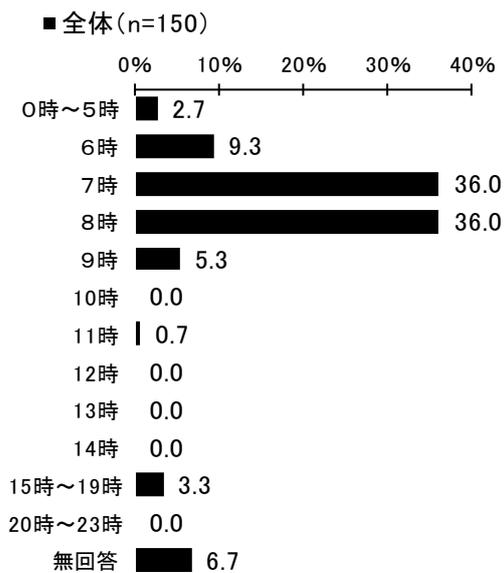
### 1週当たりの就労日数



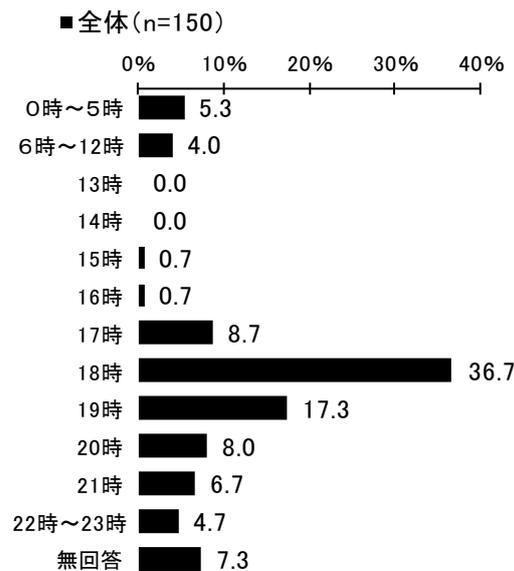
### 1日当たりの就労時間



### 父親が家を出る時間



### 父親の帰宅時間



## (13) フルタイムへの転換希望

問10で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にお聞きします。

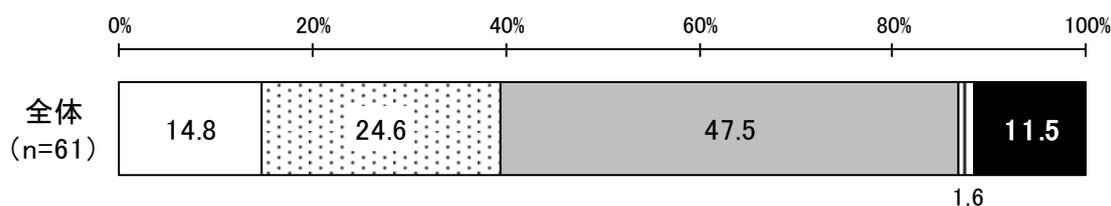
問11 フルタイムへの転換希望はありますか。

### ①母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が47.5%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（24.6%）が続き、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（14.8%）などの順となっています。

#### 母親のフルタイムへの転換希望

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



### ②父親

父親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が2人、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」及び「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」がそれぞれ1人となっています。

#### 父親のフルタイムへの転換希望

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	2人
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1人
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	1人

## (14) 就労希望

問10で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にお聞きします。

問12 就労したいという希望はありますか。

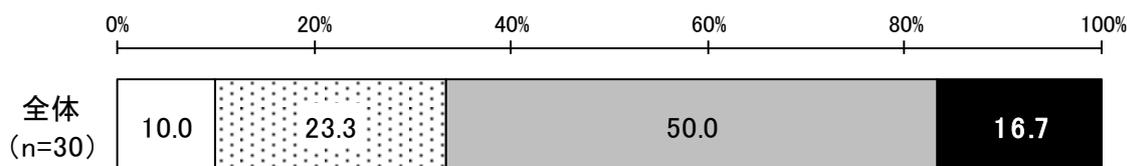
### ①母親

母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が50.0%で最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」(23.3%)が続き、以下「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(10.0%)の順となっています。

1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢については、「1歳」及び「3歳」でそれぞれ2人となっています。

#### 母親の就労希望

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



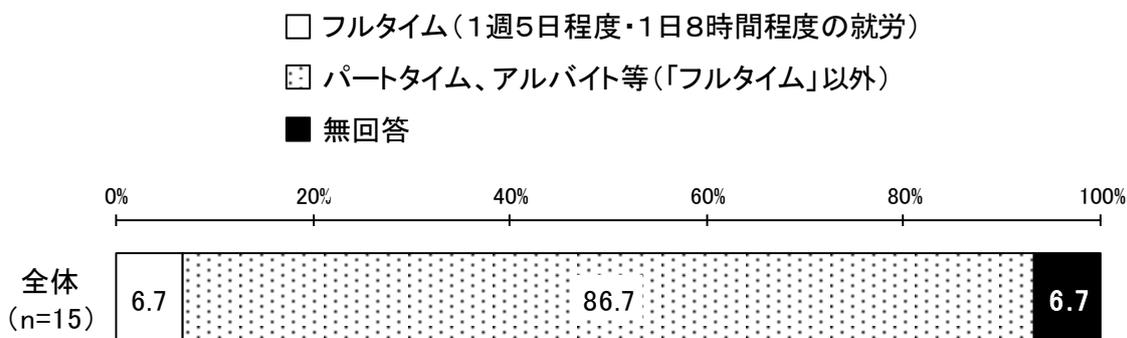
#### 母親が1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢

1歳	2人
2歳	1人
3歳	2人
4歳	1人
7歳	1人

問12①母親の就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した15人に、希望する就労形態について尋ねたところ、「パートタイム・アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が86.7%で、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（6.7%）の割合を上回ります。

1週当たりの希望勤務日数は「5日」が38.5%、1日当たりの希望勤務時間は「5時間」及び「6時間」が同率30.8%でそれぞれ最も高くなっています。

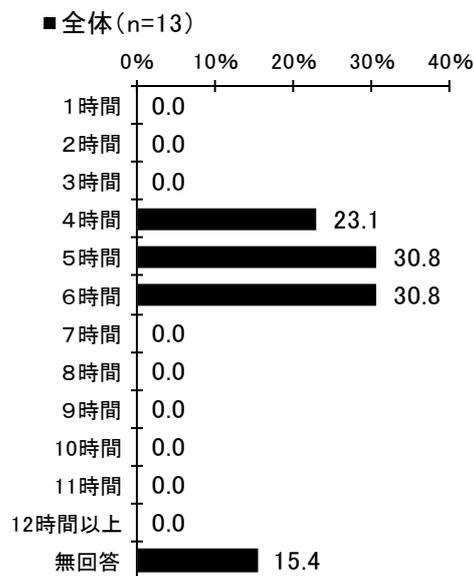
### 母親が希望する就労形態



### フルタイム以外で希望する 1週当たりの希望勤務日数



### フルタイム以外で希望する 1日当たりの希望勤務時間



## ②父親

父親が希望する就労形態については、該当者がいませんでした。

## 5 職場の両立支援制度について

### (15) 父母の育児休業の取得状況

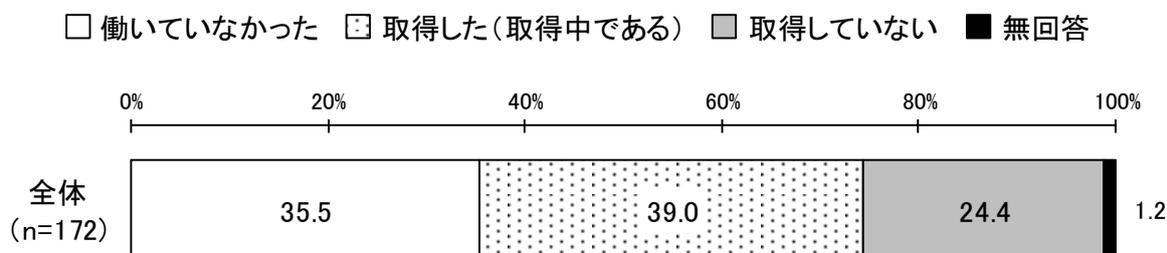
問13 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

#### ①母親

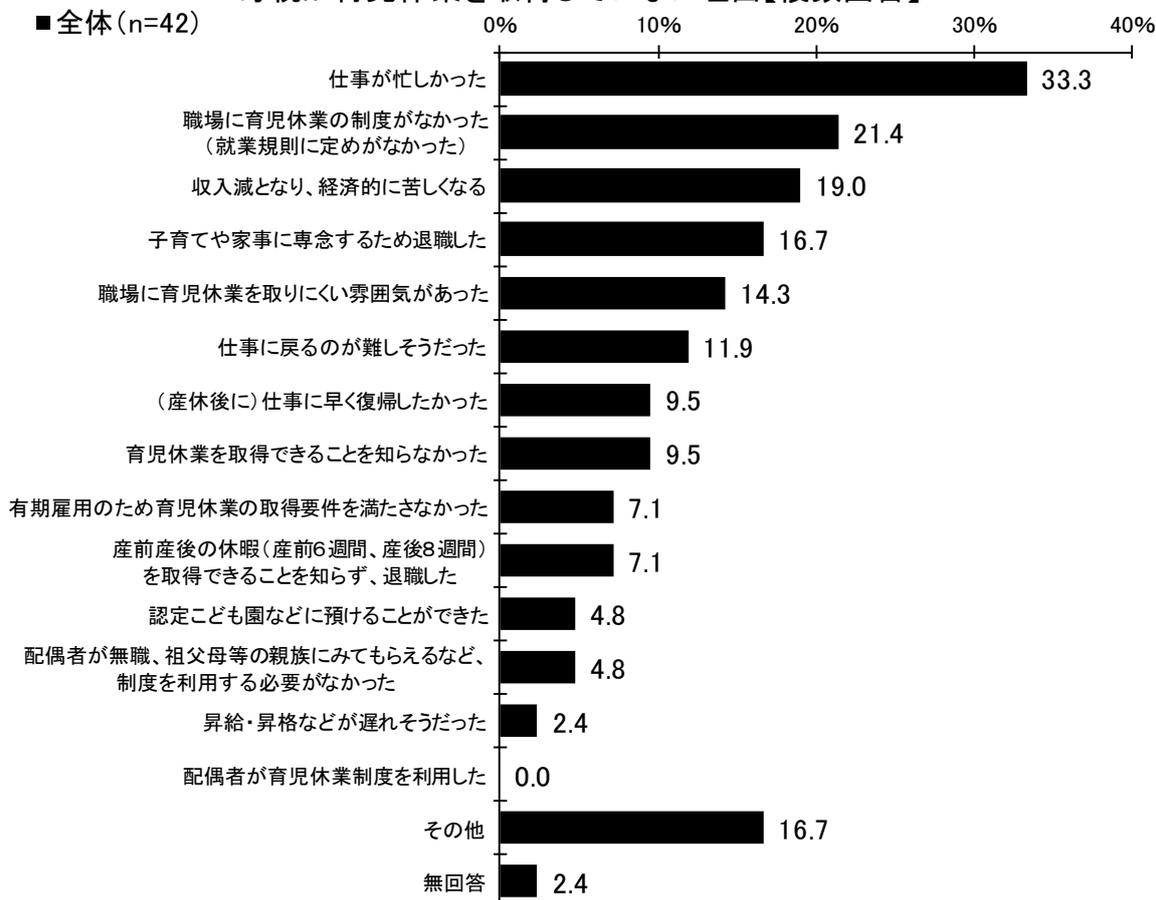
母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」の割合が39.0%で最も高く、次いで「働いていなかった」（35.5%）が続き、以下「取得していない」（24.4%）の順となっています。

育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」の割合が33.3%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（21.4%）が続き、以下「収入減となり、経済的に苦しくなる」（19.0%）、「子育てや家事に専念するため退職した」（16.7%）などの順となっています。

母親の育児休業の取得状況



母親が育児休業を取得していない理由【複数回答】

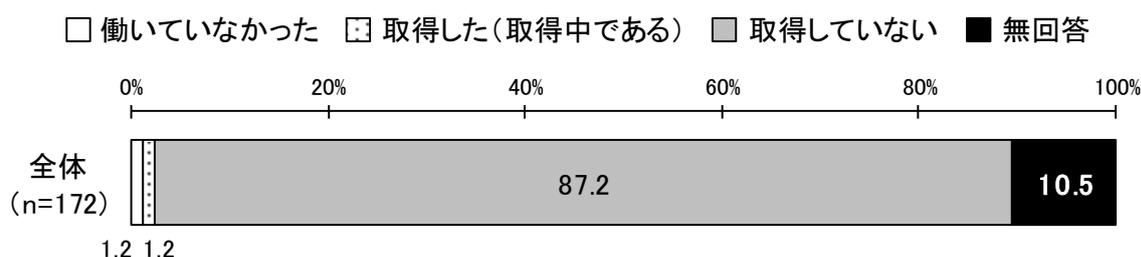


## ②父親

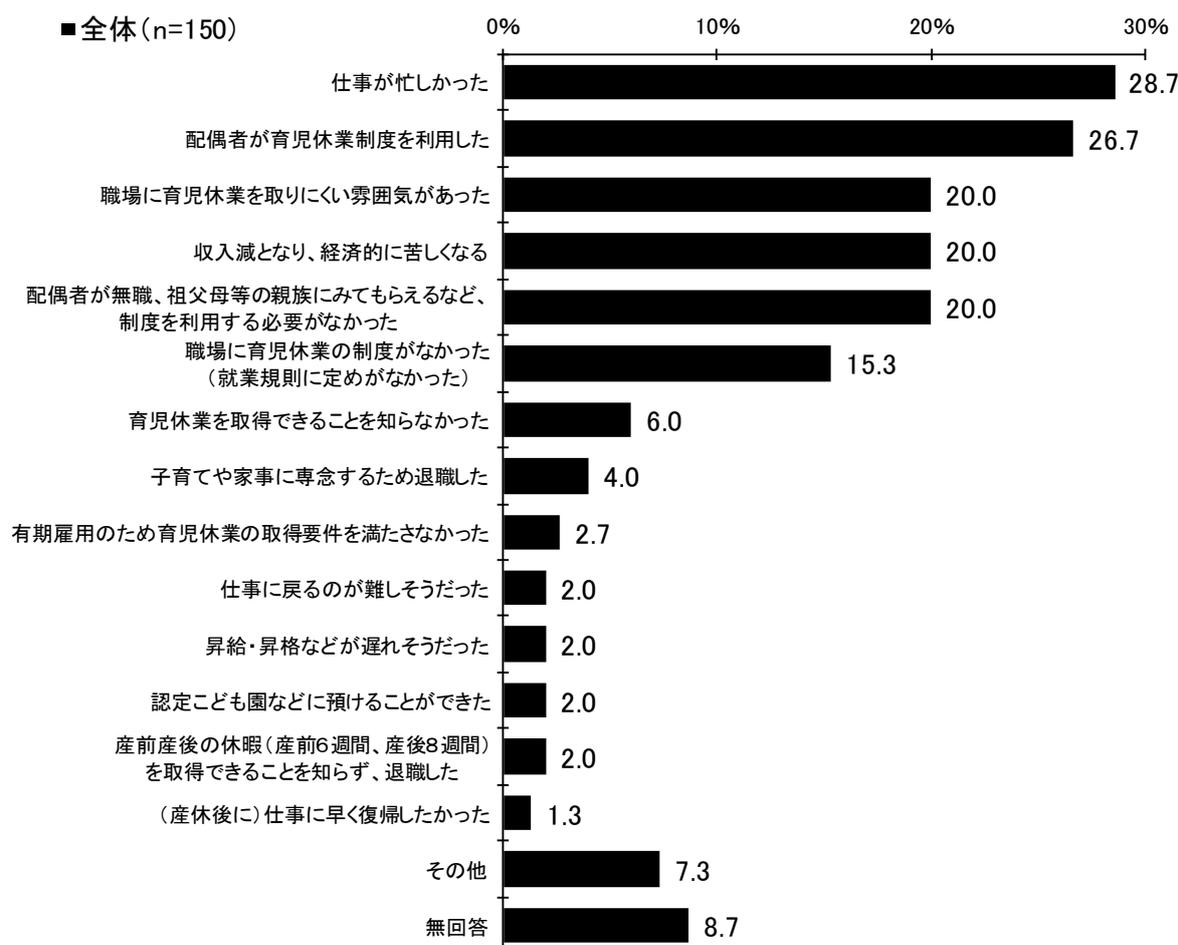
父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」の割合が87.2%で最も高く、9割弱を占めます。

育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」の割合が28.7%で最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(26.7%)が続き、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(同率20.0%)などの順となっています。

### 父親の育児休業の取得状況



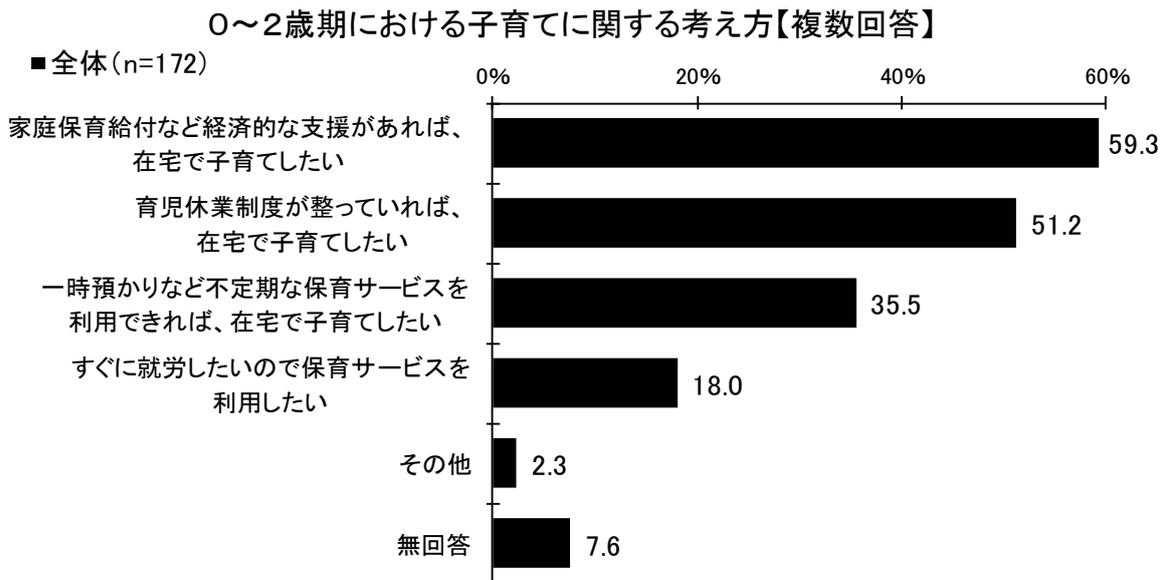
### 父親が育児休業を取得していない理由【複数回答】



## (16) 0～2歳期における子育てに関する考え方

問13-1 0～2歳期における子育てに対する考えを教えてください。【複数回答】

0～2歳期における子育てに関する考え方については、「家庭保育給付など経済的な支援があれば、在宅で子育てしたい」の割合が59.3%で最も高く、次いで「育児休業制度が整っていれば、在宅で子育てしたい」(51.2%)、「一時預かりなど不規則な保育サービスを利用できれば、在宅で子育てしたい」(35.5%)、「すぐに就労したいので保育サービスを利用したい」(18.0%)などの順となっています。



## (17) 育児休業取得後の職場復帰状況

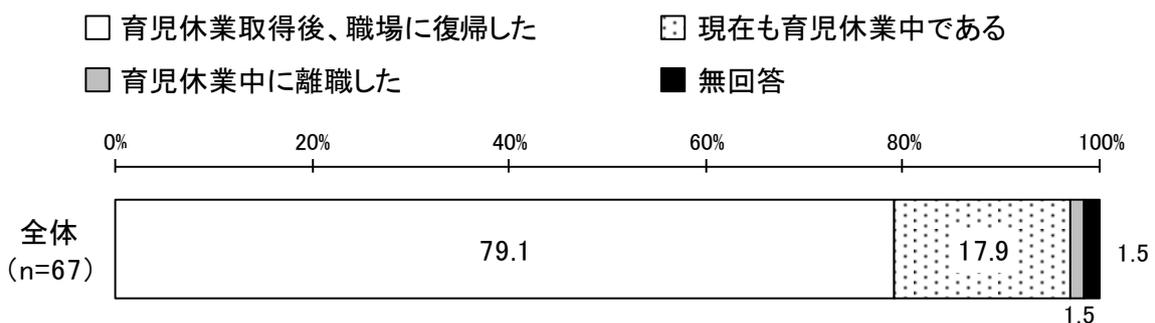
問13で「取得した(取得中である)」に○をつけた方にお聞きます。

問13-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

### ①母親

母親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が79.1%で約8割を占めます。

### 母親の育児休業取得後の職場復帰状況



## ②父親

父親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が2人となっています。

### 父親の育児休業取得後の職場復帰状況

育児休業取得後、職場に復帰した	2人
-----------------	----

## (18) 育児休業から職場復帰したタイミング

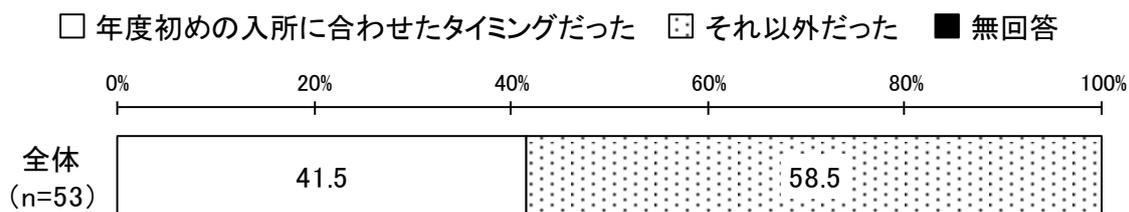
問13-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお聞きします。

問13-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

## ①母親

母親が育児休業から職場復帰したタイミングについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が41.5%、「それ以外だった」の割合が58.5%となっています。

### 母親が育児休業から職場復帰したタイミング



## ②父親

父親が育児休業から職場復帰したタイミングについては、「それ（年度初めの入所に合わせたタイミング）以外だった」が2人となっています。

### 父親が育児休業から職場復帰したタイミング

それ（年度初めの入所に合わせたタイミング）以外だった	2人
----------------------------	----

## (19) 実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢

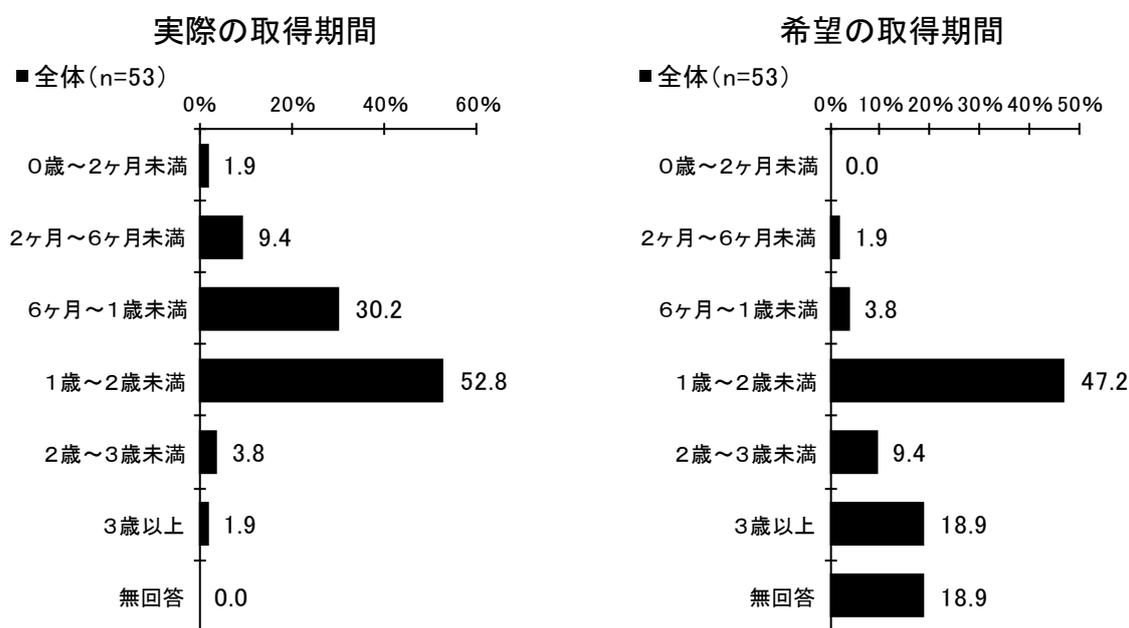
問13-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお聞きします。

問13-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

### ①母親

母親が実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢については、実際の取得期間、希望の取得期間ともに「1歳～2歳未満」の割合が最も高くなっています。実際の取得期間では1歳未満の割合が他の年齢に比べて比較的高く、一方、希望の取得期間では2歳以上の割合が高くなっています。

#### 母親が実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢



### ②父親

父親が実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢については、実際の取得期間では「0歳～2ヶ月未満」及び「2ヶ月～6ヶ月未満」がそれぞれ1人ずつとなっています。一方、希望の取得期間では「2ヶ月～6ヶ月未満」が1人となっています。

#### 父親が実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢

##### 実際の取得期間

0歳～2ヶ月未満	1人
2ヶ月～6ヶ月未満	1人

##### 希望の取得期間

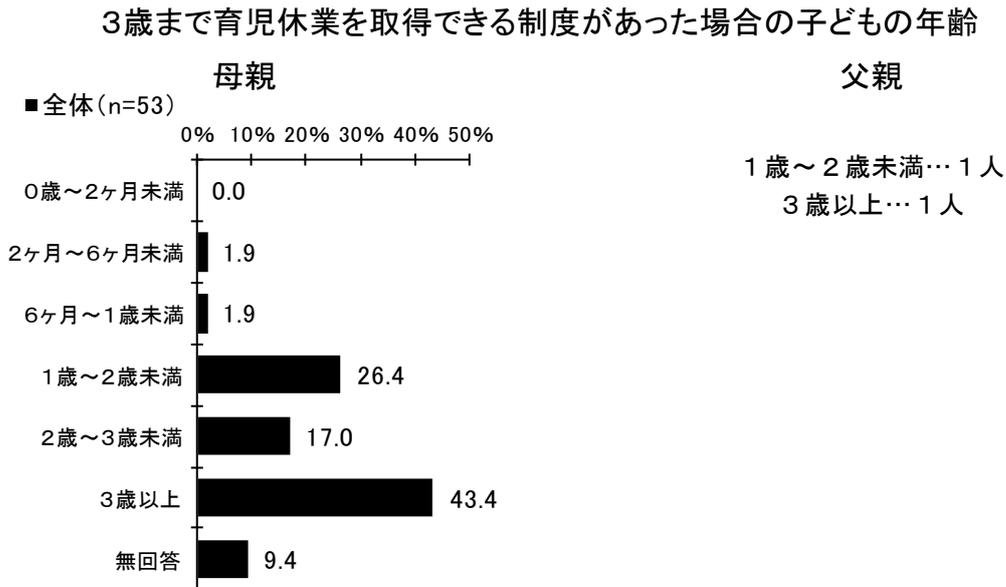
2ヶ月～6ヶ月未満	1人
無回答	1人

## (20) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の子どもの年齢

問13-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお聞きします。

問13-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の子どもの年齢については、母親は「3歳以上」の割合が43.4%で最も高くなっています。一方、父親は「1歳～2歳未満」及び「3歳以上」がそれぞれ1人となっています。



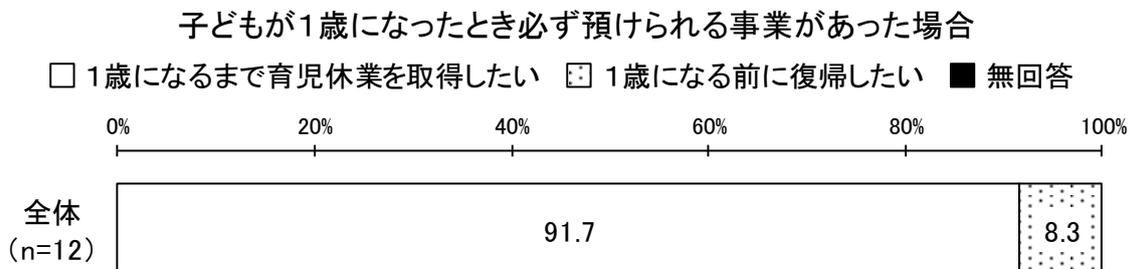
## (21) 子どもが1歳になったとき必ず預けられる事業があった場合

問13-2で「現在も育児休業中である」に○をつけた方にお聞きします。

問13-6 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

### ①母親

子どもが1歳になったとき必ず預けられる事業があった場合、母親については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が91.7%で9割以上を占めます。



### ②父親

父親については、該当者がいませんでした。

## (22) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問13-4で実際と希望が異なる方にお聞きします。

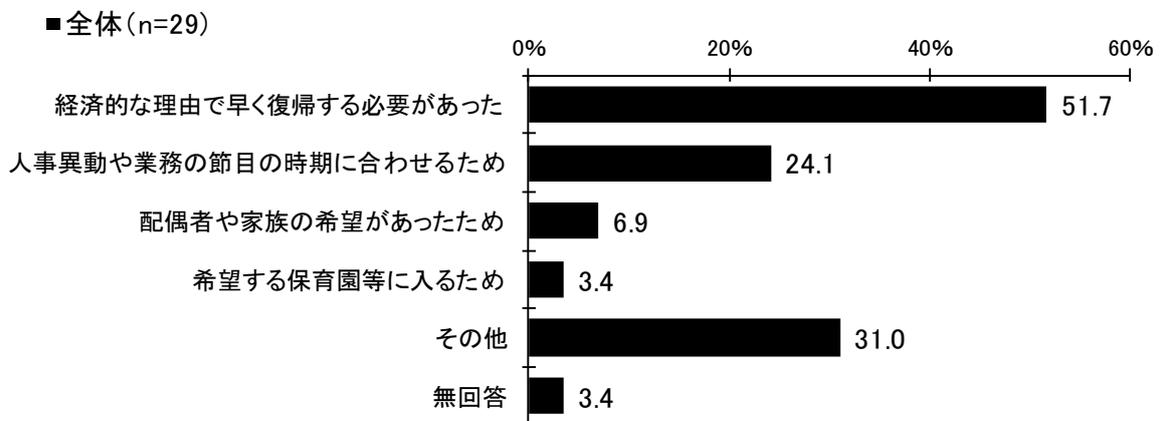
問13-7 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

### ①母親

母親で「希望」より早く復帰した方の理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」の割合が51.7%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(24.1%)などの順となっています。

一方、「希望」より遅く復帰した方の理由については、「希望する保育園等に入れなかったため」が1人となっています。

#### 「希望」より早く復帰した母親の理由



#### 「希望」より遅く復帰した母親の理由

希望する保育園等に入れなかったため	1人
-------------------	----

### ②父親

父親で「希望」より早く復帰した方の理由については、無回答が1人となっています。「希望」より遅く復帰した方は、該当者がいませんでした。

#### 「希望」より早く復帰した父親の理由

無回答	1人
-----	----

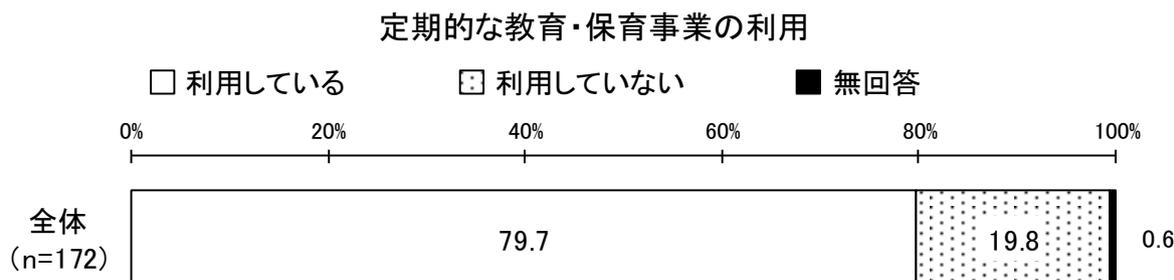
「希望」より遅く復帰した父親の理由…該当者なし

## 6 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

### (23) 定期的な教育・保育事業の利用

問14 お子さんは、現在、幼稚園や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育事業の利用については、「利用している」の割合が79.7%で、「利用していない」(19.8%)を大きく上回ります。



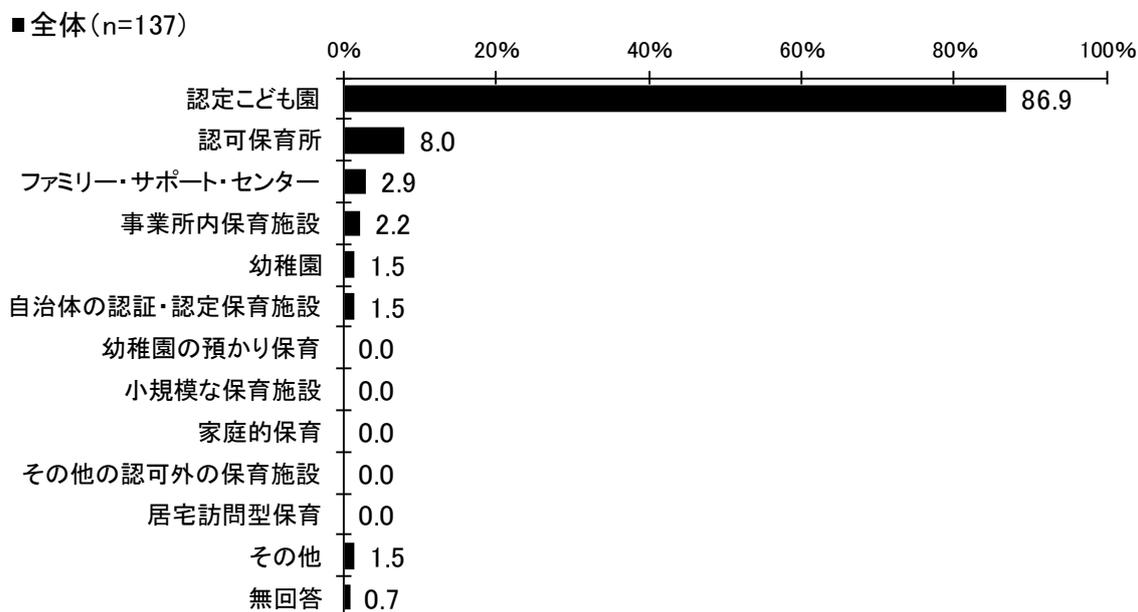
### (24) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問14で「利用している」に○をつけた方にお聞きします。

問14-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【複数回答】  
 ※選択肢の中には、幼稚園等、湯沢町で実施していない事業もありますが、他市町村で利用されている場合などに選択してください。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「認定こども園」の割合が86.9%で最も高く、他を大きく引き離します。次いで「認可保育所」(8.0%)が続き、以下「ファミリー・サポート・センター」(2.9%)などの順となっています。

#### 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況【複数回答】



## (25) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用頻度

問14で「利用している」に○をつけた方にお聞きします。

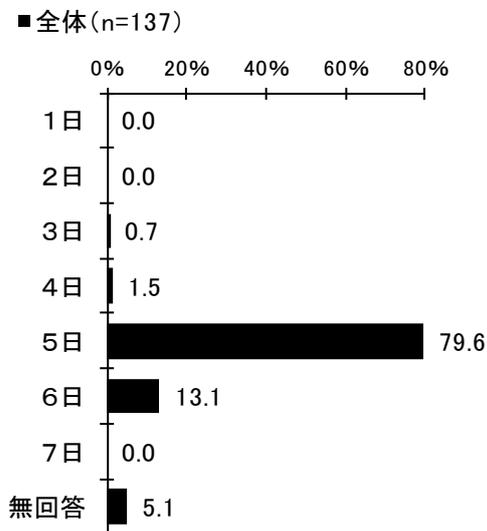
問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

### ①現在

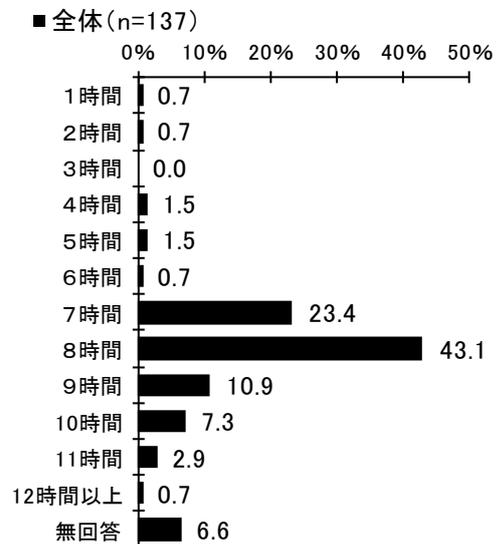
現在の、平日の定期的な教育・保育事業の利用頻度については、1週当たりの利用日数が「5日」の割合が79.6%で最も高くなっています。また、1日当たりの利用時間の割合は8時間（43.1%）が最も高くなっています。

利用開始時刻は「8時」が59.1%、就労時間は「16時」が52.6%でそれぞれ最も高くなっています。

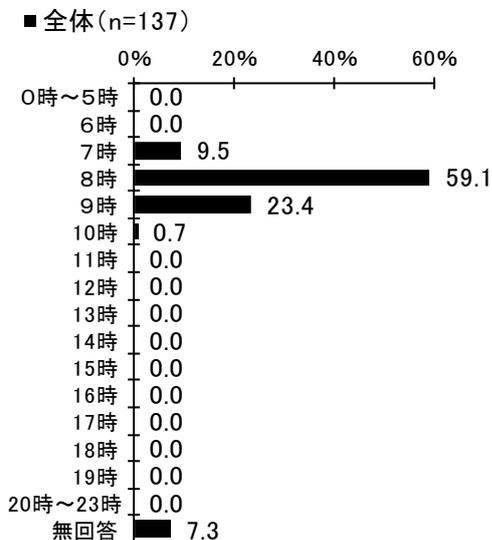
現在の1週当たりの利用日数



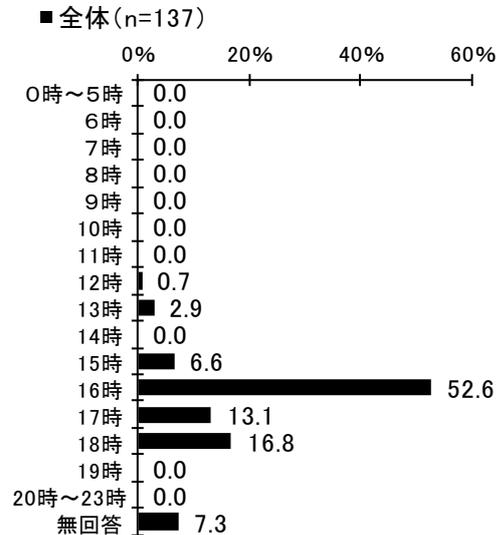
現在の1日当たりの利用時間



現在の利用開始時刻



現在の利用終了時刻



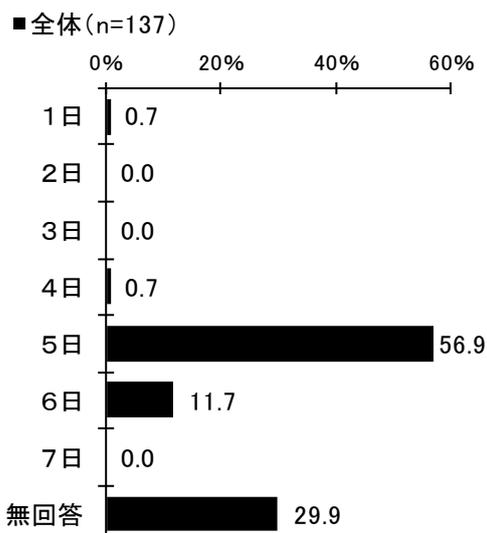
## ②希望

平日の定期的な教育・保育事業の希望利用頻度については、1週当たりの利用日数が「5日」の割合が56.9%で最も高くなっています。また、1日当たりの利用希望時間の割合は8時間（27.0%）が最も高くなっています。

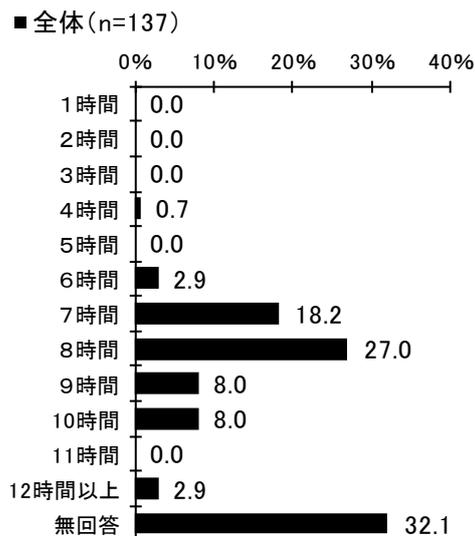
希望する利用開始時刻は「8時」が40.1%、終了時刻は「16時」が38.0%でそれぞれ最も高くなっています。

現在の利用状況と比較すると、日数、時間帯ともに大きな差はみられません。

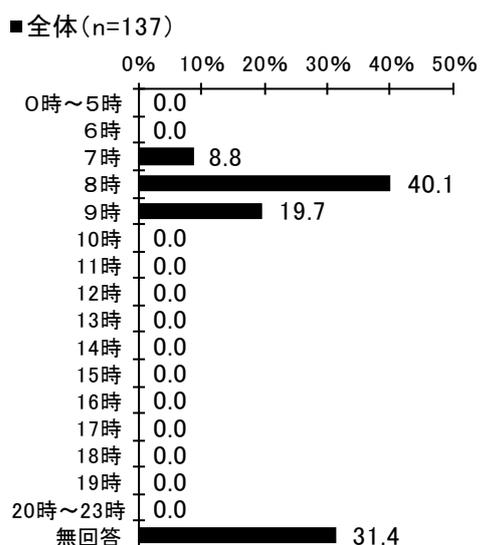
### 希望する1週当たりの利用日数



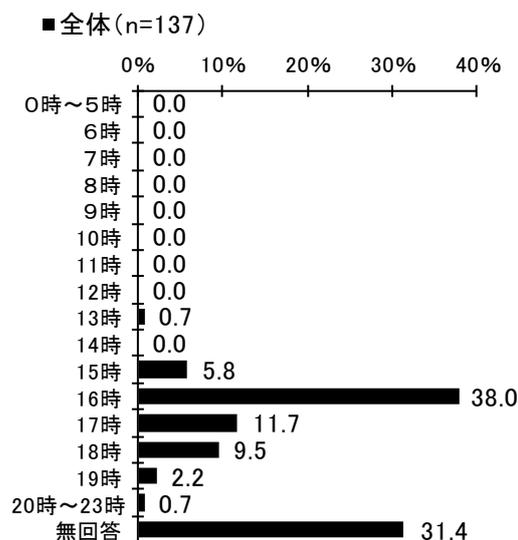
### 希望する1日当たりの利用時間



### 希望する利用開始時刻



### 希望する利用終了時刻



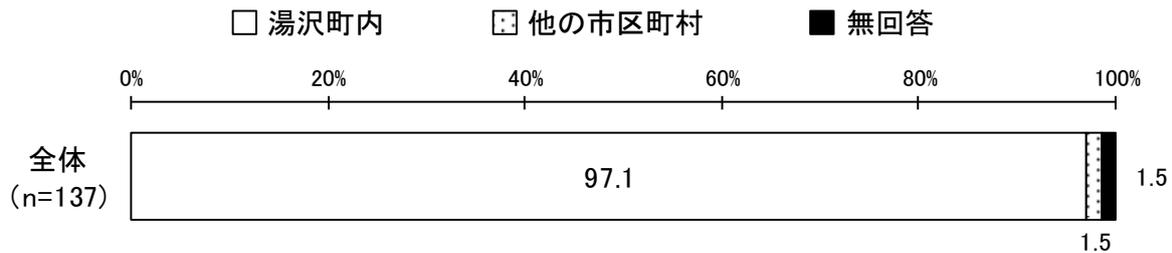
## (26) 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所

問14で「利用している」に○をつけた方にお聞きします。

問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお聞きします。

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所については、「湯沢町内」の割合が97.1%となっており、「他の市区町村」(1.5%)を大きく上回ります。

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所



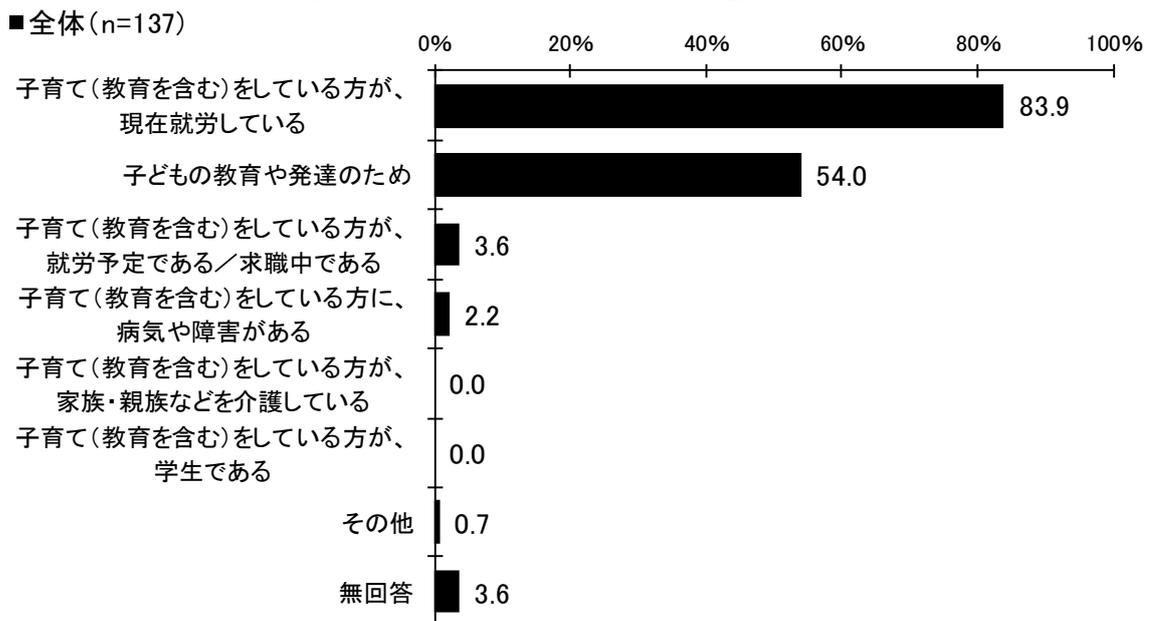
## (27) 平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由

問14で「利用している」に○をつけた方にお聞きします。

問14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が83.9%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(54.0%)が続き、他を大きく引き離します。

平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由【複数回答】



## (28) 平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由

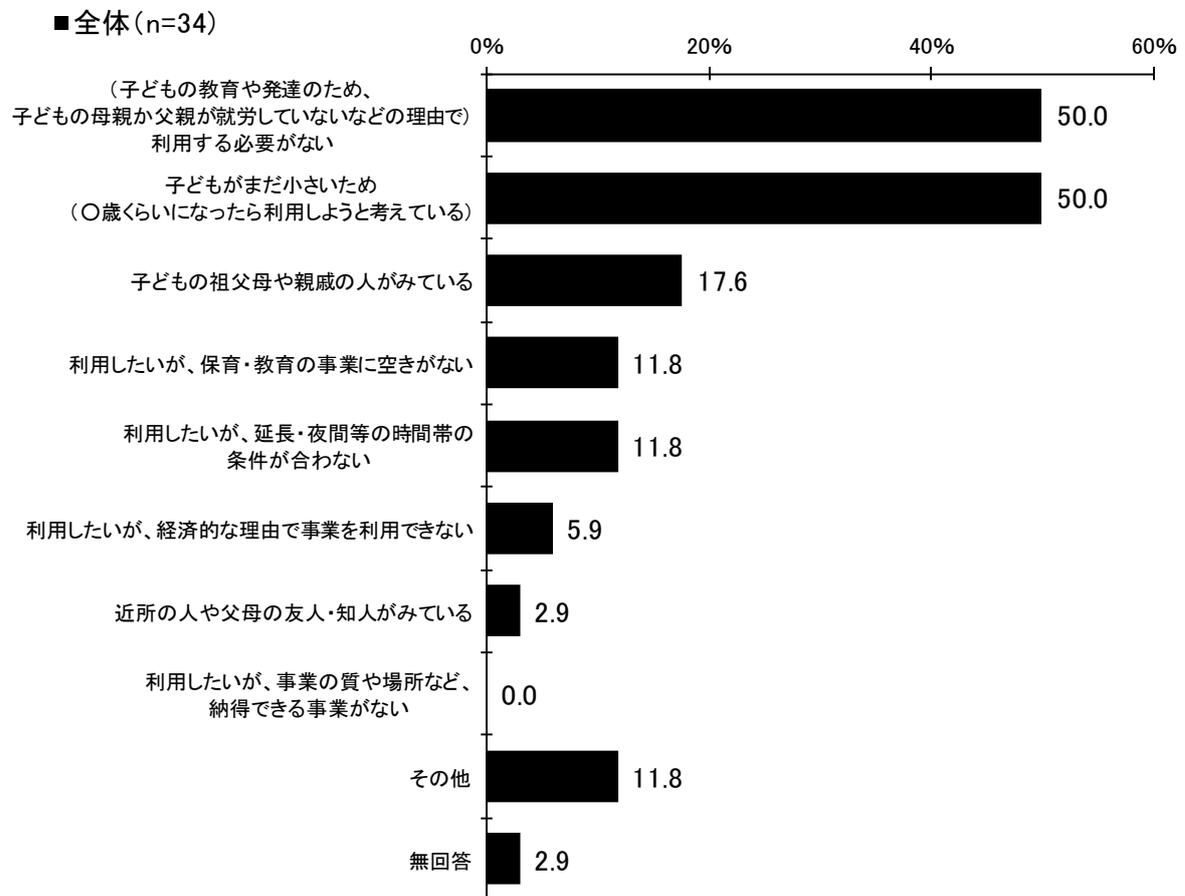
問14で「利用していない」に○をつけた方にお聞きします。

問14-5 利用していない理由はなんですか。【複数回答】

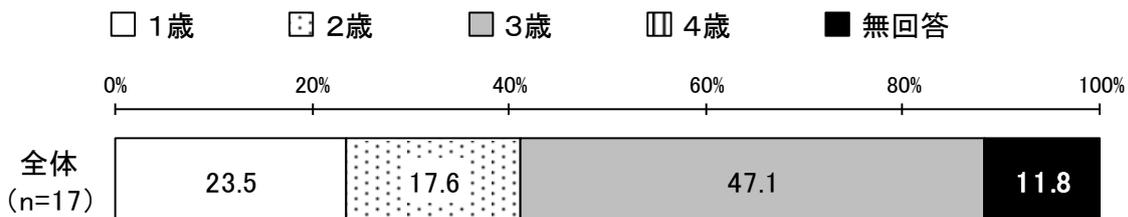
平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由については、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」及び「子どもがまだ小さいため(○歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が同率50.0%で最も高く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(17.6%)が続き、以下「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」及び「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」(同率11.8%)などの順となっています。

利用を考える子どもの年齢については、「3歳」が47.1%で最も高くなっています。

### 平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由【複数回答】



### 子どもが何歳になったら利用を考えるか

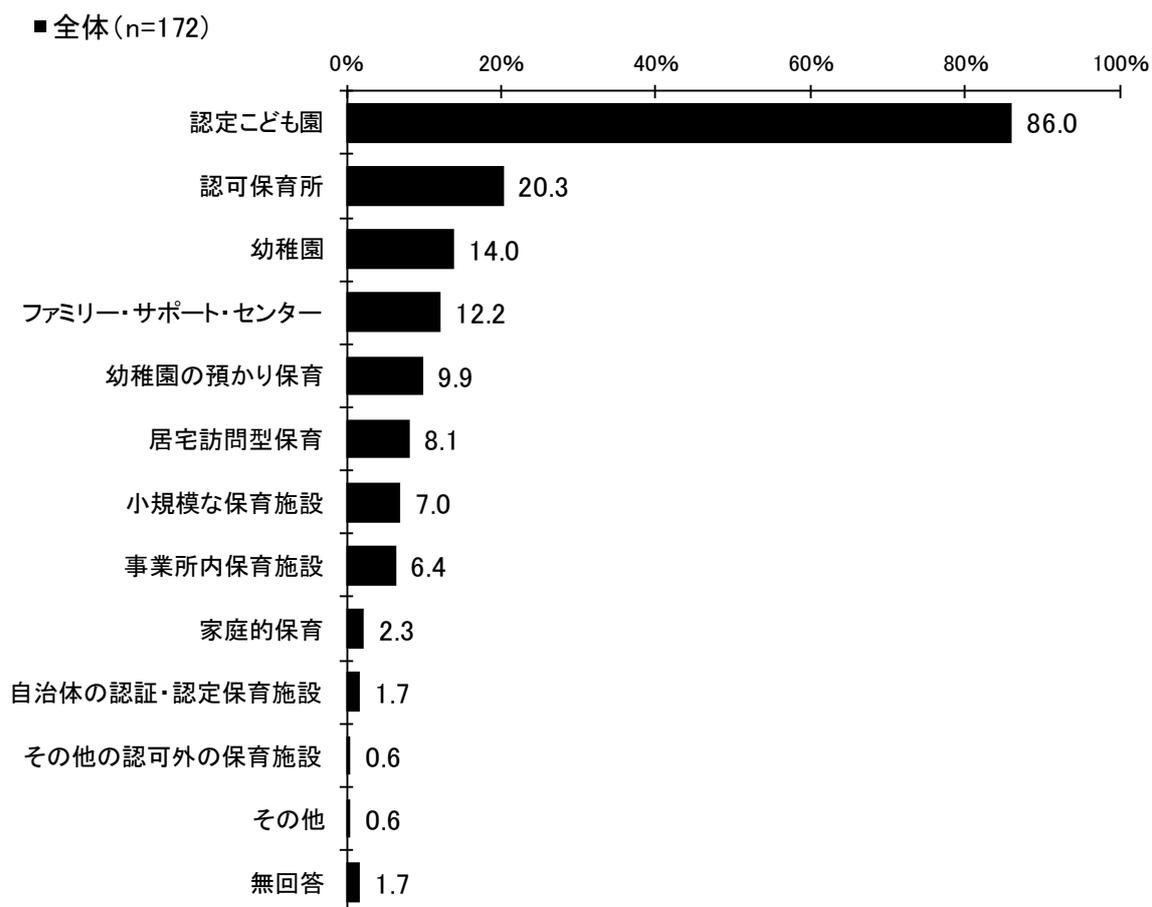


## (29) 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所については、「認定こども園」の割合が86.0%で最も高く、他を大きく引き離します。次いで「認可保育所」(20.3%)が続き、以下「幼稚園」(14.0%)、「ファミリー・サポート・センター」(12.2%)などの順となっています。

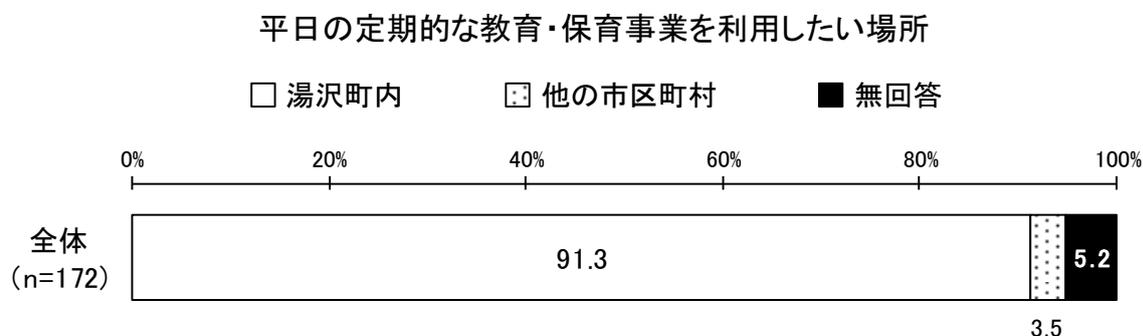
### 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所【複数回答】



### (30) 平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお聞きします。

平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所については、「湯沢町内」の割合が91.3%で、「他の市区町村」(3.5%)の割合を大きく上回ります。

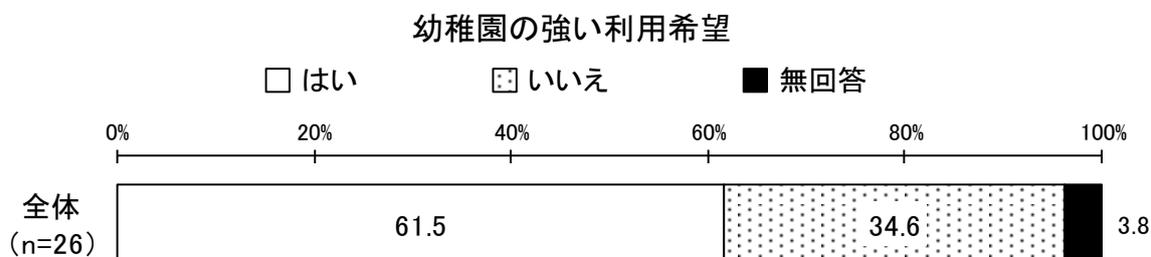


### (31) 幼稚園の強い利用希望

問15で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつそれ以外にも○をつけた方にお聞きします。

問15-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。

幼稚園の強い利用希望については、「はい」の割合が61.5%で、「いいえ」(34.6%)の割合を上回ります。



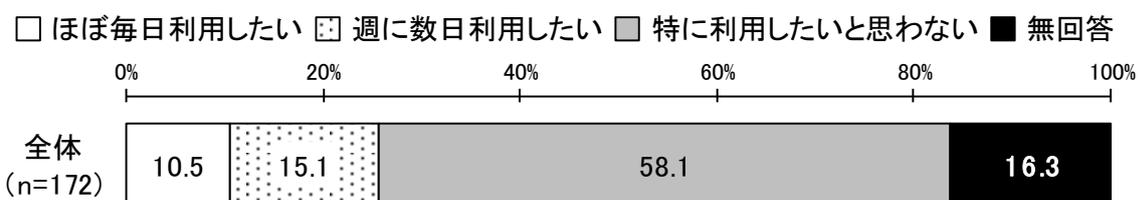
## (32) ファミリー・サポート・センターの利用希望

問15-3 問15で○をつけた教育・保育事業の前後、または送迎のためにファミリー・サポート・センターを利用したいと思いますか。

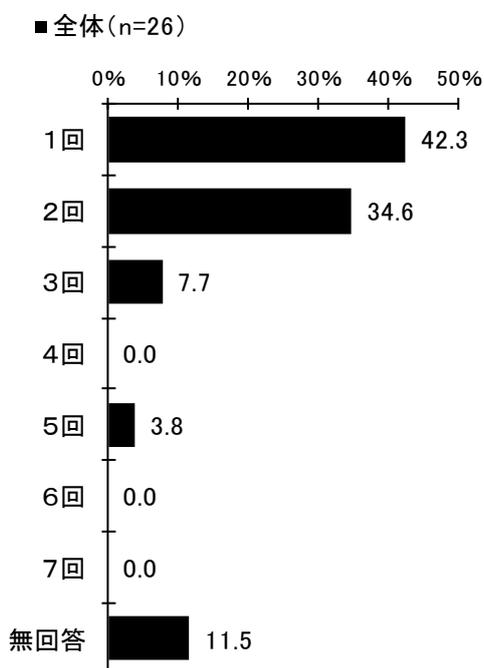
ファミリー・サポート・センターの利用希望については、「特に利用したいと思わない」の割合が58.1%で最も高く、次いで「週に数日利用したい」(15.1%)が続き、以下「ほぼ毎日利用したい」(10.5%)の順となっています。

1週当たり利用したい回数については、「1回」が42.3%で最も高く、次いで「2回」(34.6%)が続きます。

### ファミリー・サポート・センターの利用希望



### 1週当たり利用したい回数



## 7 地域の子育て支援事業の利用状況について

### (33) 利用している地域子育て支援拠点事業

問16 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で「ふれあい広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。【複数回答】

利用している地域子育て支援拠点事業については、「地域子育て支援拠点事業」が18.0%、「その他町で実施している類似の事業」が5.8%となっています。

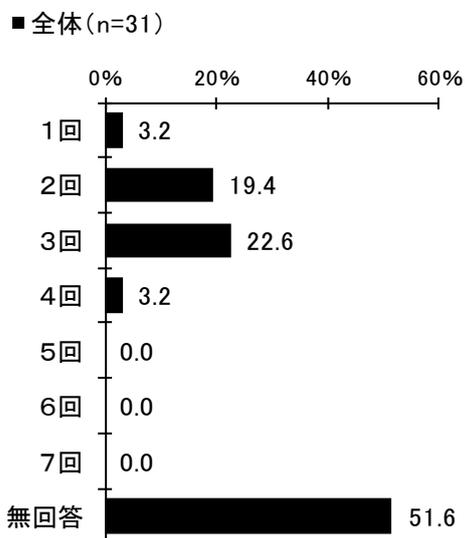
地域子育て支援拠点事業の1週当たりの利用回数は「3回」が22.6%、1ヶ月当たりの利用回数は「1回～5回」が58.1%となっています。

#### 利用している地域子育て支援拠点事業【複数回答】



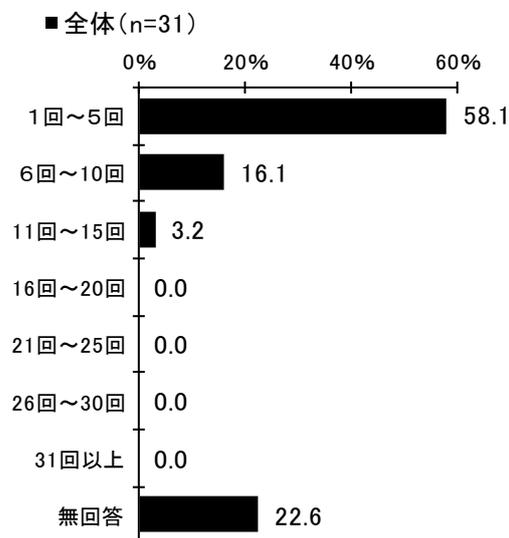
#### 地域子育て支援拠点事業／

##### 1週当たりの利用回数



#### 地域子育て支援拠点事業／

##### 1ヶ月当たりの利用回数



#### その他町で実施している類似の事業／

##### 1週当たりの利用回数

無回答…10人

#### その他町で実施している類似の事業／

##### 1ヶ月当たりの利用回数

1回～5回…9人

無回答…1人

### (34) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

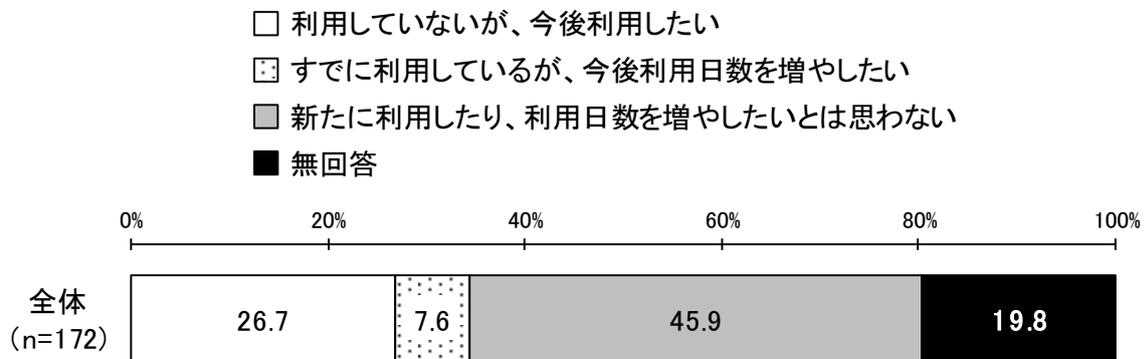
問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が45.9%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(26.7%)が続き、以下「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(7.6%)の順となっています。

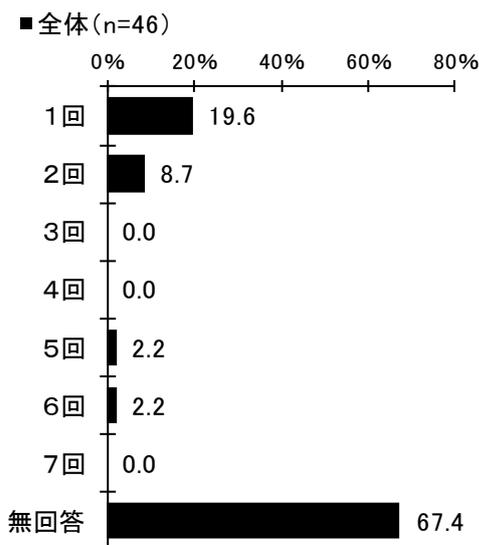
1週当たりの希望利用回数は「1回」が19.6%、1ヶ月当たりの希望利用増数は「1回～5回」が54.3%となっています。

希望する1週当たりの利用増数は「さらに1回」及び「さらに2回」が同率15.4%、希望する1ヶ月当たりの利用増数は「さらに1回～5回」が46.2%となっています。

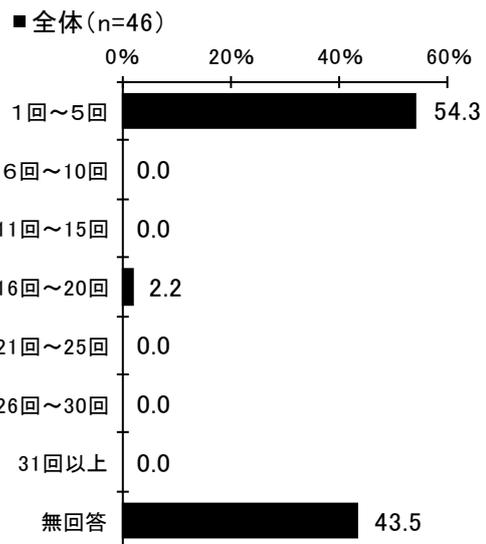
#### 地域子育て支援拠点事業の利用希望



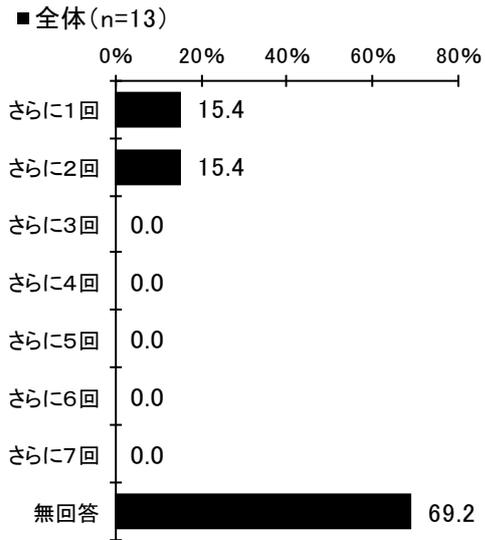
#### 希望する1週当たりの利用回数



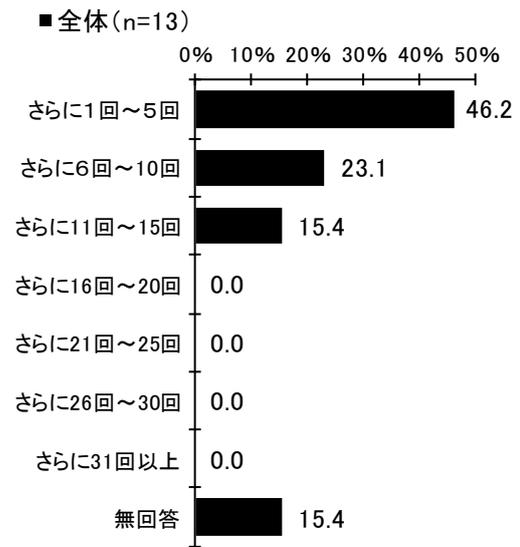
#### 希望する1ヶ月当たりの利用回数



### 希望する1週当たりの利用増数



### 希望する1ヶ月当たりの利用増数

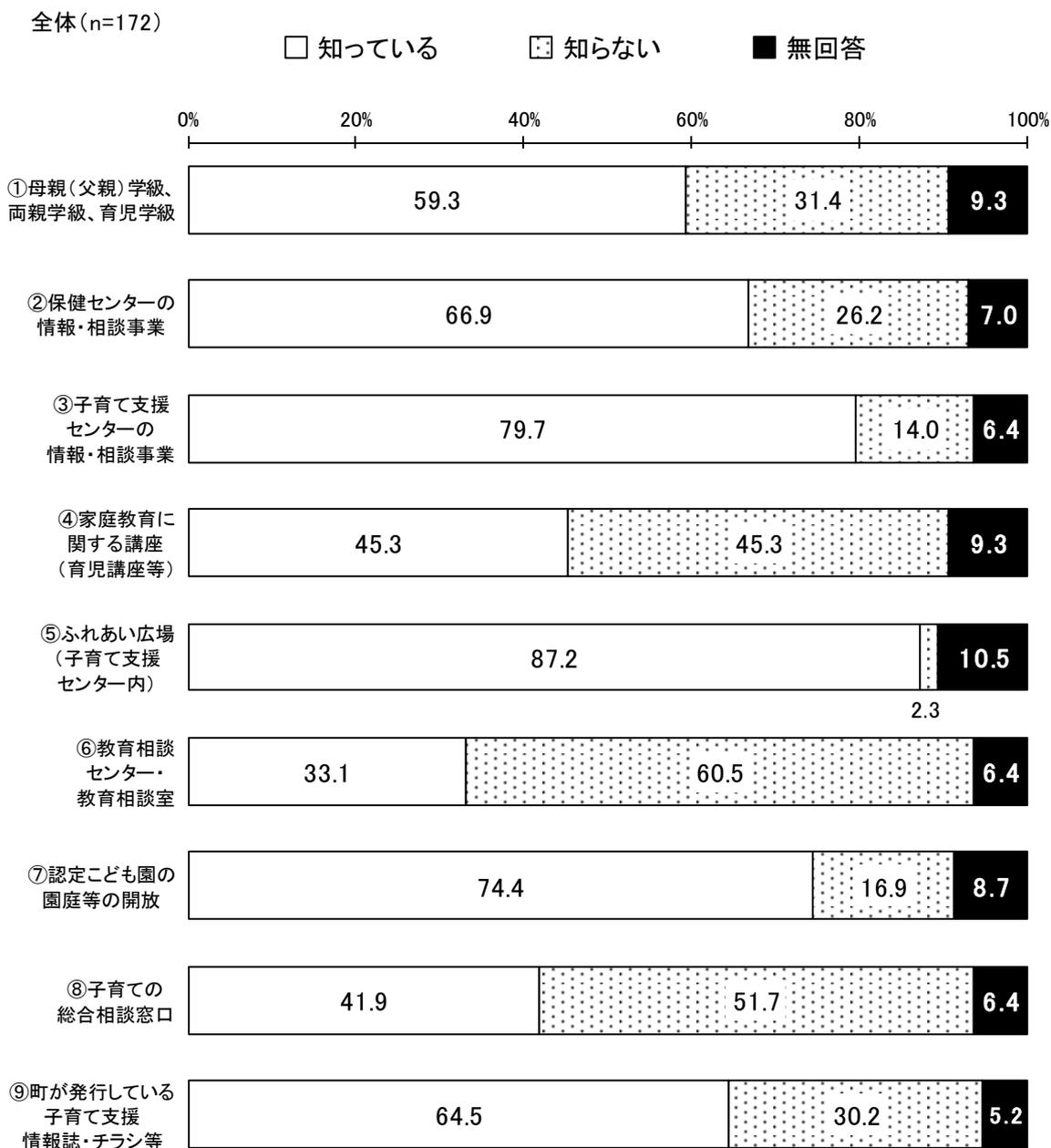


### (35) 各事業の認知度や利用状況

問18 各事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

各事業の認知度について「知っている」の割合をみると、『⑤ふれあい広場（子育て支援センター内）』が87.2%で最も高く、次いで『③子育て支援センターの情報・相談事業』（79.7%）が続き、以下『⑦認定こども園の園庭等の開放』（74.4%）などの順となっています。

#### 各事業の認知度や利用状況／認知度

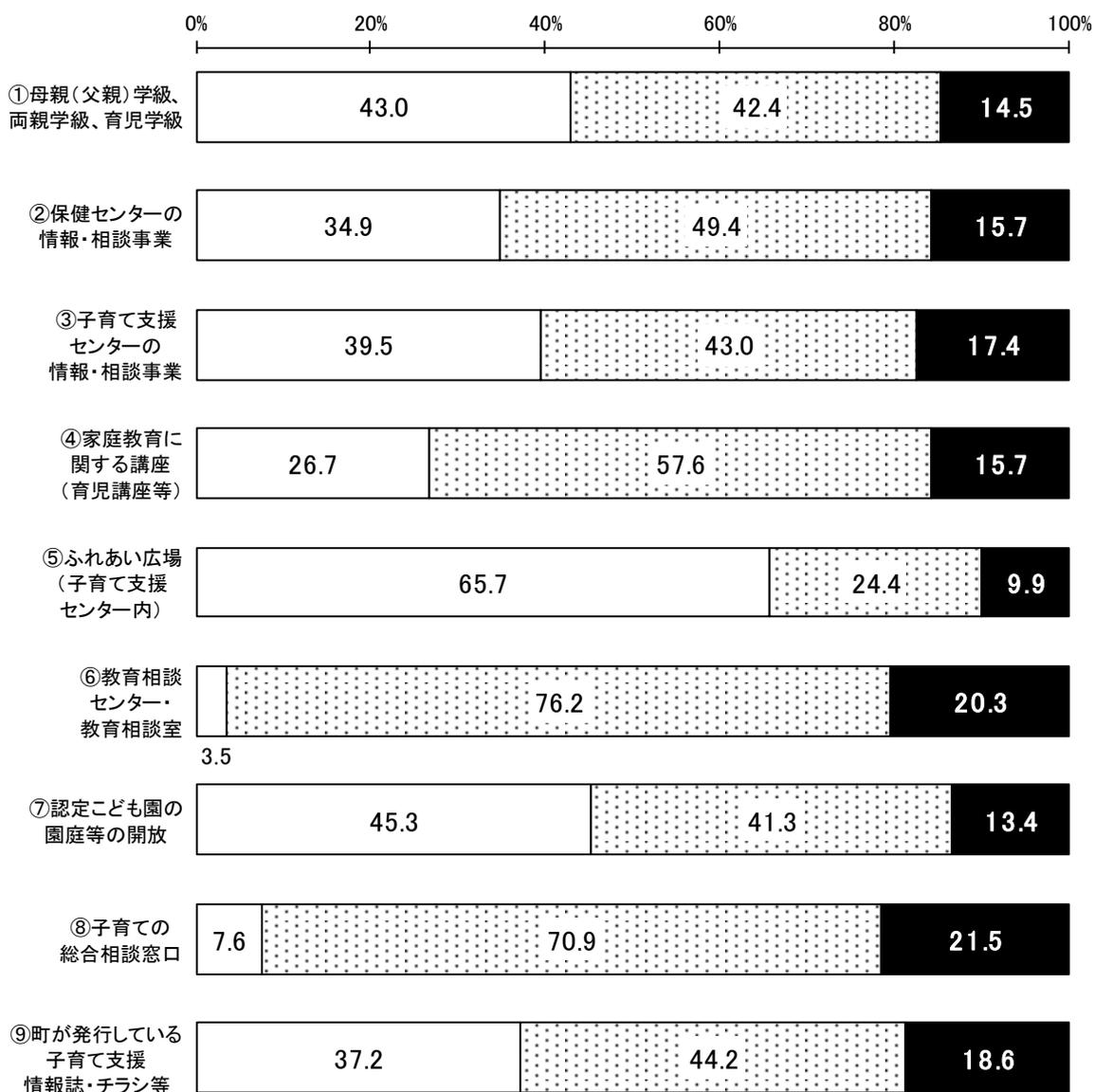


各事業の利用経験について「これまでに利用したことがある」の割合をみると、『⑤ふれあい広場（子育て支援センター内）』が65.7%で最も高く、次いで『⑦認定こども園の園庭等の開放』（45.3%）が続き、以下『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』（43.0%）などの順となっています。

### 各事業の認知度や利用状況／利用経験

全体(n=172)

□ これまでに利用したことがある   ▨ 利用したことはない   ■ 無回答

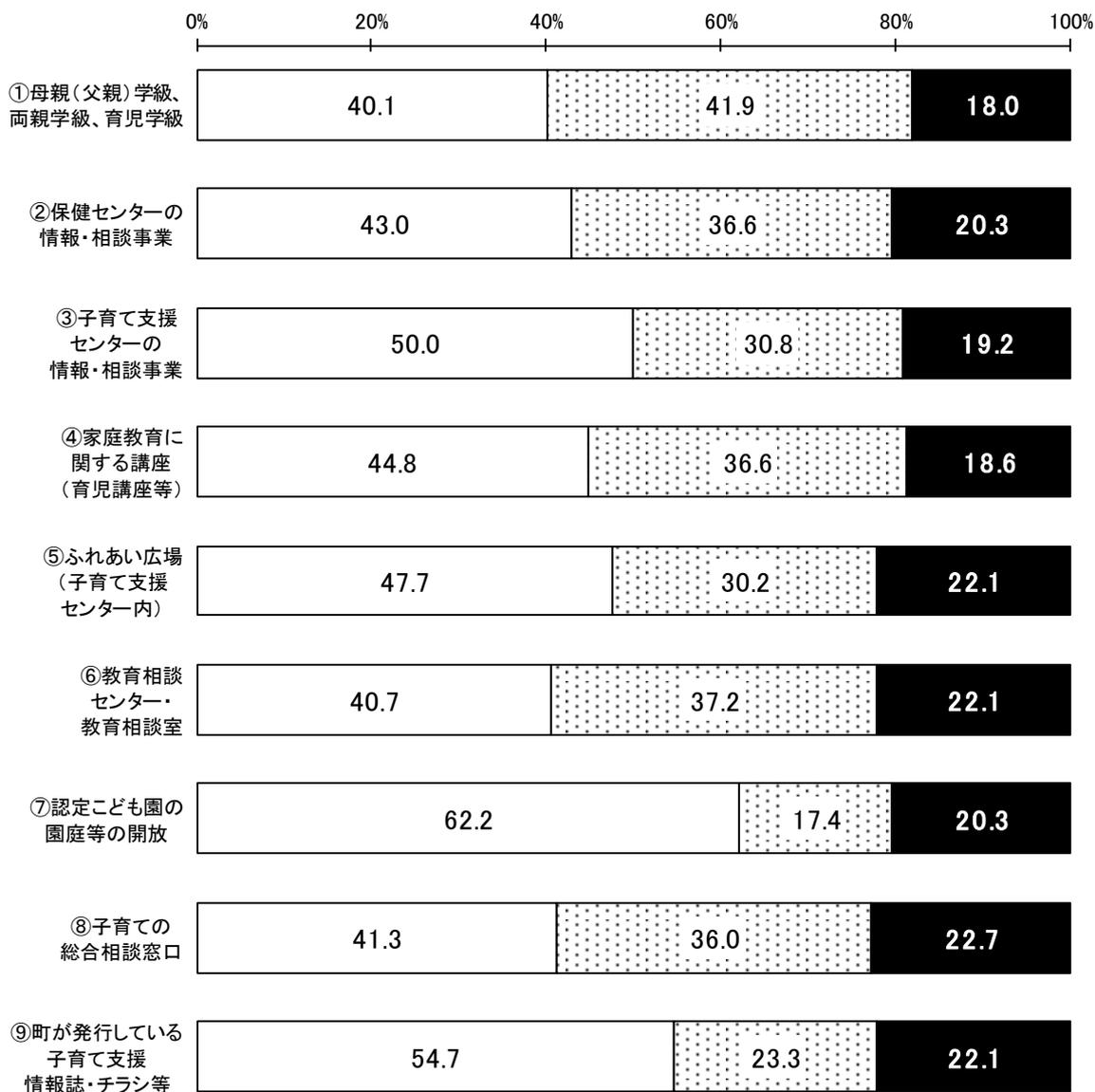


各事業の利用希望について「今後利用したい」の割合をみると、『⑦認定こども園の園庭等の開放』が62.2%で最も高く、次いで『⑨町が発行している子育て支援情報誌・チラシ等』(54.7%)が続き、以下『③子育て支援センターの情報・相談事業』(50.0%)などの順となっています。

### 各事業の認知度や利用状況／利用希望

全体(n=172)

□ 今後利用したい    ▨ 今後利用したいと思わない    ■ 無回答



## 8 休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

### (36) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

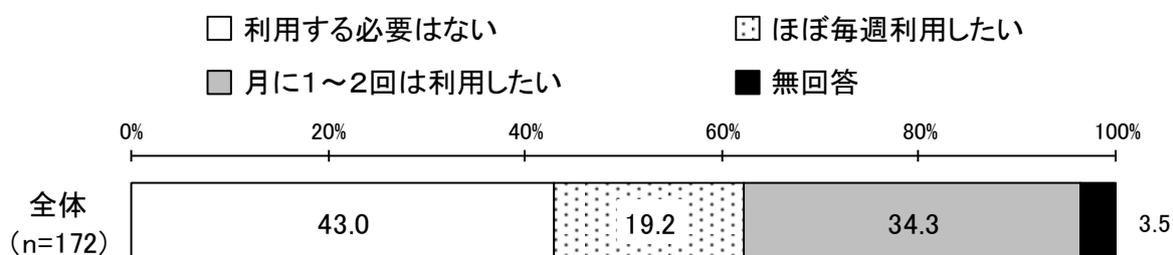
問19 土曜日と日曜日・祝日に幼稚園や認定こども園などの「定期的な」教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

#### ①土曜日

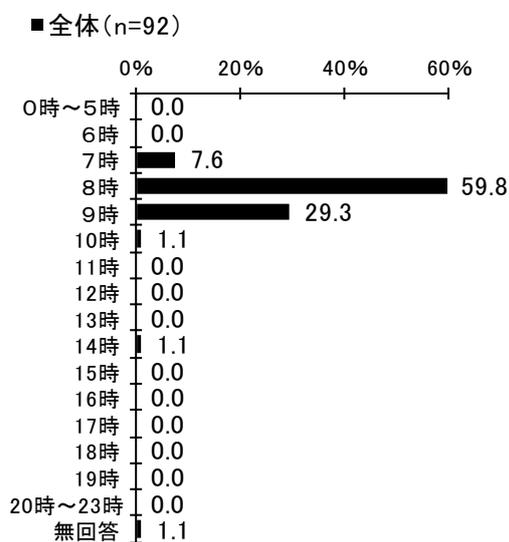
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が43.0%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」（34.3%）が続き、以下「ほぼ毎週利用したい」（19.2%）の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が59.8%、希望する利用終了時刻は「17時」が38.0%でそれぞれ最も高くなっています。

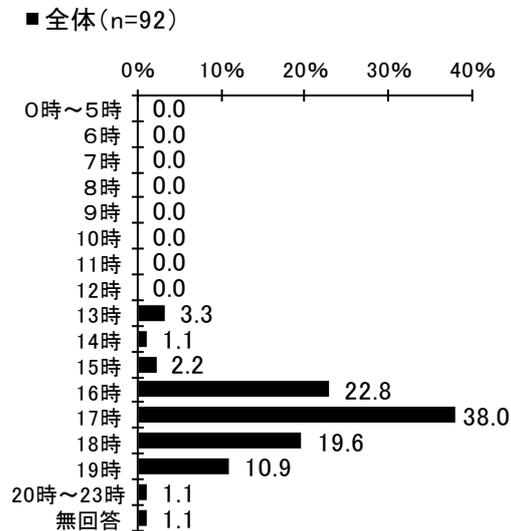
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望



希望する利用開始時刻



希望する利用終了時刻

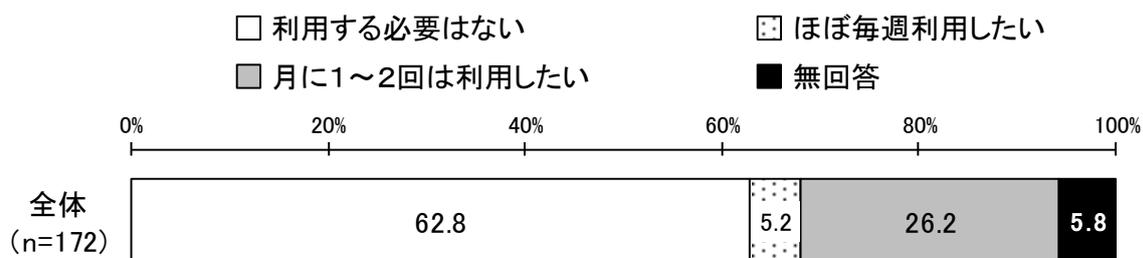


## ②日曜・祝日

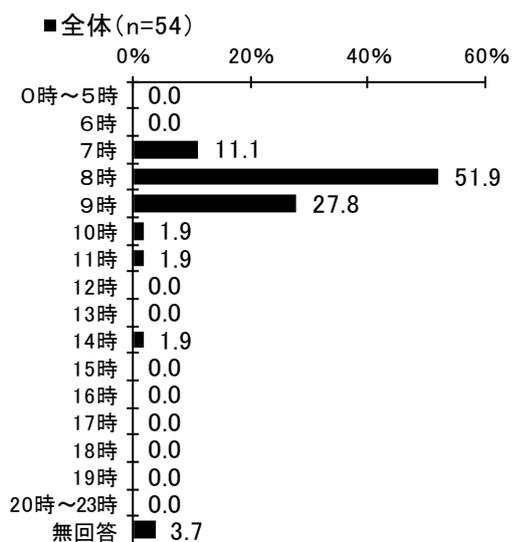
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が62.8%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(26.2%)が続き、以下「ほぼ毎週利用したい」(5.2%)の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が51.9%、希望する利用終了時刻は「17時」が29.6%でそれぞれ最も高くなっています。

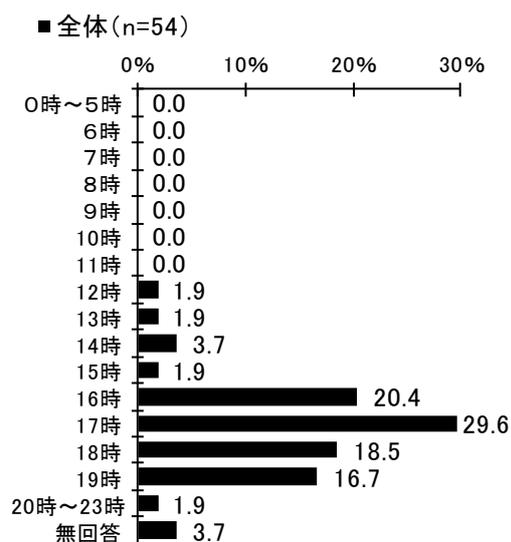
### 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



### 希望する利用開始時刻



### 希望する利用終了時刻



### (37) 土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由

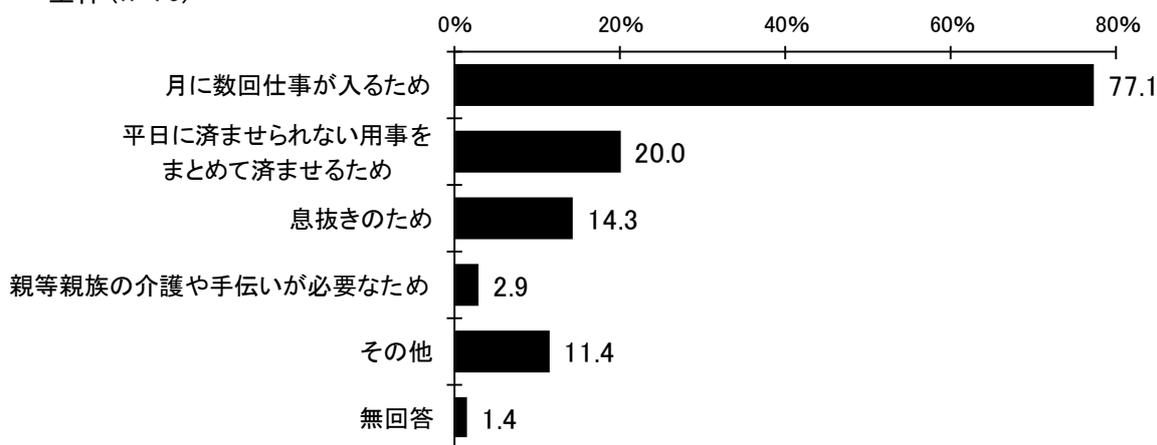
問19で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお聞きします。

問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」の割合が77.1%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(20.0%)が続き、以下「息抜きのため」(14.3%)などの順となっています。

#### 土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由【複数回答】

■全体(n=70)



### (38) 長期休暇中の幼稚園の利用希望

幼稚園を利用されている方にお聞きします。

問20 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

長期休暇中の幼稚園の利用希望については、「利用する必要はない」及び「休みの期間中、週に数日利用したい」がそれぞれ1人となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が1人、希望する利用終了時刻は「17時」が1人となっています。

#### 長期休暇中の幼稚園の利用希望

利用する必要はない	1人
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	1人

希望する利用開始時刻

8時…1人

希望する利用終了時刻

17時…1人

## 9 病気の際の対応について

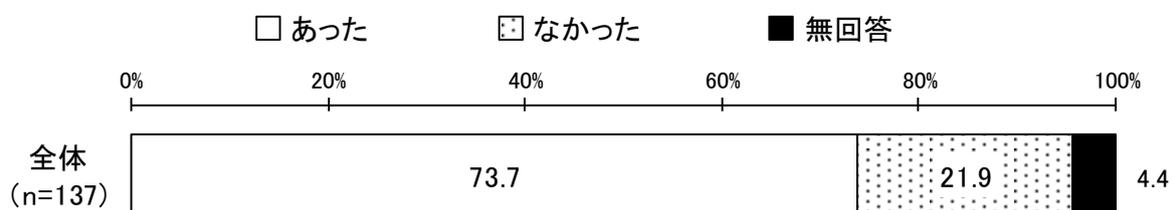
こちらの項目は、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問14で「利用している」に○をつけた方）にのみうかがいます。

### (39) 病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

問21 この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

病気やけがで通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」の割合が73.7%で、「なかった」（21.9%）の割合を大きく上回ります。

#### 病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

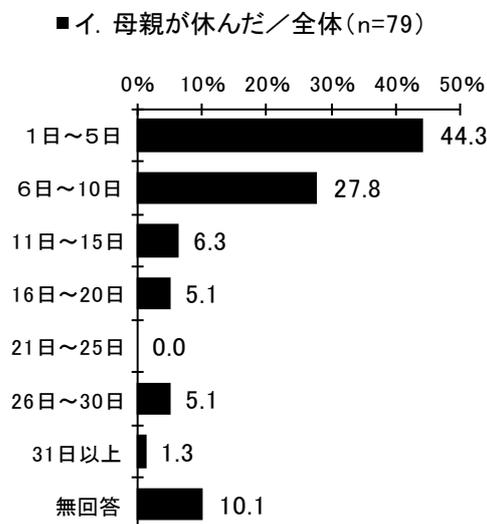
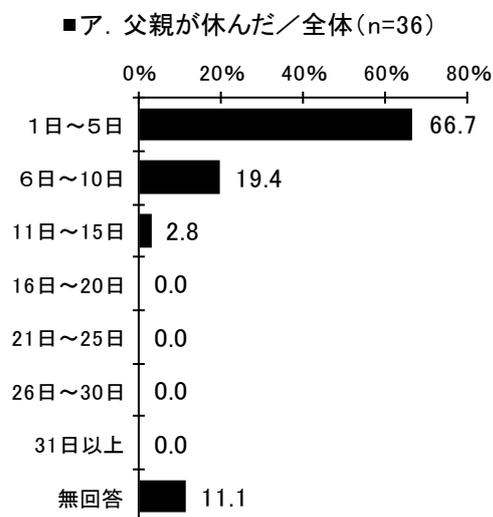
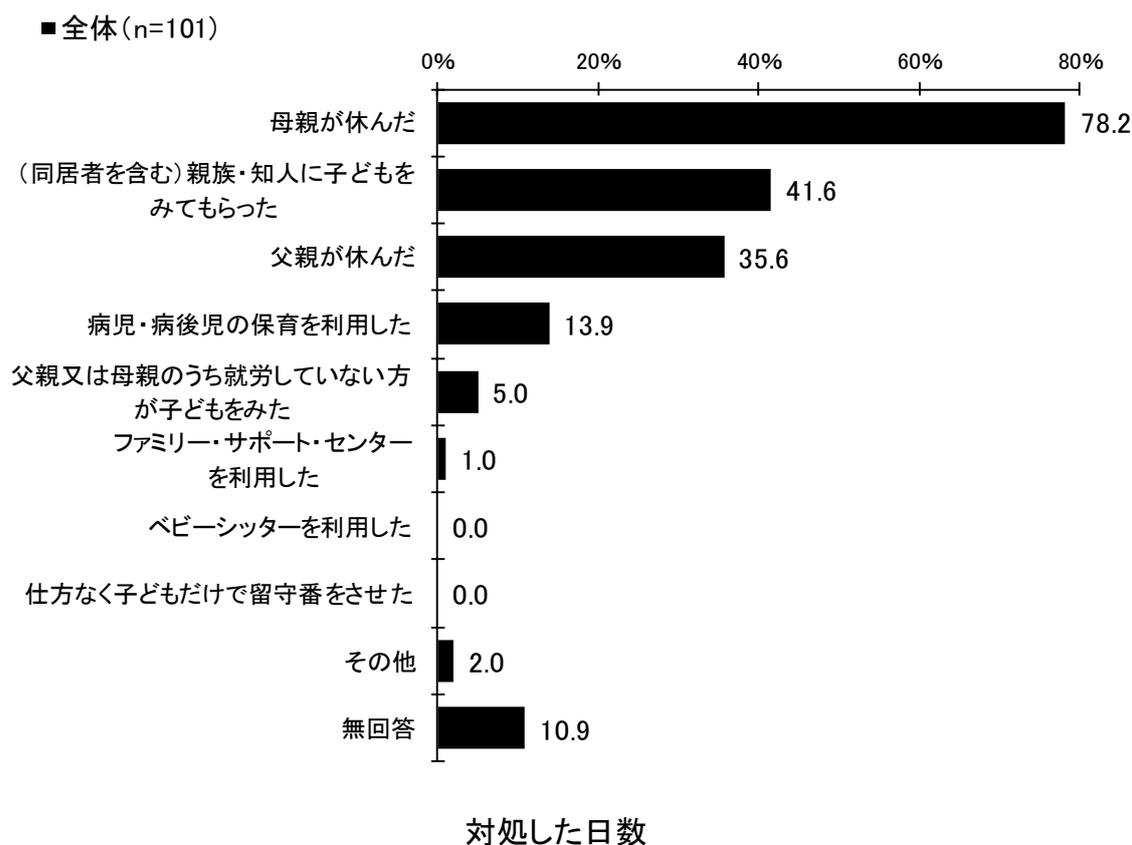


## (40) 子どもが病気の際の対処方法

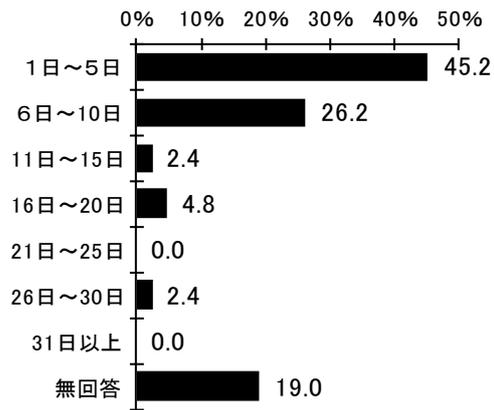
問21-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまるものと対処した日数についてお答えください。【複数回答】

子どもが病気の際の対処方法については、「母親が休んだ」の割合が78.2%で最も高く、他を引き離します。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(41.6%)が続き、以下「父親が休んだ」(35.6%)などの順となっています。

### 子どもが病気の際の対処方法【複数回答】



■ウ. 親族・知人にみてもらった／全体(n=42)



エ. 就労していない方の親がみた

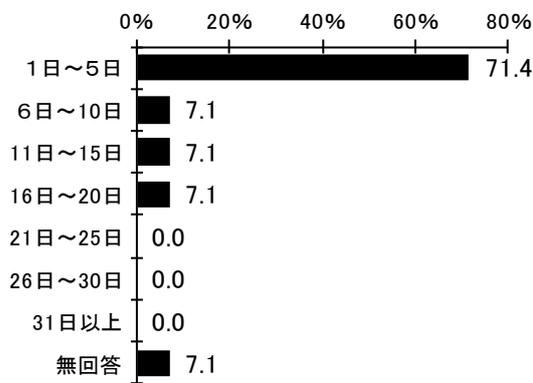
／全体(n=5)

1日～5日…2人

11日～15日…2人

無回答…1人

■オ. 病児・病後児の保育を利用／全体(n=14)



ベビーシッターを利用／該当者なし

キ. ファミリー・サポート・センターを利用

／全体(n=1)

1日～5日…1人

子どもだけで留守番をさせた／該当者なし

ケ. その他／全体(n=2)

6日～10日…1人

無回答…1人

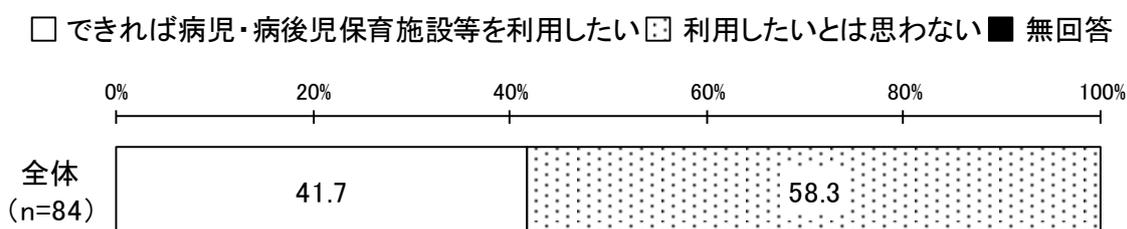
## (41) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問21-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。  
 問21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。

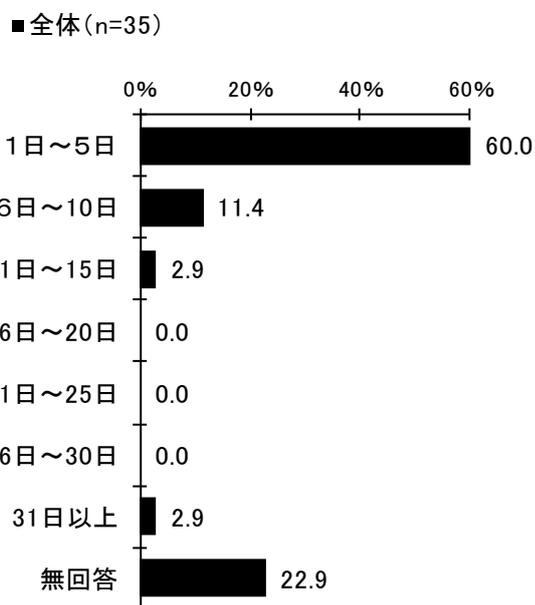
病児・病後児保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」の割合が58.3%で6割弱を占めます。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合は41.7%でした。

利用しなかった日数については、「1～5日」の割合が60.0%で最も高く、他を引き離します。

### 病児・病後児保育施設等の利用希望



### 利用したかった日数

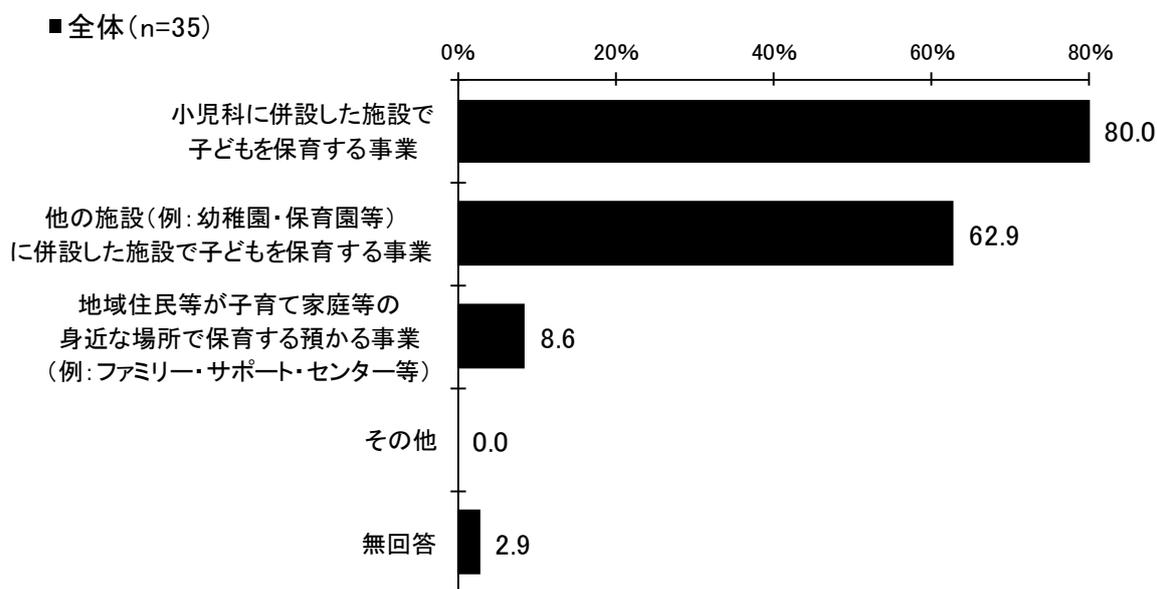


## (42) 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態

問21-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にお聞きします。  
問21-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

病児・病後児保育施設の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が80.0%で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（62.9%）が続き、他を大きく引き離します。以下「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」（8.6%）などの順となっています。

### 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態【複数回答】



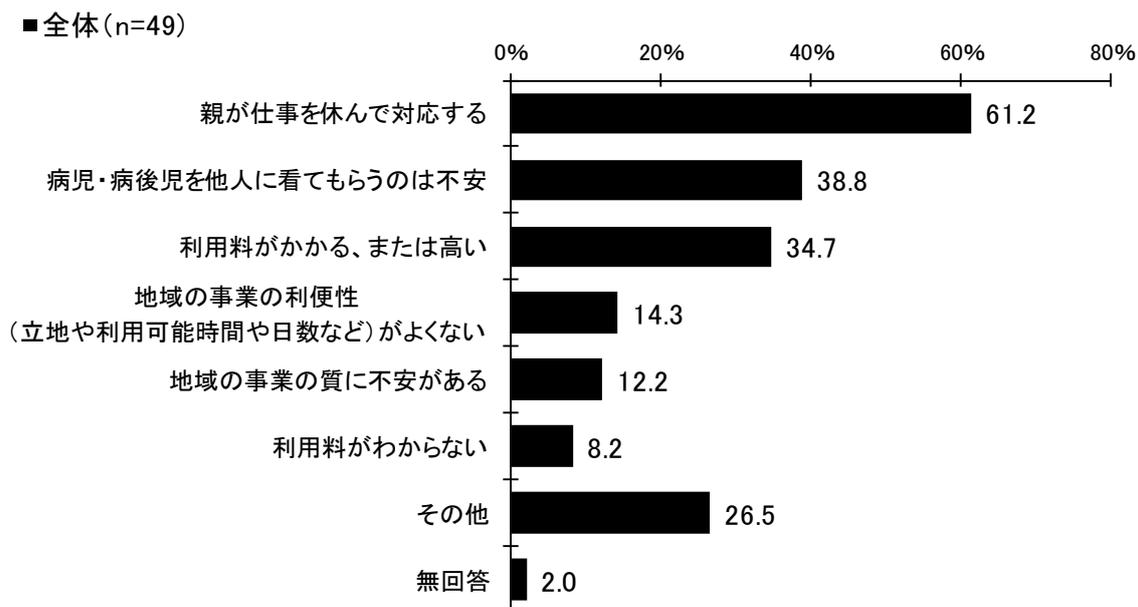
## (43) 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由

問21-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にお聞きします。

問21-4 そう思われる理由はなんですか。【複数回答】

病児・病後児保育施設等を利用したくない理由については、「親が仕事を休んで対応する」の割合が61.2%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(38.8%)が続き、以下「利用料がかかる、または高い」(34.7%)などの順となっています。

### 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由【複数回答】



## (44) 子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望

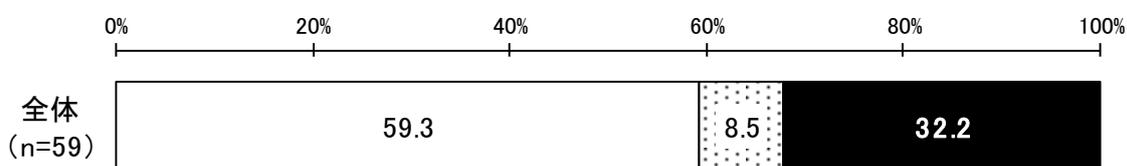
問21-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに○をつけた方にお聞きします。  
 問21-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が59.3%で、「休んで看ることは非常に難しい」(8.5%)の割合を上回ります。

仕事を休んで看たかった日数については、「1～5日」の割合が51.4%で最も高く、他を引き離します。

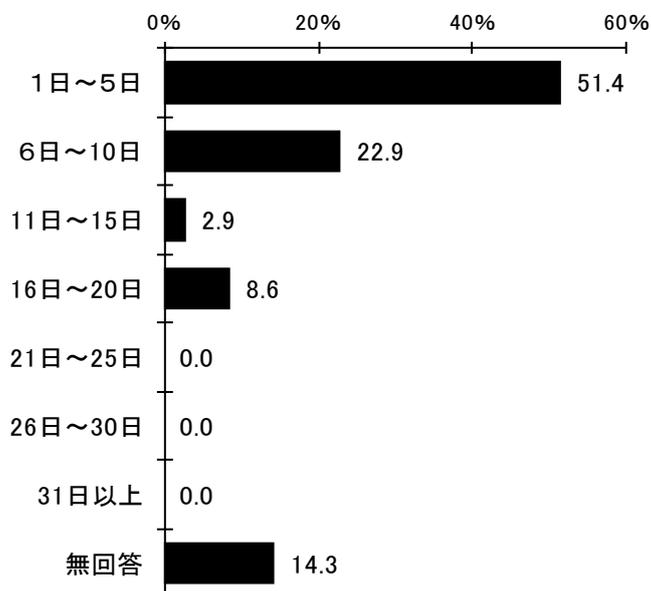
### 子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望

できれば仕事を休んで看たい  休んで看ることは非常に難しい  無回答



### 仕事を休んで看たかった日数

■ 全体 (n=35)



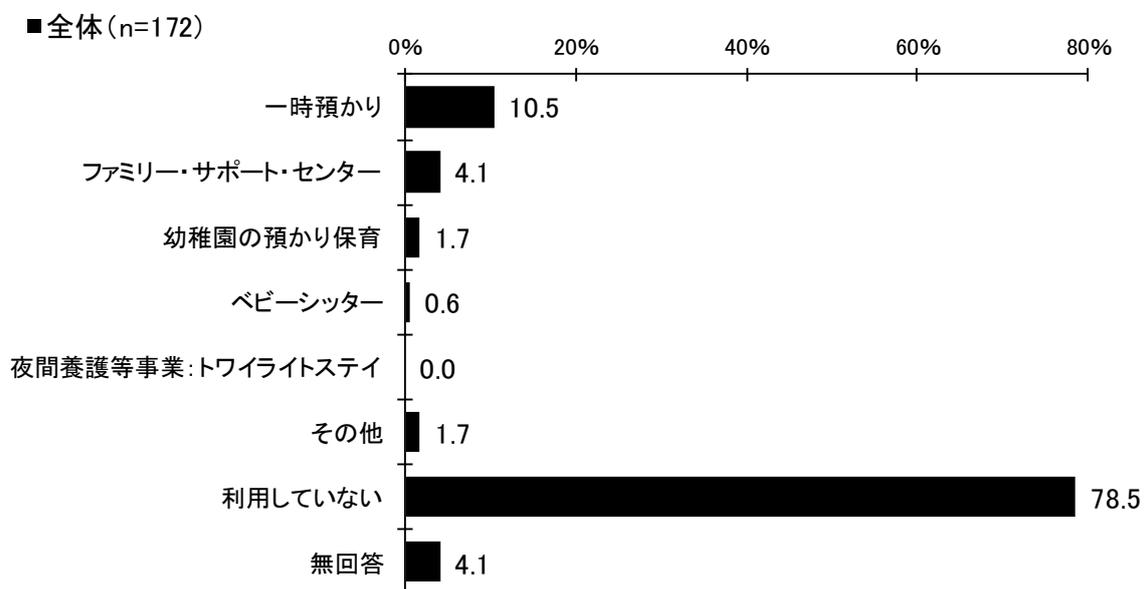
## 10 不定期の事業・宿泊を伴う一時保育の利用について

### (45) 不定期的な教育・保育事業の利用状況

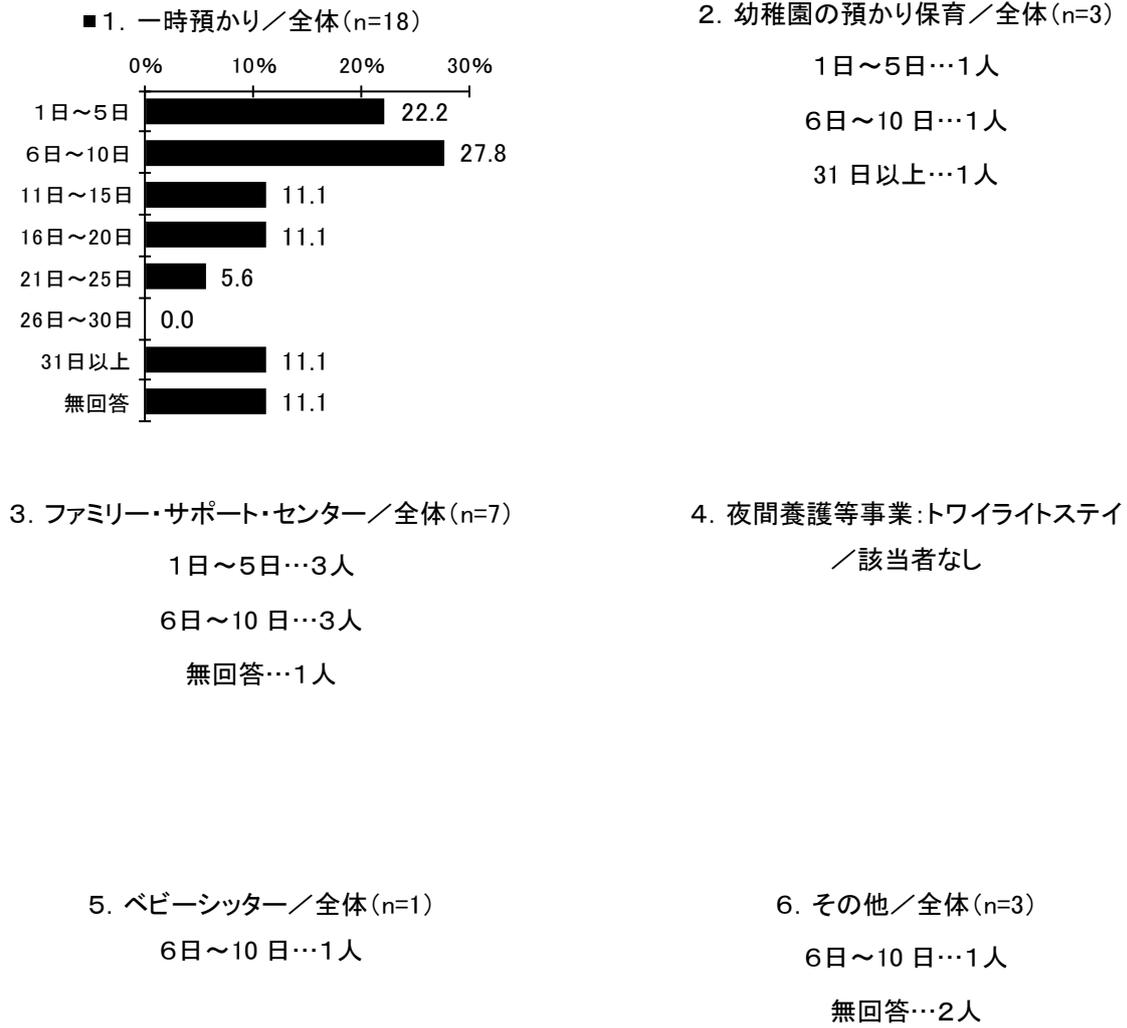
問22 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。【複数回答】

不定期的な教育・保育事業の利用状況について、利用している事業では「一時預かり」の割合が10.5%で最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」(4.1%)が続き、以下「幼稚園の預かり保育」(1.7%)などの順となっています。なお、「利用していない」は78.5%でした。

不定期的な教育・保育事業の利用状況【複数回答】



## 1年間の利用日数



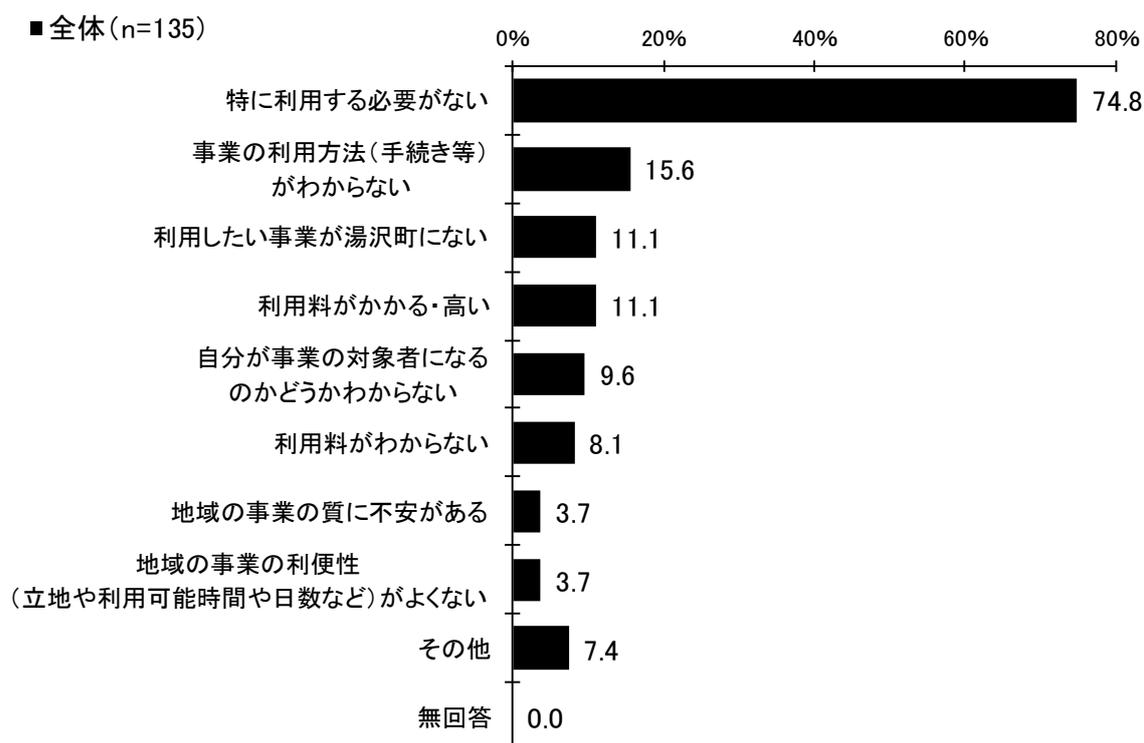
## (46) 不定期な教育・保育事業を利用しない理由

問22で「利用していない」に○をつけた方にお聞きします。

問22-1 現在利用していない理由は何ですか。【複数回答】

不定期な教育・保育事業を利用しない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が74.8%で最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（15.6%）が続き、以下「利用したい事業が湯沢町にない」及び「利用料がかかる・高い」（同率11.1%）などの順となっています。

### 不定期な教育・保育事業を利用しない理由【複数回答】

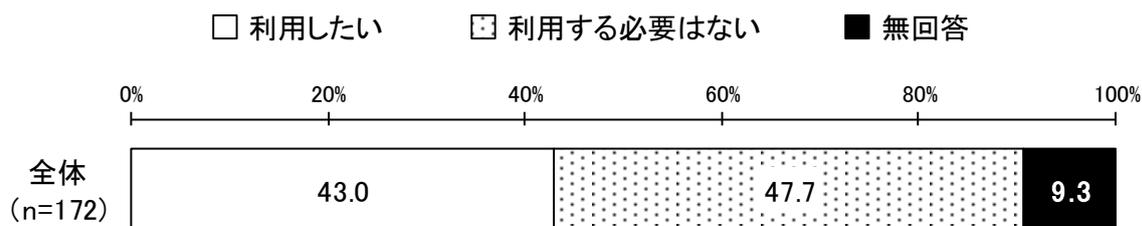


## (47) 不定期な教育・保育事業の利用希望

問23 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

不定期な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が47.7%で、「利用したい」(43.0%)の割合を上回ります。

### 不定期な教育・保育事業の利用希望

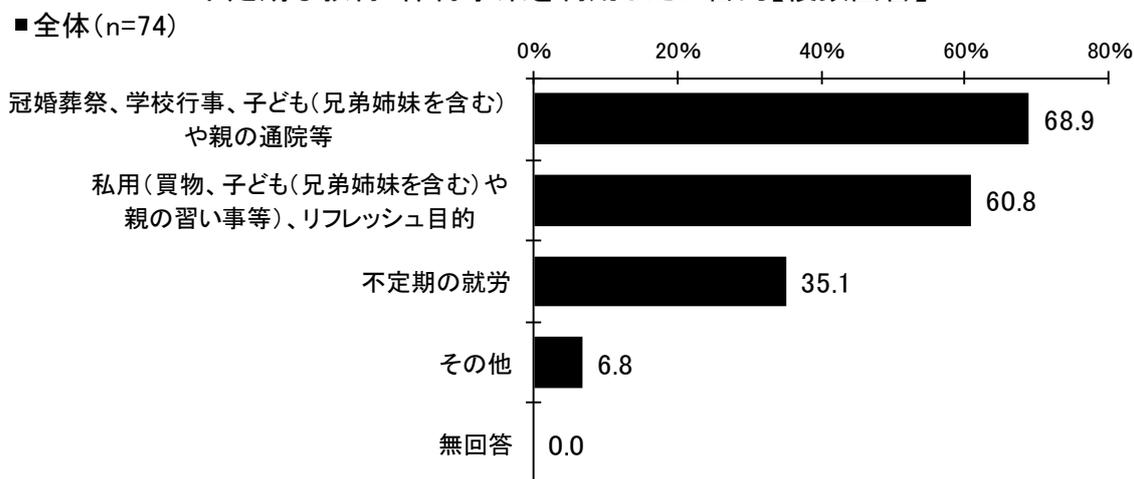


#### ①利用したい目的

利用したい目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が68.9%で最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（60.8%）が続き、以下「不定期の就労」（35.1%）などの順となっています。

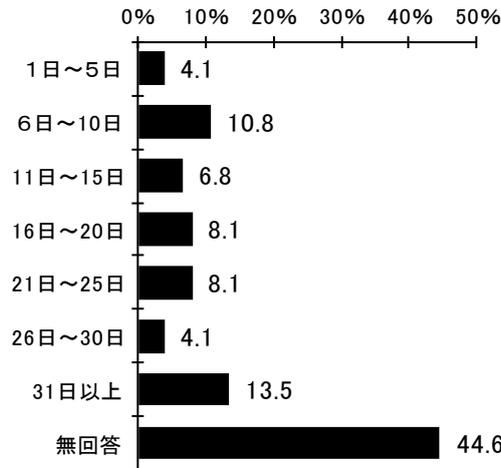
1年間で利用したい日数については、全体では「31日以上」の割合が13.5%で最も高くなっています。

### 不定期な教育・保育事業を利用したい目的【複数回答】

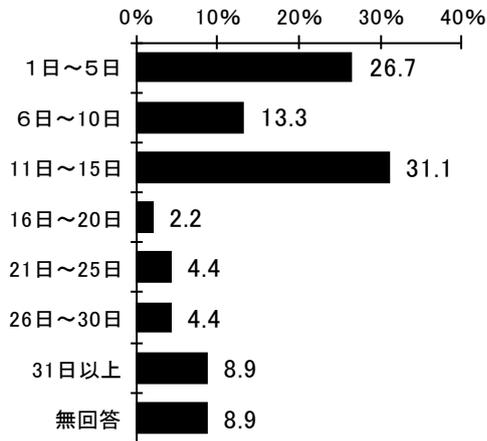


## 1年間で利用したい日数

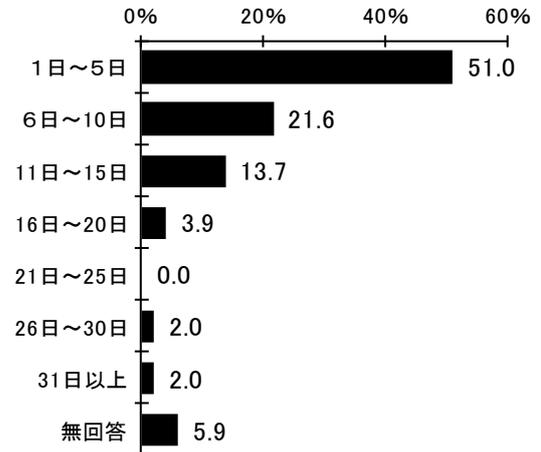
■ 合計の利用日数／全体 (n=74)



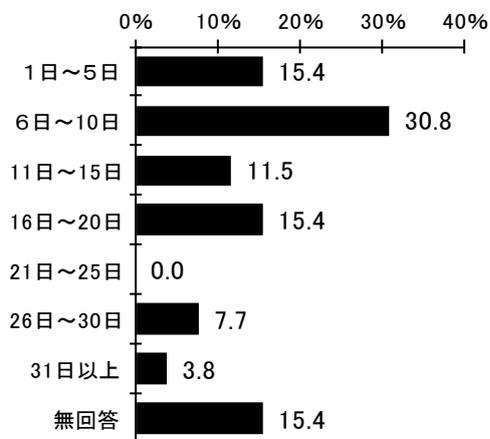
■ ア. 私用、リフレッシュ目的／全体 (n=45)



■ イ. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院／全体 (n=51)



■ ウ. 不定期の就労／全体 (n=26)



エ. その他／全体 (n=5)

6日～10日…2人  
16日～20日…1人  
31日以上…1人  
無回答…1人

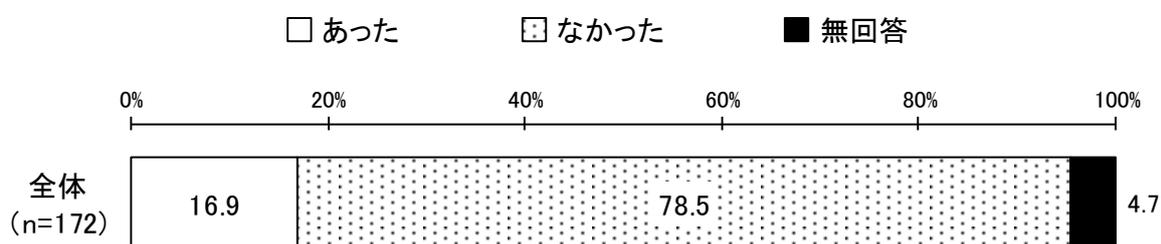
## (48) 泊りがけで家族以外に預けた経験

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。

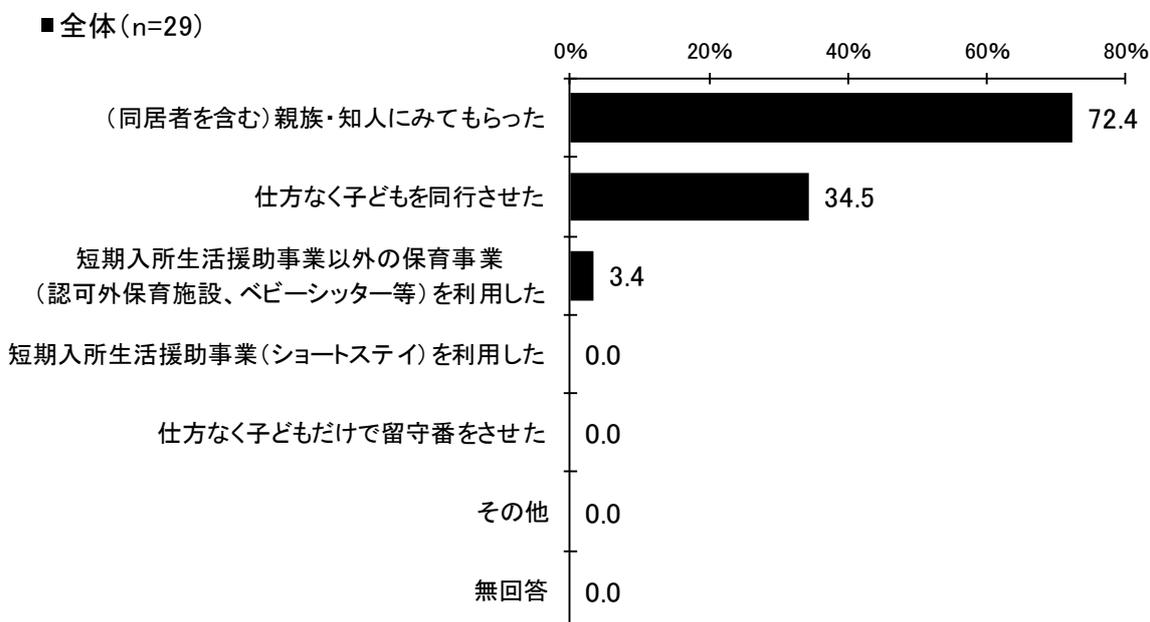
泊りがけで家族以外に預けた経験については、「あった」が16.9%、「なかった」が78.5%となっています。

泊りがけで預ける必要があった際の対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が72.4%で最も高く、他を引き離します。次いで「仕方なく子どもを同行させた」（34.5%）が続きます。

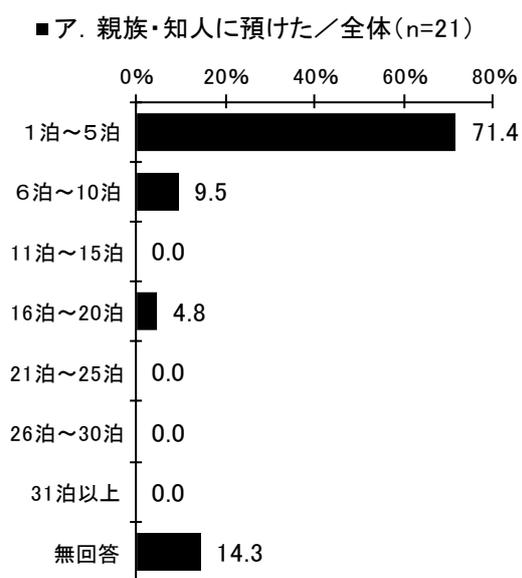
### 泊りがけで家族以外に預けた経験



### 泊りがけで預ける必要があった際の対処方法



## 対応した日数



イ. ショートステイを利用／該当者なし

ウ. ショートステイ以外を利用／全体(n=1)

1泊～5泊…1人

エ. 子どもを同行させた／全体(n=10)

1泊～5泊…5人

6泊～10泊…1人

無回答…4人

オ. 子どもだけで留守番をさせた／該当者なし

カ. その他／該当者なし

## (49) 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度

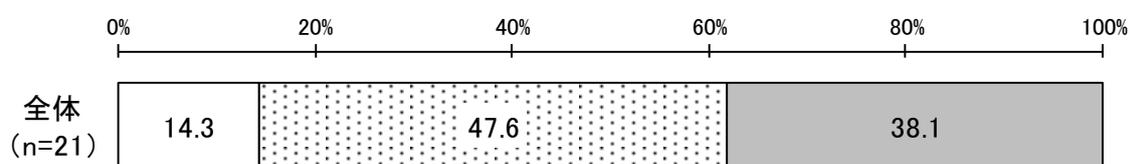
問24で「あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にお聞きします。

問24-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

泊りがけで家族以外に預けた際の困難度については、「どちらかというと困難」の割合が47.6%で最も高く、次いで「特に困難ではない」(38.1%)が続き、以下「非常に困難」(14.3%)の順となっています。

### 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度

非常に困難  どちらかというと困難  特に困難ではない  無回答



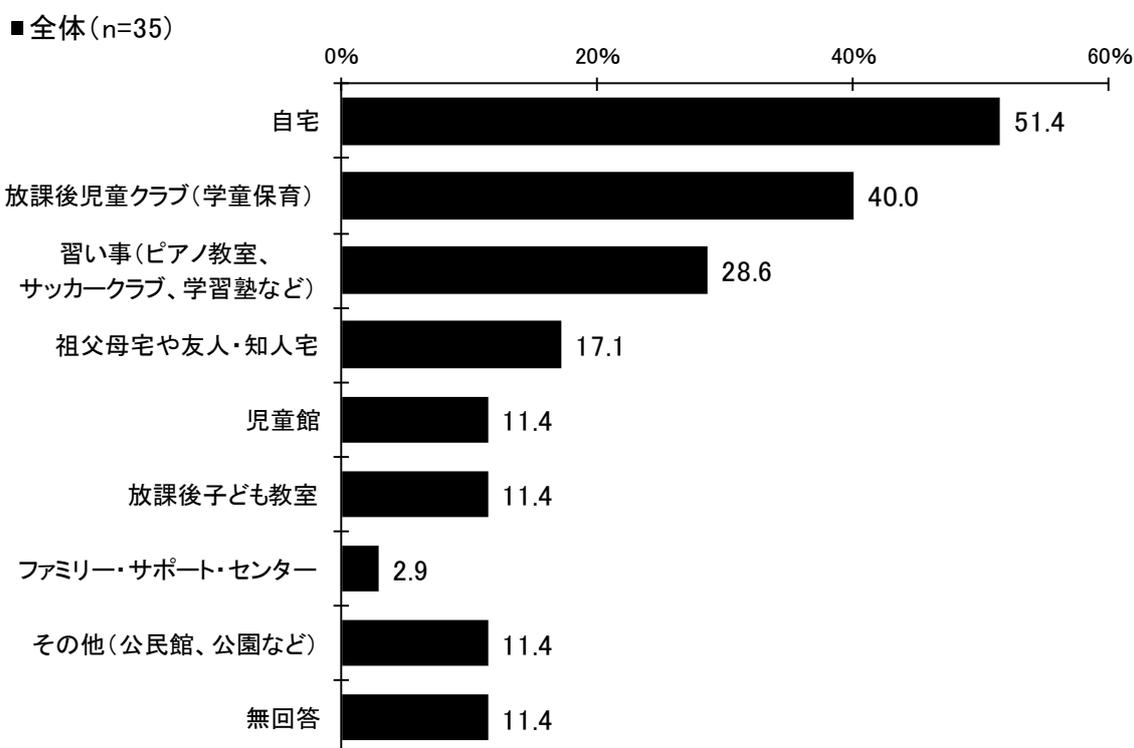
## 11 5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方の希望について

### (50) 小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所

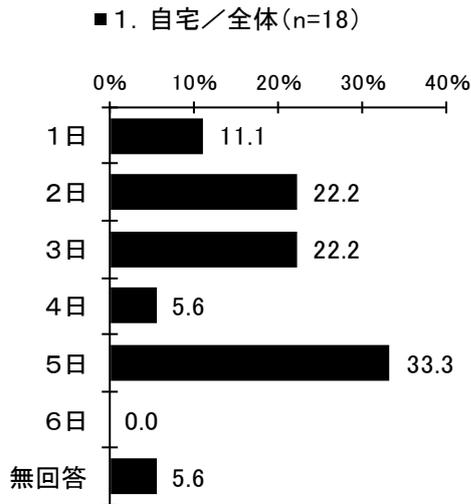
問25 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が51.4%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（40.0%）が続き、以下「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（28.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（17.1%）などの順となっています。

小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所【複数回答】



## 1週間で利用する日数



2. 祖父母宅や友人・知人宅／全体 (n=6)

1日…2人  
2日…2人  
3日…1人  
5日…1人

3. 習い事／全体 (n=10)

1日…3人  
2日…3人  
3日…4人

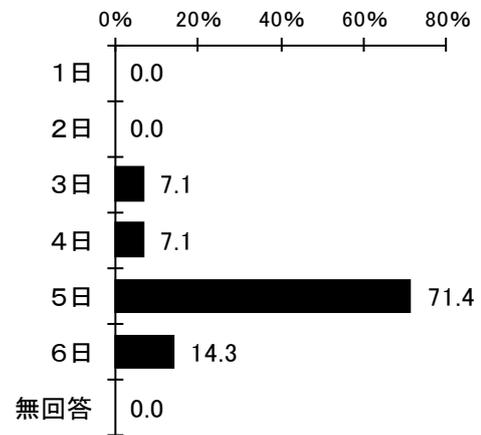
4. 児童館／全体 (n=4)

1日…1人  
2日…1人  
5日…2人

5. 放課後子ども教室／全体 (n=4)

1日…2人  
3日…1人  
5日…1人

■ 6. 放課後児童クラブ／全体 (n=14)



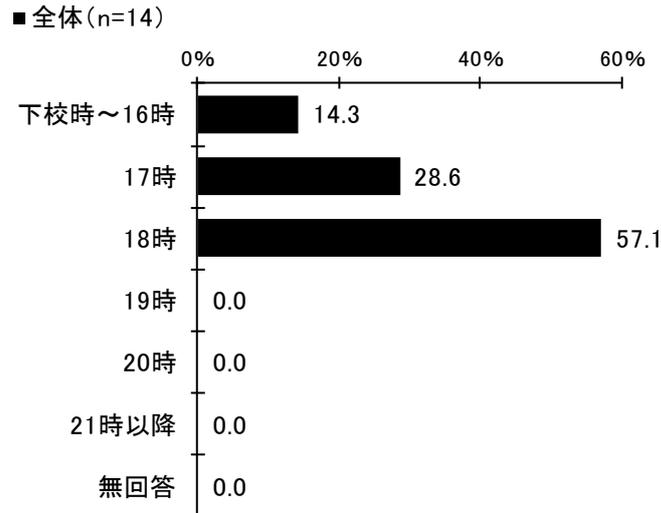
7. ファミリー・サポート・センター／全体 (n=1)

1日…1人

8. その他／全体 (n=4)

1日…1人  
2日…3人

### 放課後児童クラブの終了希望時刻

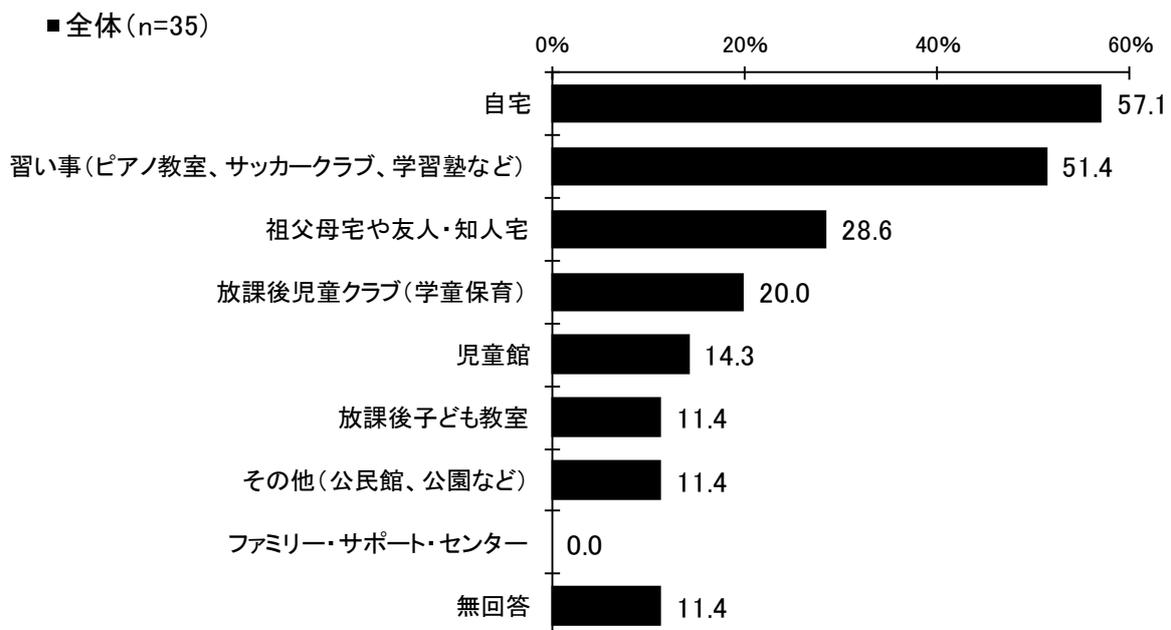


### (51) 小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所

問26 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

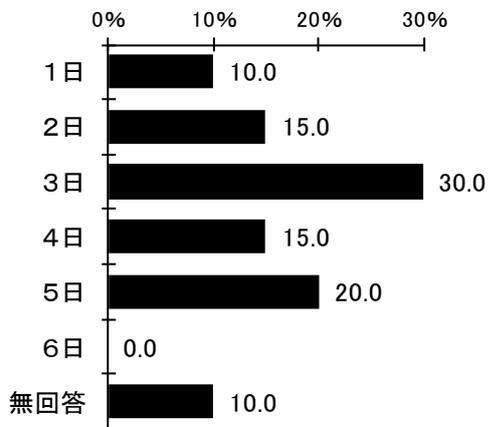
小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が57.1%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（51.4%）が続き、以下「祖父母宅や友人・知人宅」（28.6%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（20.0%）などの順となっています。

### 小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所【複数回答】



## 1週間で利用したい日数

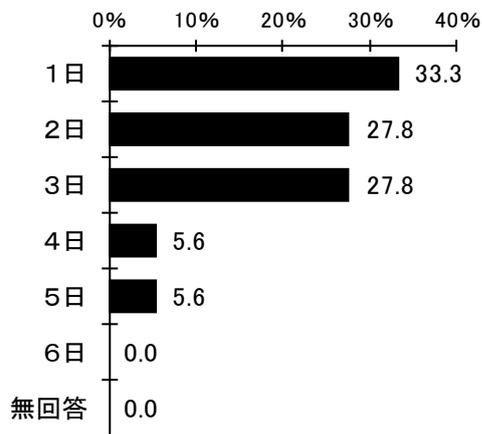
■ 1. 自宅／全体 (n=20)



2. 祖父母宅や友人・知人宅／全体 (n=10)

1日…4人  
 2日…3人  
 3日…2人  
 無回答…1人

■ 3. 習い事／全体 (n=18)



4. 児童館／全体 (n=5)

1日…1人  
 2日…2人  
 5日…2人

5. 放課後子ども教室／全体 (n=4)

1日…1人  
 3日…1人  
 5日…2人

6. 放課後児童クラブ／全体 (n=7)

3日…2人  
 5日…5人

7. ファミリー・サポート・センター／該当者なし

8. その他／全体(n=4)

1日…1人

2日…1人

3日…1人

4日…1人

放課後児童クラブの終了希望時刻

6. 放課後児童クラブ／全体(n=7)

17時…3人

18時…4人

(52) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望

問25または問26で「放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にお聞きます。

問27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。

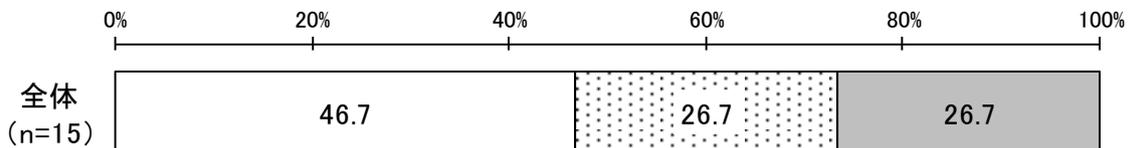
①土曜日

土曜日の放課後児童クラブ利用希望については、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が46.7%で最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」及び「利用する必要はない」(同率26.7%)の順となっています。

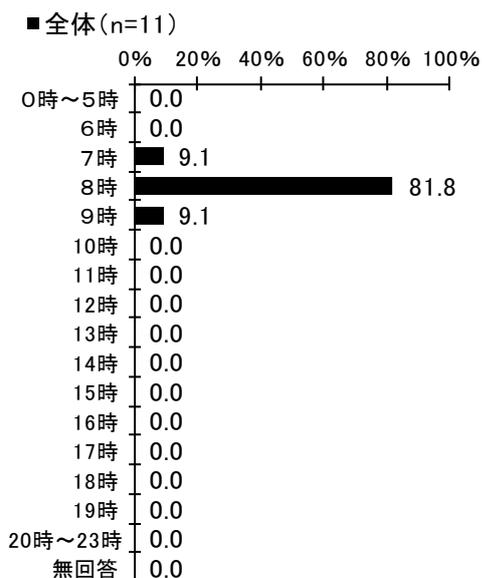
希望する利用開始時刻は「8時」が81.8%、希望する利用終了時刻は「17時」が45.5%でそれぞれ最も高くなっています。

土曜日の放課後児童クラブ利用希望

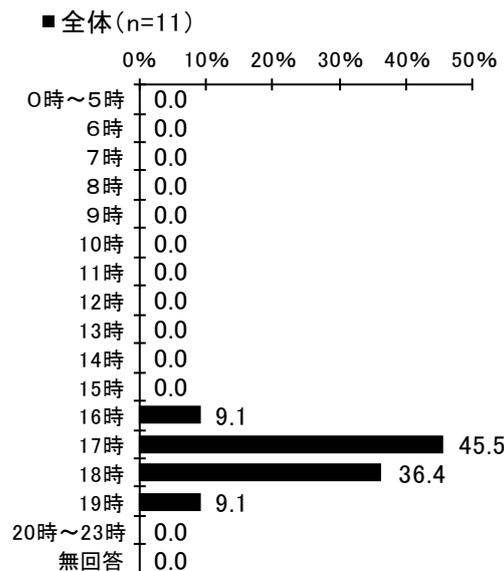
- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答



### 希望する利用開始時刻



### 希望する利用終了時刻

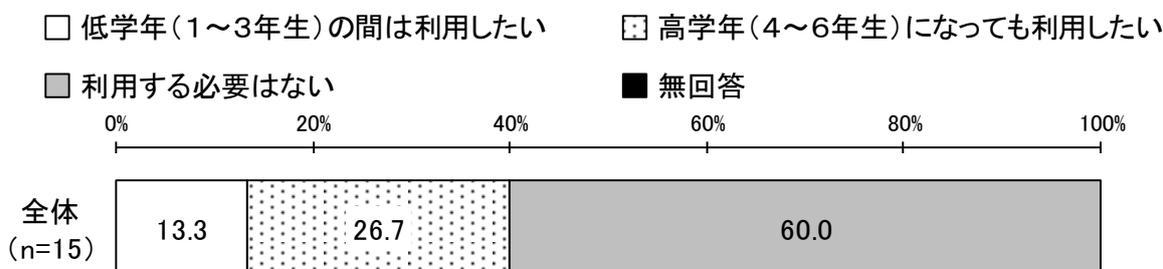


## ②日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブ利用希望については、「利用する必要はない」の割合が60.0%で最も高く、次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」(26.7%)が続き、以下「低学年(1~3年生)の間は利用したい」(13.3%)の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が4人、希望する利用終了時刻は「17時」が3人でそれぞれ最も多くなっています。

### 日曜・祝日の放課後児童クラブ利用希望



### 希望する利用開始時刻

／全体 (n=6)

7時…1人

8時…4人

9時…1人

### 希望する利用終了時刻

／全体 (n=6)

17時…3人

18時…2人

19時…1人

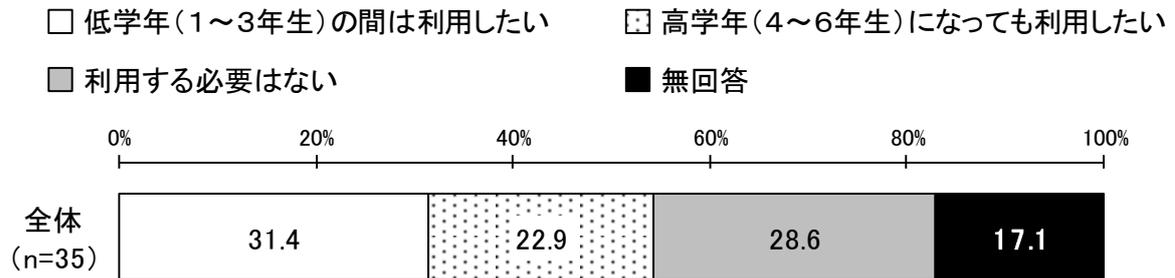
### (53) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望

問28 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。

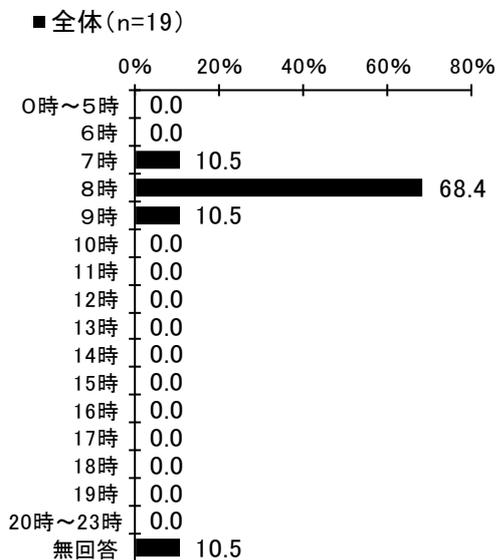
長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が31.4%で最も高く、次いで「利用する必要はない」（28.6%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（22.9%）の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が68.4%、希望する利用終了時刻は「17時」が31.6%でそれぞれ最も高くなっています。

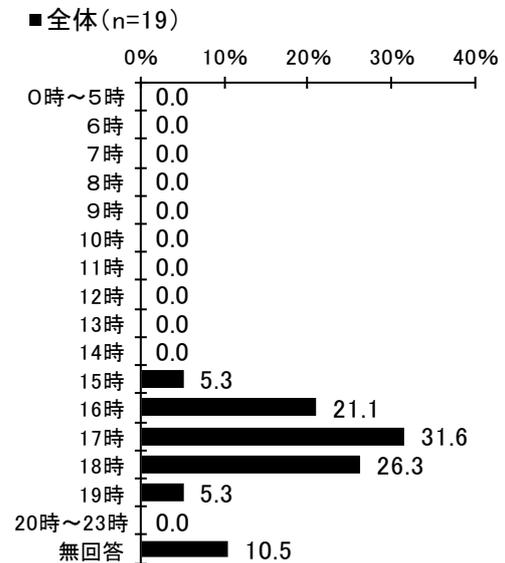
#### 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望



#### 希望する利用開始時刻



#### 希望する利用終了時刻



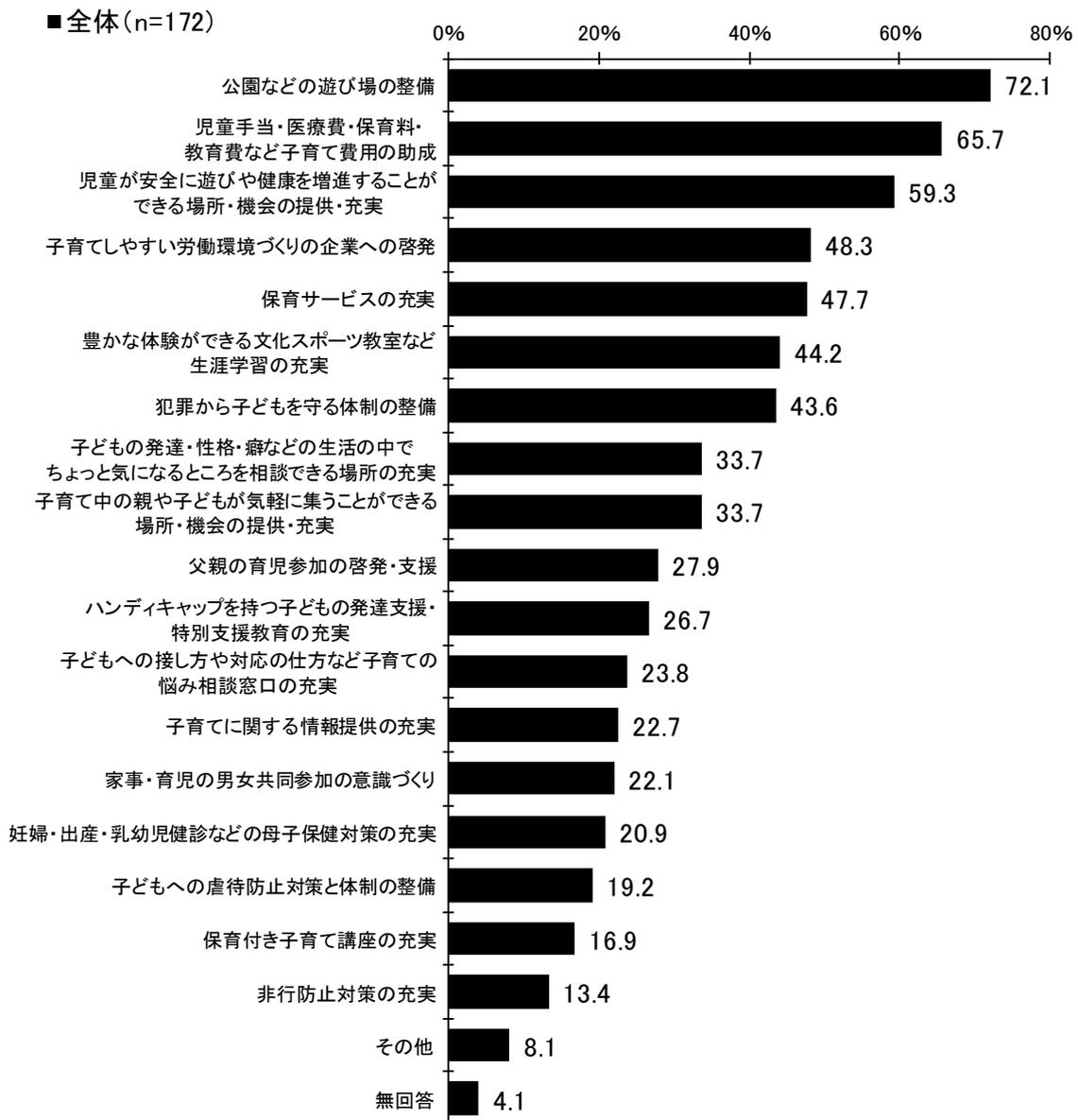
## 12 湯沢町の子育て支援対策について

### (54) 湯沢町が力を入れるべき子育て支援策

問29 町の子育て支援策として、今後何に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

湯沢町が力を入れるべき子育て支援策については、「公園などの遊び場の整備」の割合が72.1%で最も高く、次いで「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」(65.7%)が続き、以下「児童が安全に遊びや健康を増進することができる場所・機会の提供・充実」(59.3%)、「子育てしやすい労働環境づくりの企業への啓発」(48.3%)などの順となっています。

湯沢町が力を入れるべき子育て支援策【複数回答】

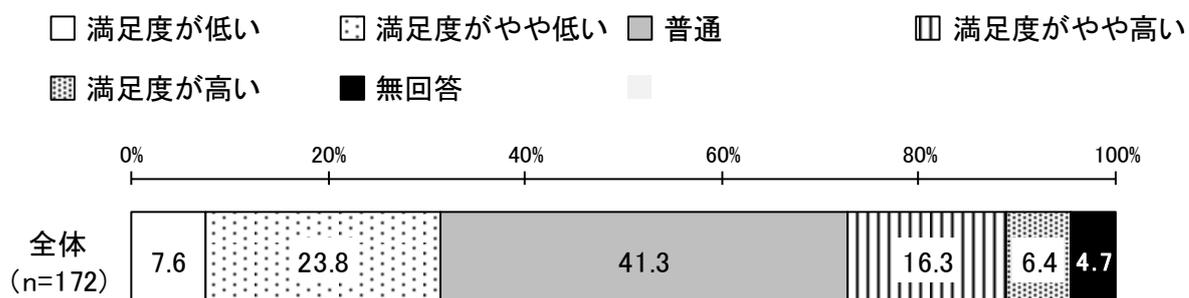


## (55) 子育ての環境や支援への満足度

問29-1 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

町の子育ての環境や支援への満足度については、「普通」の割合が41.3%で最も高く、次いで「満足度がやや低い」(23.8%)が続き、これに「満足度が低い」(7.6%)を合わせた“不満足である”が31.4%となっています。一方、“満足である”(「満足度がやや高い」16.3%と「満足度が高い」6.4%の合計)の割合は22.7%で、“不満足である”が“満足である”を上回ります。

### 子育ての環境や支援への満足度



## Ⅲ. 就学児童アンケート調査結果

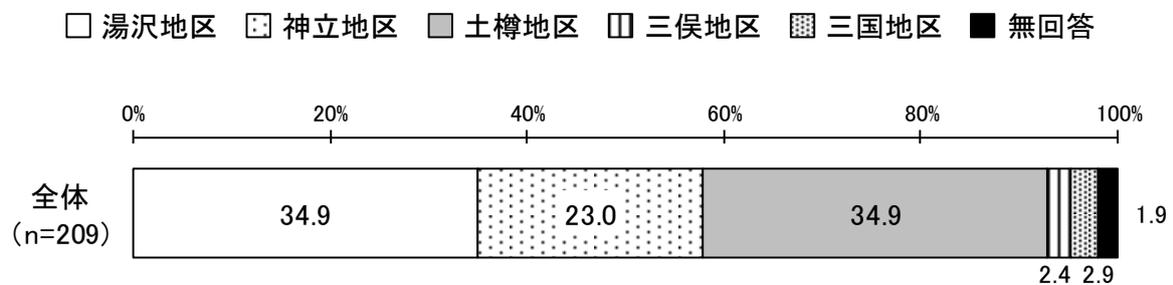
### 1 お住まいの地域について

#### (1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどちらですか。

居住地区については、「湯沢地区」及び「土樽地区」の割合が同率34.9%で最も高く、次いで「神立地区」(23.0%)が続き、以下「三国地区」(2.9%)、「三俣地区」(2.4%)の順となっています。

#### 居住地区



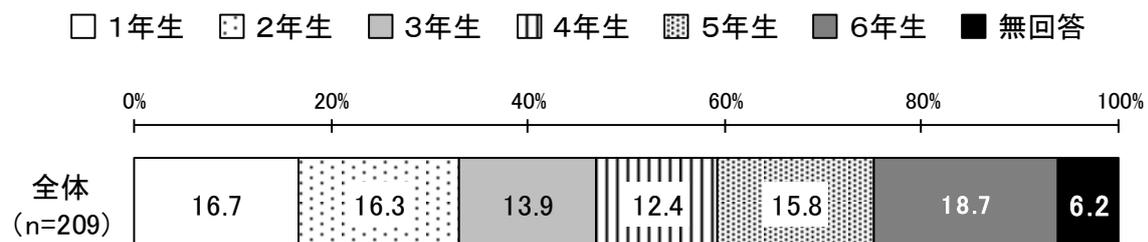
### 2 お子さんのご家族の状況について

#### (2) お子さんの学年

問2 お子さんの学年は何年生ですか。

お子さんの学年については、「6年生」の割合が18.7%で最も高く、次いで「1年生」(16.7%)が続き、「2年生」(16.3%)、「5年生」(15.8%)、「3年生」(13.9%)、「4年生」(12.4%)の順となっています。

#### お子さんの学年



### (3) 子どもの人数

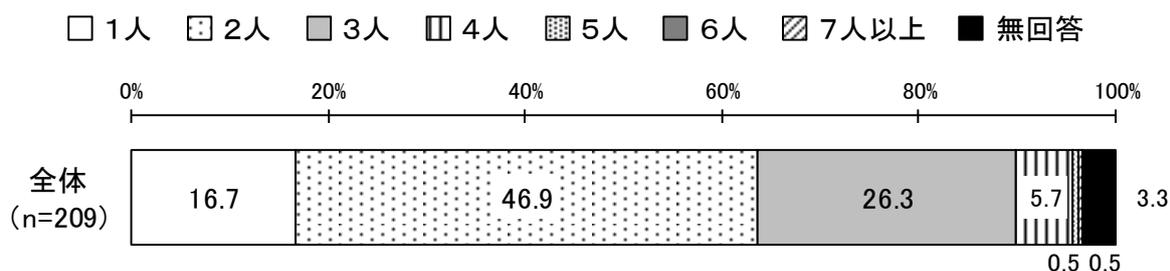
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※お子さんを含めた人数

※お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の年齢をご回答ください。

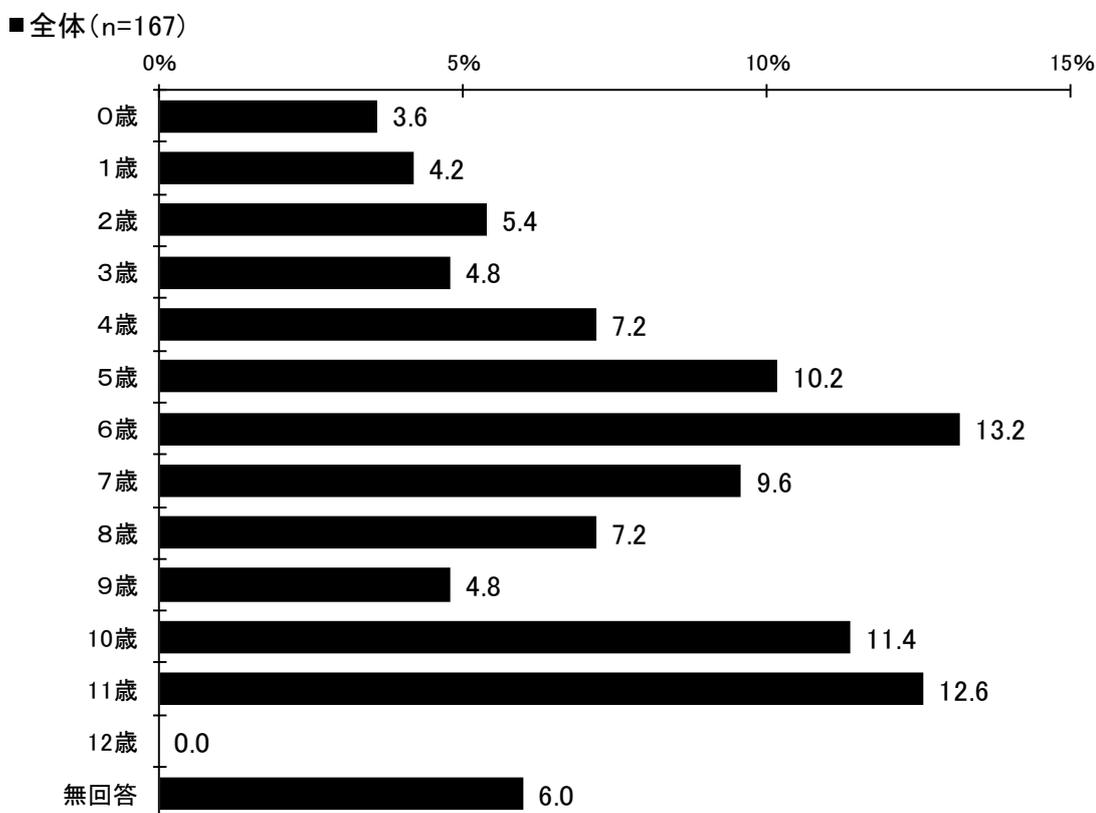
お子さんの人数については、「2人」の割合が46.9%で最も高く、次いで「3人」(26.3%)が続き、以下「1人」(16.7%)、「4人」(5.7%)、「5人」及び「7人以上」(同率0.5%)などの順となっています。

子どもの人数



末子の年齢については、「6歳」の割合が13.2%で最も高く、次いで「11歳」(12.6%)が続き、以下「10歳」(11.4%)などの順となっています。

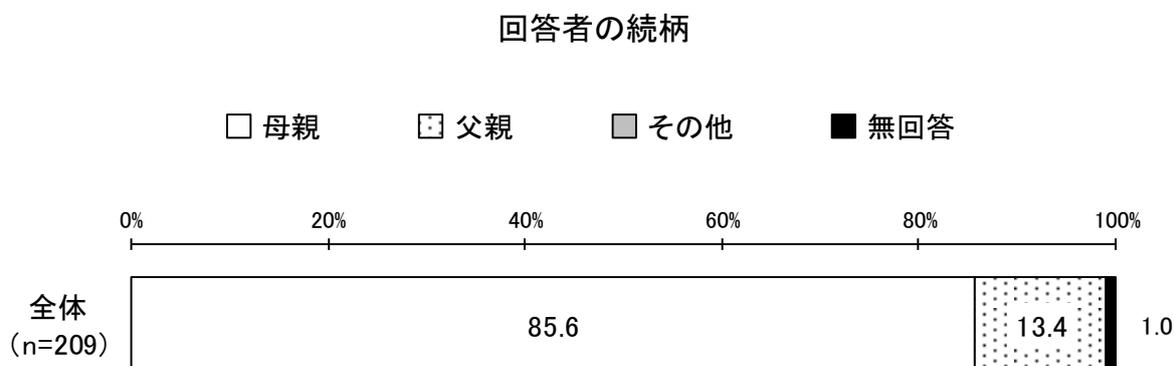
末子の年齢



#### (4) 回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

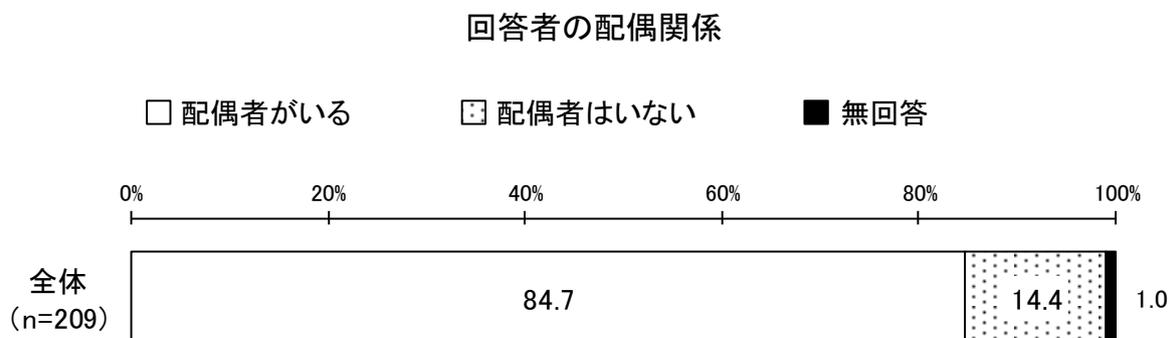
回答者の続柄については、「母親」の割合が85.6%で「父親」(13.4%)の割合を大きく上回ります。



#### (5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」の割合が84.7%で「配偶者がいない」(14.4%)の割合を大きく上回ります。

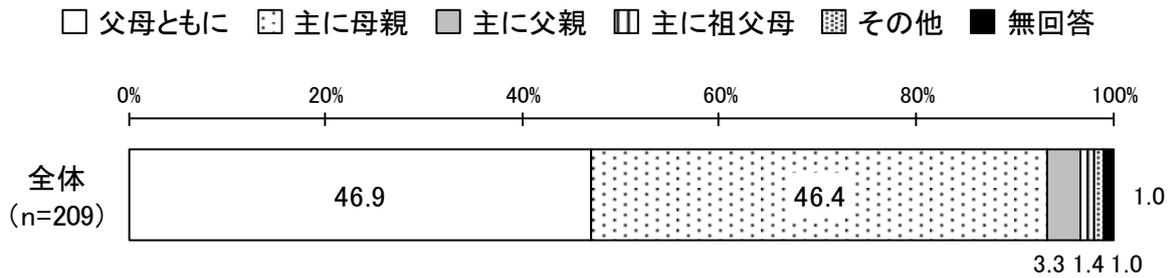


## (6) 子育ての主な担い手

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

子育ての主な担い手については、「父母ともに」の割合が46.9%で最も高く、次いで「主に母親」(46.4%)が続き、以下「主に父親」(3.3%)、「主に祖父母」(1.4%)などの順となっています。

### 子育ての主な担い手



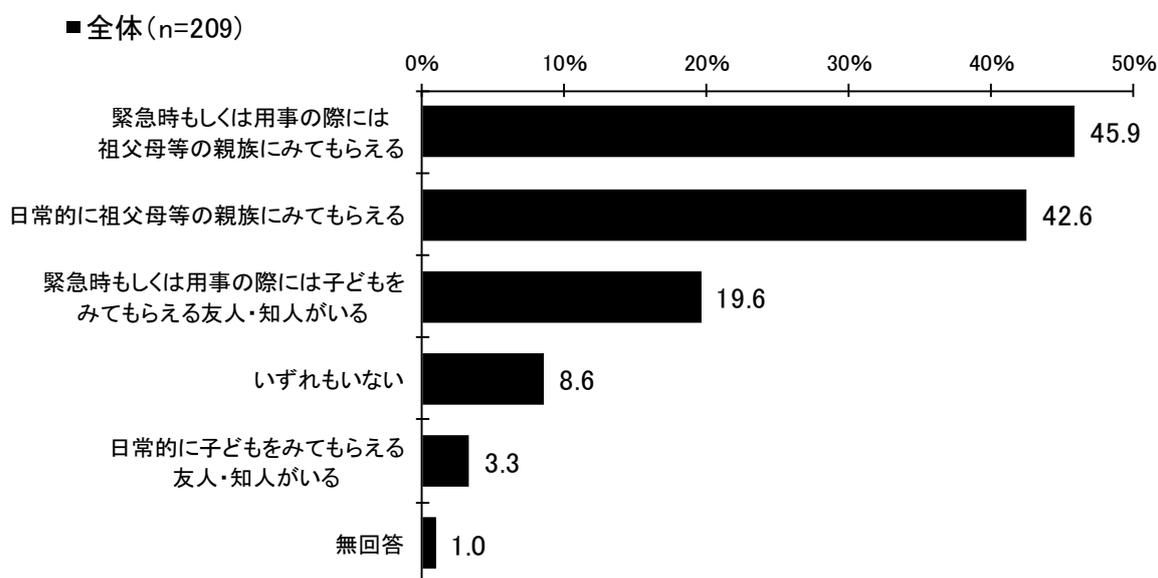
### 3 育ちをめぐる環境について

#### (7) 子どもをみてもらえる親族・知人

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が45.9%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(42.6%)が続き、以下「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(19.6%)などの順となっています。

子どもをみてもらえる親族・知人【複数回答】

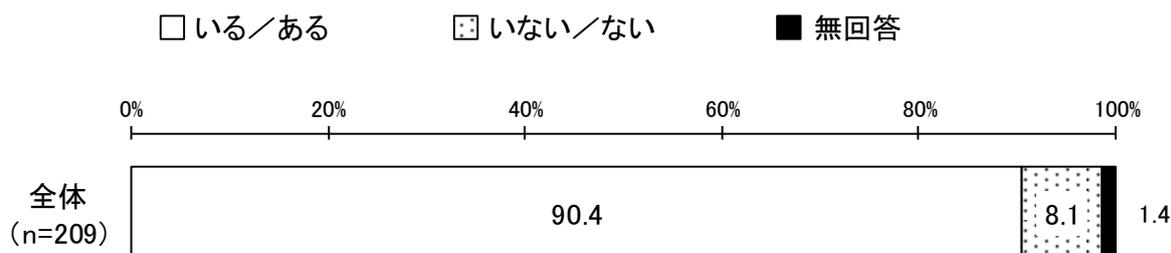


## (8) 子育てについての相談者の存在

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育てについての相談者の存在については、「いる／ある」の割合が90.4%で9割を占めます。一方、「いない／ない」の割合は8.1%でした。

子育てについての相談者の存在



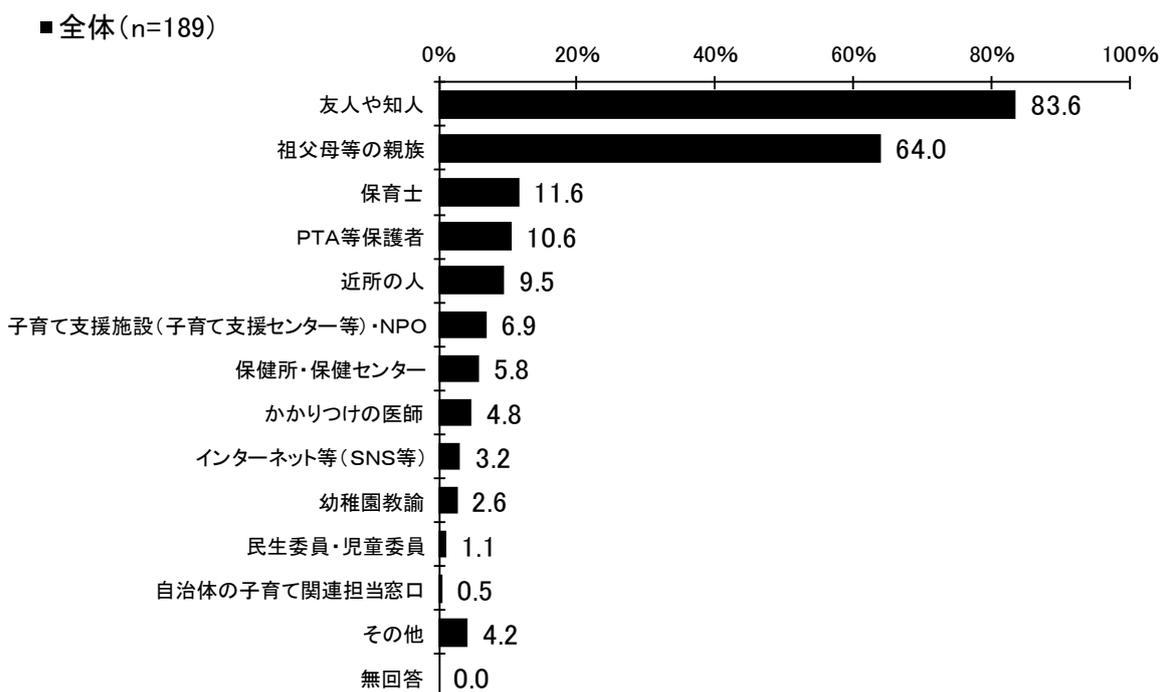
## (9) 子育てについての相談者

問8で「いる／ある」に○をつけた方にお聞きます。

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【複数回答】

子育てについての相談者については、「友人や知人」の割合が83.6%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」(64.0%)が続き、以下「保育士」(11.6%)、「PTA等保護者」(10.6%)などの順となっています。

子育てについての相談者【複数回答】



## 4 保護者の就労状況について

### (10) 保護者の就労状況

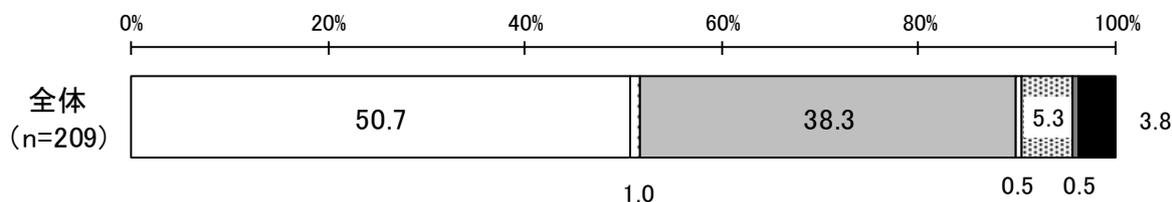
問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお聞きます。

#### ①母親

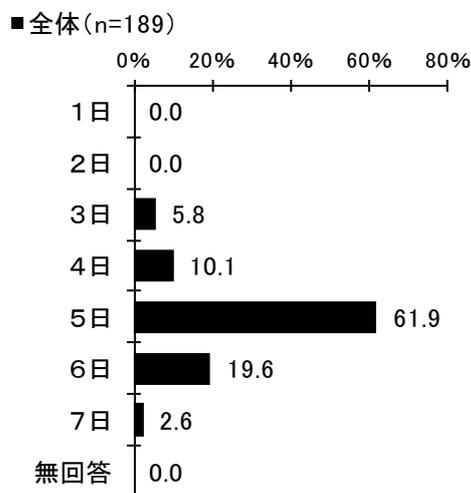
母親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が50.7%で最も高く、次いで「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（38.3%）が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」（5.3%）などの順となっています。

#### 母親の就労状況

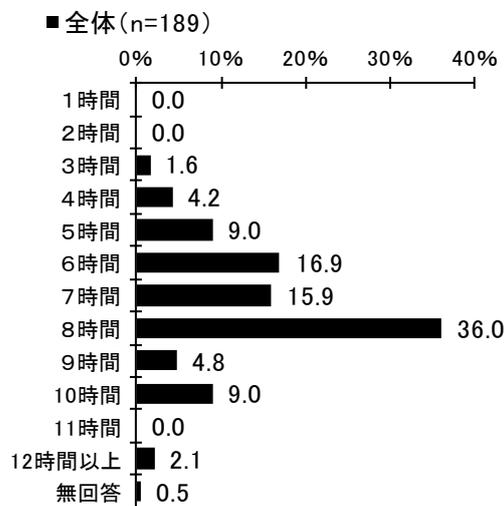
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



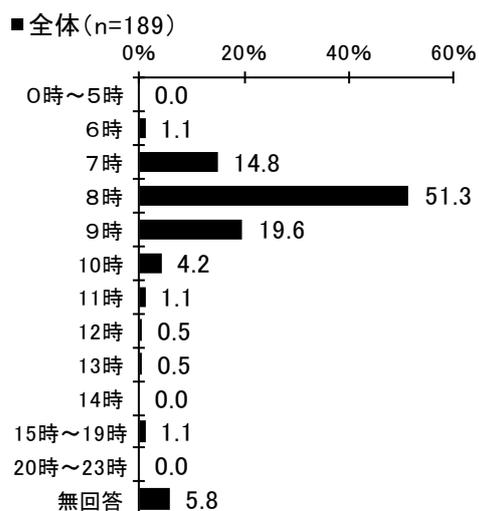
#### 1週当たりの就労日数



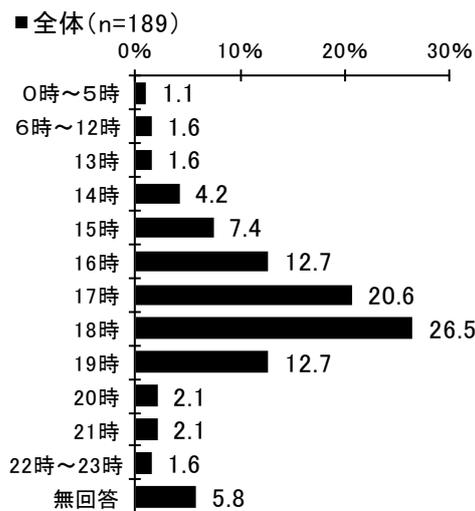
#### 1日当たりの就労時間



### 母親が家を出る時間



### 母親の帰宅時間

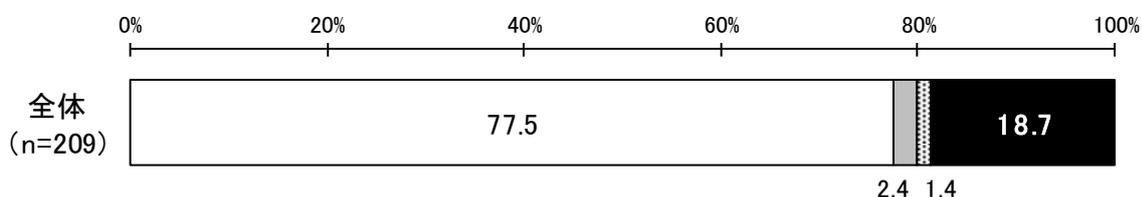


## ②父親

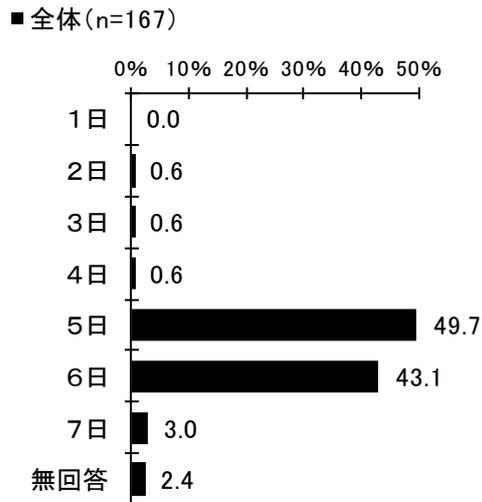
父親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が77.5%で最も高く、次いで「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」（2.4%）が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」（1.4%）の順となっています。

### 父親の就労状況

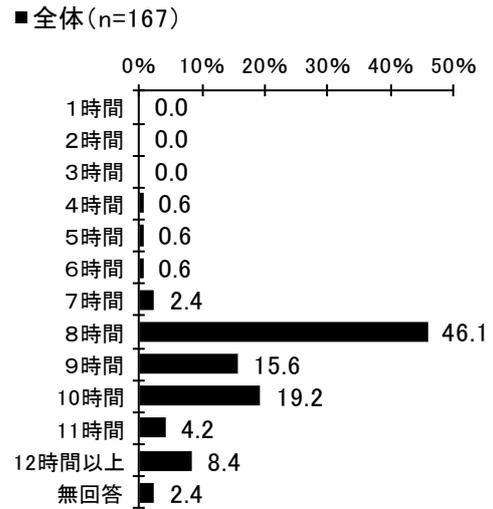
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
- パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



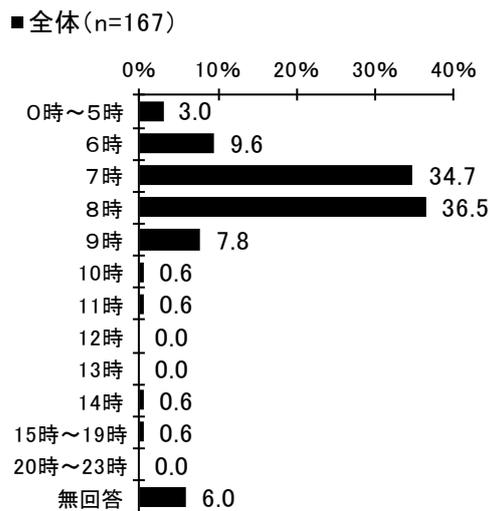
### 1週当たりの就労日数



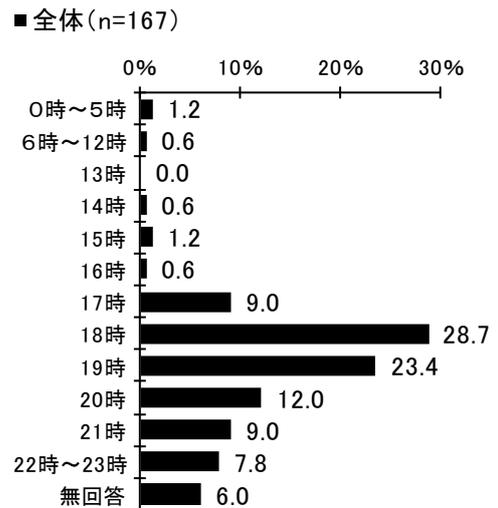
### 1日当たりの就労時間



### 父親が家を出る時間



### 父親の帰宅時間



## (11) フルタイムへの転換希望

問10で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にお聞きします。

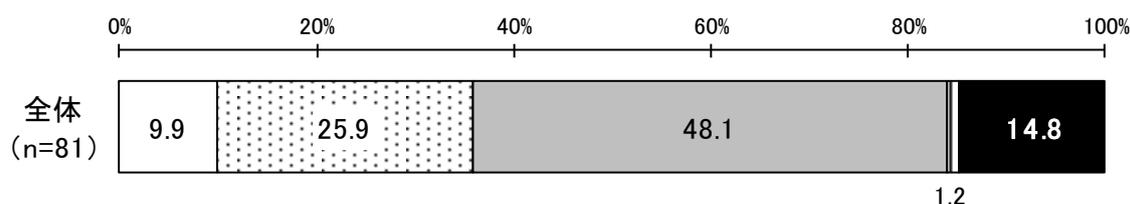
問11 フルタイムへの転換希望はありますか。

### ①母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が48.1%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（25.9%）が続き、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（9.9%）、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」（1.2%）の順となっています。

#### 母親のフルタイムへの転換希望

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



### ②父親

父親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が2人、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が1人となっています。

#### 父親のフルタイムへの転換希望

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1人
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	2人
無回答	2人

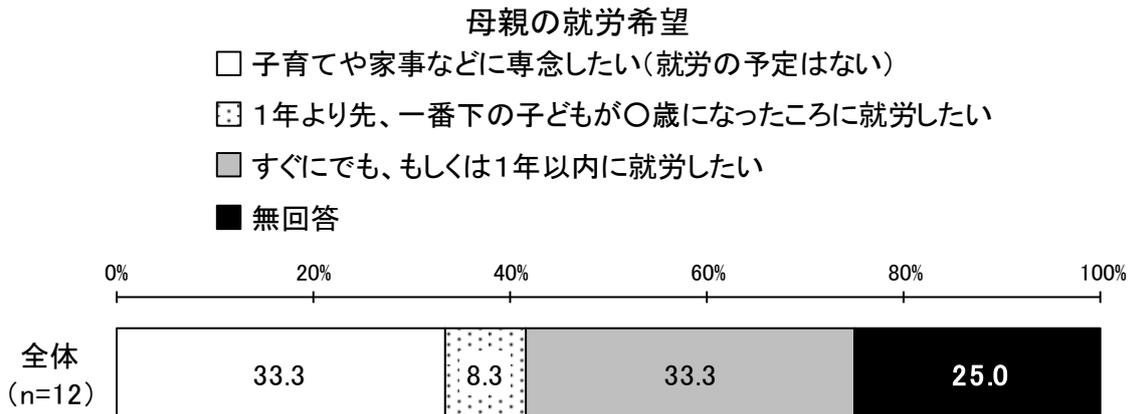
## (12) 就労希望

問10で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にお聞きします。

問12 就労したいという希望はありますか。

### ①母親

母親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が同率33.3%で最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」（8.3%）の順となっています。



### 母親が1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢

7歳	1人
----	----

問12①母親の就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した4人に、希望する就労形態について尋ねたところ、「パートタイム・アルバイト等（フルタイム以外）」が3人となっています。

### 母親が希望する就労形態

パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）	3人
無回答	1人

### フルタイム以外で希望する

1週当たりの希望勤務日数／全体(n=3)

5日…2人

無回答…1人

### フルタイム以外で希望する

1日当たりの希望勤務時間／全体(n=3)

4時間…1人

5時間…1人

無回答…1人

## ②父親

父親の就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した3人に、希望する就労形態について尋ねたところ、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人となっています。

### 就労希望

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1人
無回答	2人

父親が1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢…該当者なし

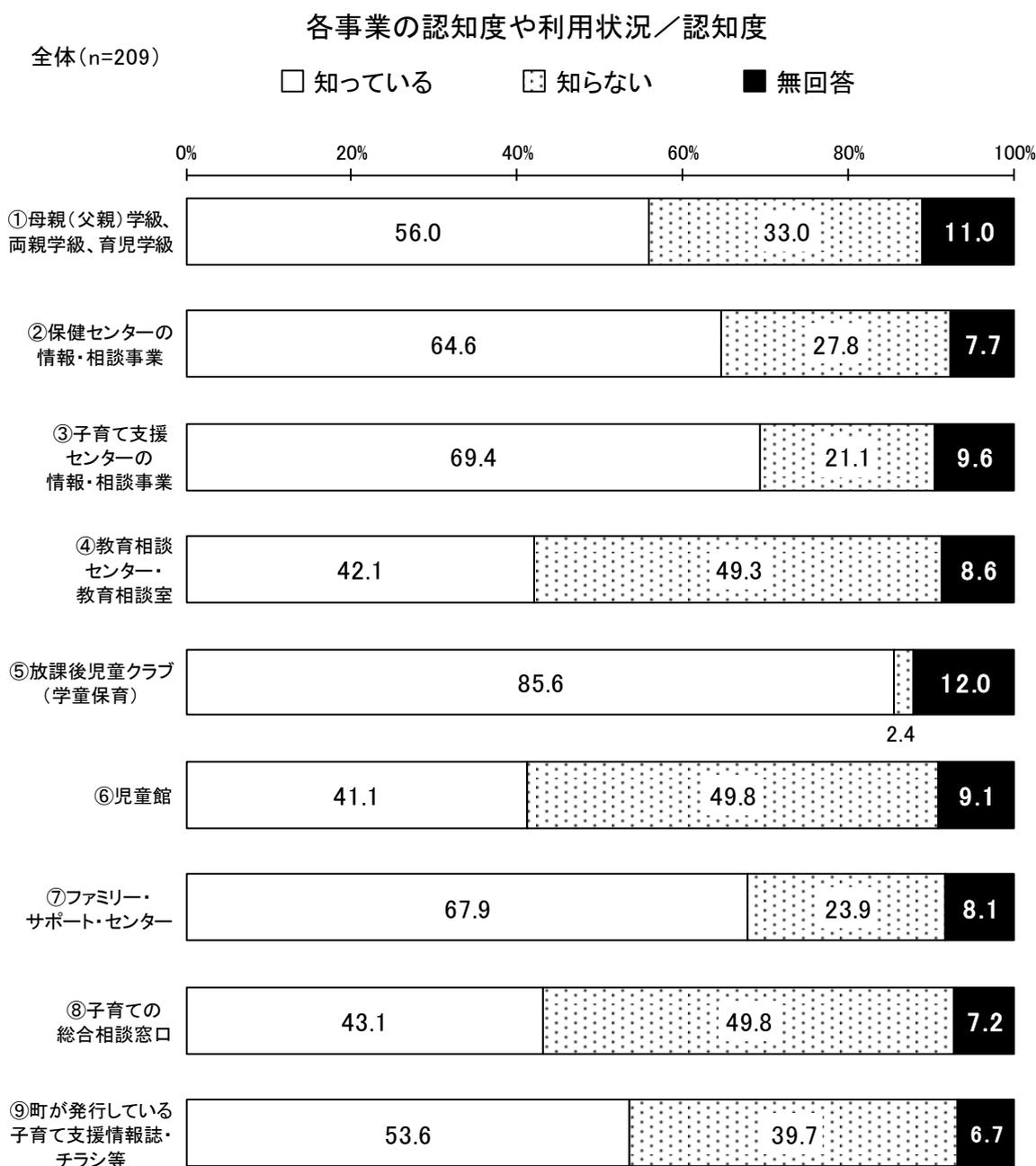
父親が希望する就労形態…該当者なし

## 5 仕事と子育ての両立支援制度について

### (13) 各事業の認知度や利用状況

問13 各事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

各事業の認知度について「知っている」の割合をみると、『⑤放課後児童クラブ（学童保育）』が85.6%で最も高く、次いで『③子育て支援センターの情報・相談事業』（69.4%）が続き、以下『⑦ファミリー・サポート・センター』（67.9%）などの順となっています。

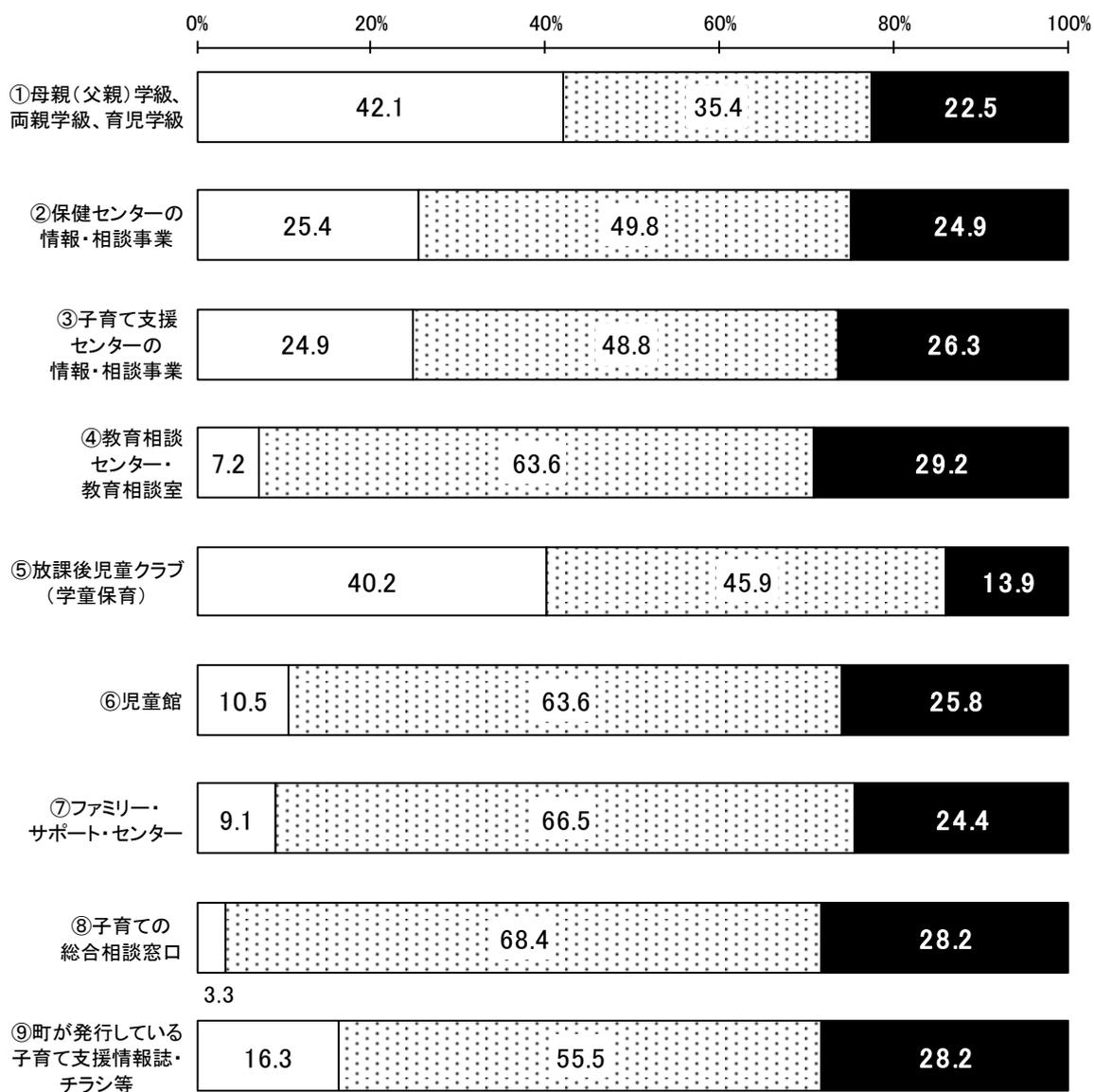


各事業の利用経験について「利用している又は利用したことがある」の割合をみると、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』が42.1%で最も高く、次いで『⑤放課後児童クラブ（学童保育）』（40.2%）が続き、以下『②保健センターの情報・相談事業』（25.4%）などの順となっています。

### 各事業の認知度や利用状況／利用経験

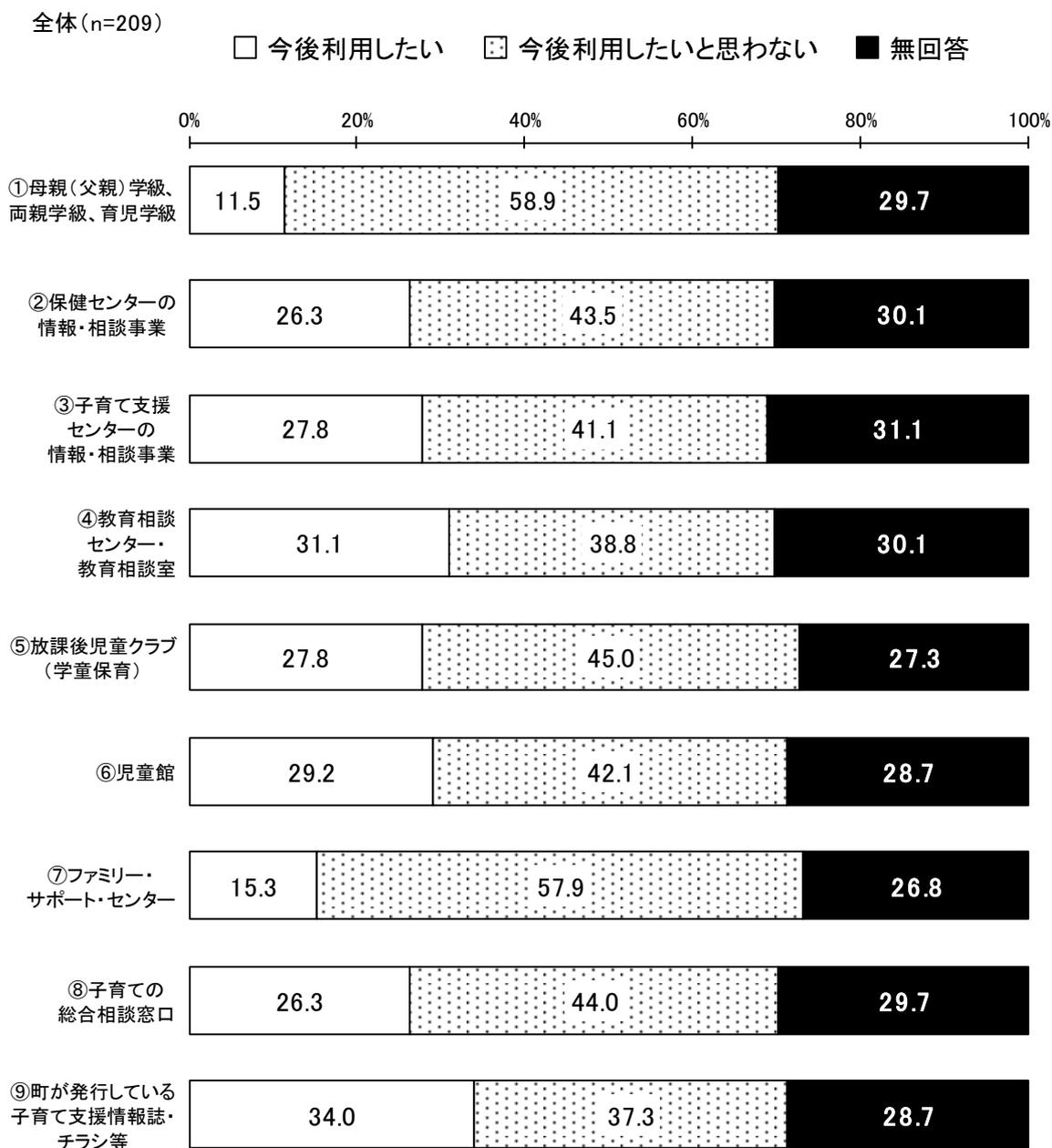
全体(n=209)

□ 利用している又は利用したことがある   ▨ 利用したことはない   ■ 無回答



各事業の利用希望について「今後利用したい」の割合をみると、『⑨町が発行している子育て支援情報誌・チラシ等』が34.0%で最も高く、次いで『④教育相談センター・教育相談室』(31.1%)が続き、以下『⑥児童館』(29.2%)などの順となっています。

### 各事業の認知度や利用状況／利用希望



## (14) 放課後児童クラブの利用について

問13で⑤ 放課後児童クラブ(学童保育)の「B 利用している。又は利用したことがある」で「はい」に○をつけた方にお聞きします。

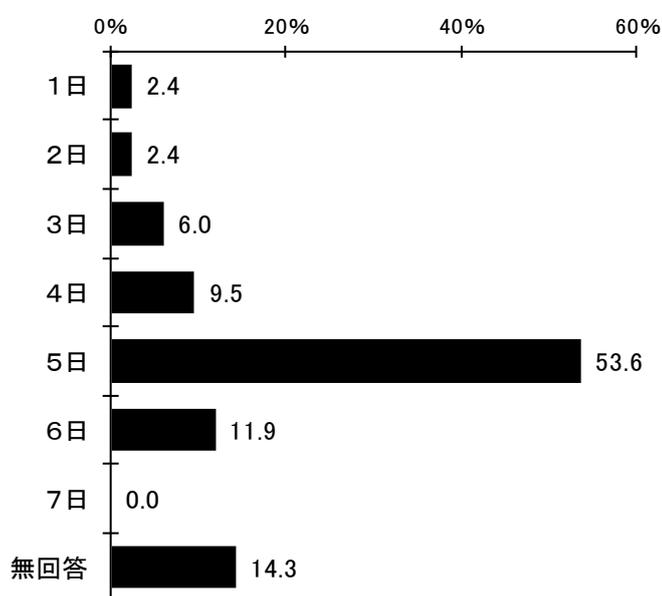
問14 放課後児童クラブ(学童保育)の利用日数はどれくらいですか。また、土・日の利用はありますか。

放課後児童クラブの1週当たりの利用日数については、「5日」の割合が53.6%で最も高く、次いで「6日」(11.9%)が続き、以下「4日」(9.5%)、「3日」(6.0%)などの順となっています。

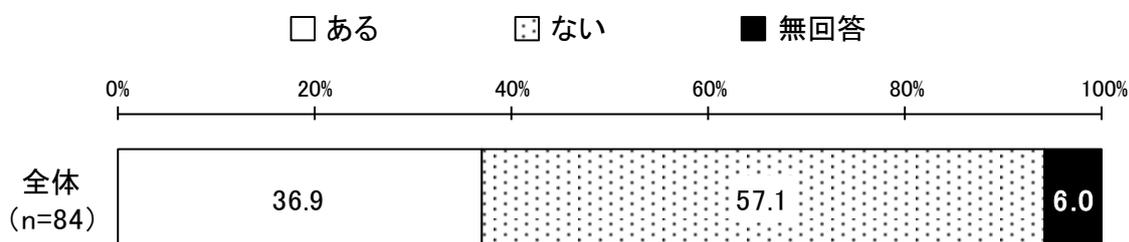
土・日の利用については、「ある」が36.9%、「ない」が57.1%となっています。

### 放課後児童クラブの利用について／1週当たりの利用日数

■全体(n=84)



### 放課後児童クラブの利用について／土・日の利用の有無



## (15) 放課後児童クラブを利用する理由

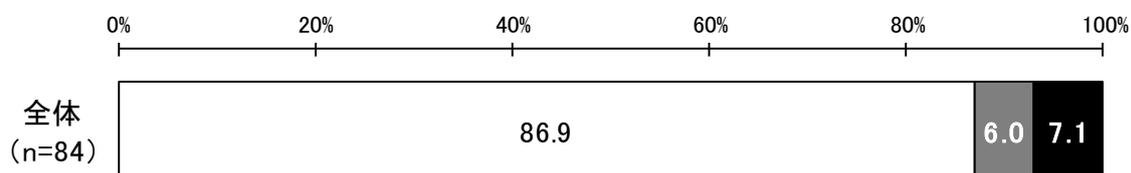
問13で⑤放課後児童クラブ(学童保育)の「B 利用している。又は利用したことがある」で「はい」に○をつけた方にお聞きします。

問14-1 利用している理由は何ですか。

放課後児童クラブを利用する理由については、「現在就労している」の割合が86.9%で8割以上を占めます。

### 放課後児童クラブを利用する理由

- 現在就労している
- 就労予定がある／求職中である
- 家族・親族などを介護しなければならない
- 病気や障害がある
- 学生である／就学したい
- その他
- 無回答



## (16) 放課後児童クラブを利用しない理由

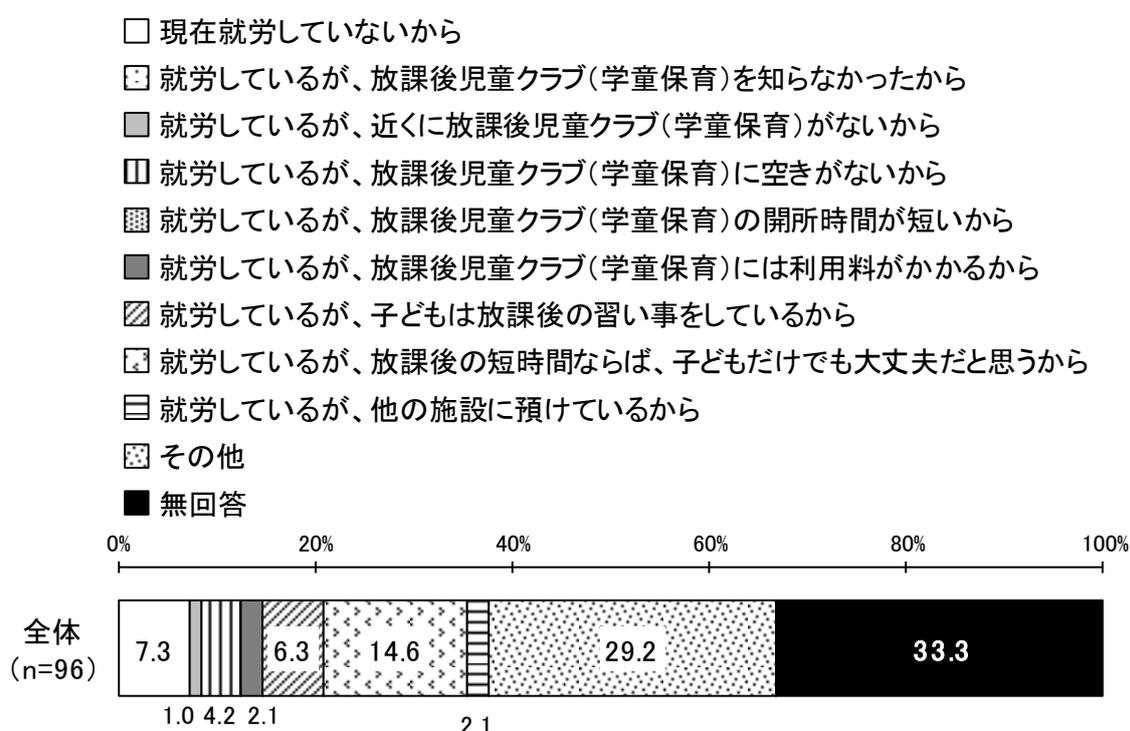
問13で⑤放課後児童クラブ(学童保育)の「B 利用している。又は利用したことがある」で「いいえ」に○をつけた方にお聞きします。

問14-2 利用していない理由は何ですか。

放課後児童クラブを利用しない理由については、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が14.6%で最も高く、次いで「現在就労していないから」(7.3%)が続き、以下「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」(6.3%)、「就労しているが、放課後児童クラブ(学童保育)に空きがないから」(4.2%)などの順となっています。

なお、「その他」は29.2%でした。

### 放課後児童クラブを利用しない理由



## (17) 放課後児童クラブの利用希望について

問13で⑤ 放課後児童クラブ(学童保育)の「C 今後利用したい」で「はい」に○をつけた方にお聞きします。

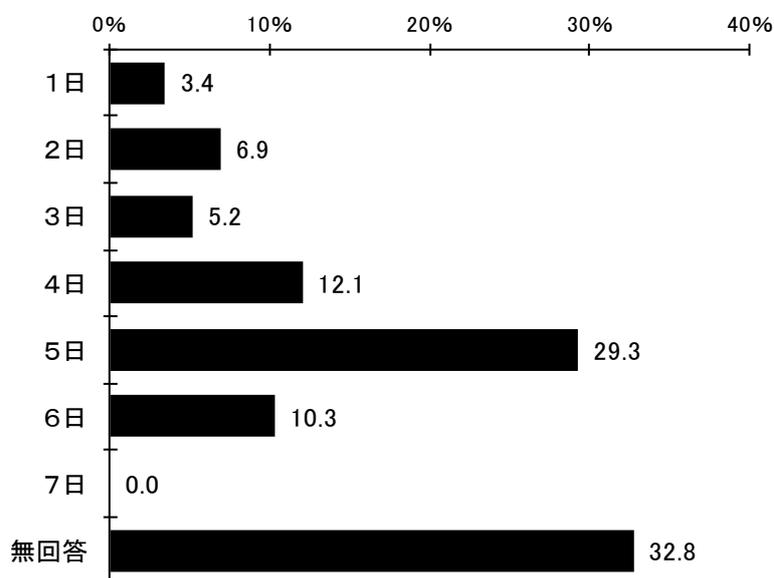
問14-3 今後、利用した場合の1週間の利用希望日数と土・日曜日の利用希望についてお答えください。

放課後児童クラブの1週当たりの利用希望日数については、「5日」の割合が29.3%で最も高く、次いで「4日」(12.1%)が続き、以下「6日」(10.3%)、「2日」(6.9%)などの順となっています。

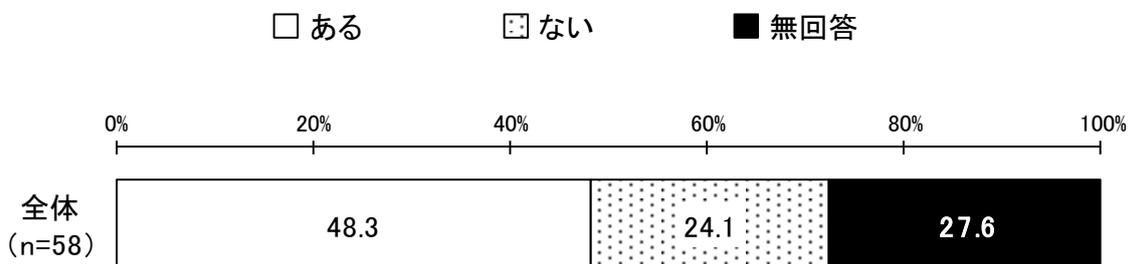
土・日の利用希望の有無については、「ある」が48.3%、「ない」が24.1%となっています。

### 放課後児童クラブの利用について／1週当たりの利用希望日数

■ 全体(n=58)



### 放課後児童クラブの利用について／土・日の利用希望の有無



## (18) 放課後児童クラブを利用したい理由

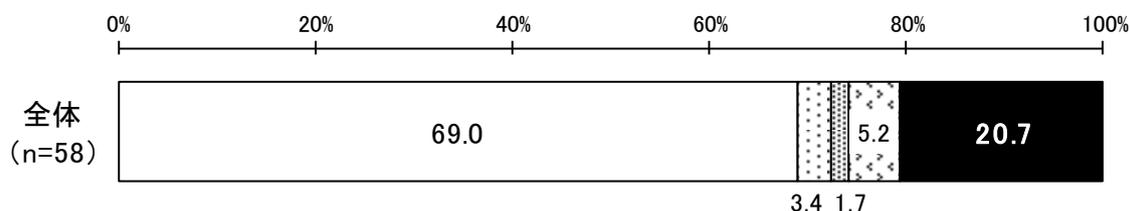
問13で⑤放課後児童クラブ(学童保育)の「C 今後利用したい」で「はい」に○をつけた方にお聞きします。

問14-4 今後、放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい理由についてお答えください。

放課後児童クラブを利用したい理由については、「現在就労している」の割合が69.0%で最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」(3.4%)が続き、以下「病気や障害がある」(1.7%)の順となっています。

### 放課後児童クラブを利用したい理由

- 現在就労している
- 就労予定がある／求職中である
- そのうち就労したいと考えている
- 家族・親族などを介護しなければならない
- 病気や障害がある
- 学生である／就学したい
- 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
- その他
- 無回答



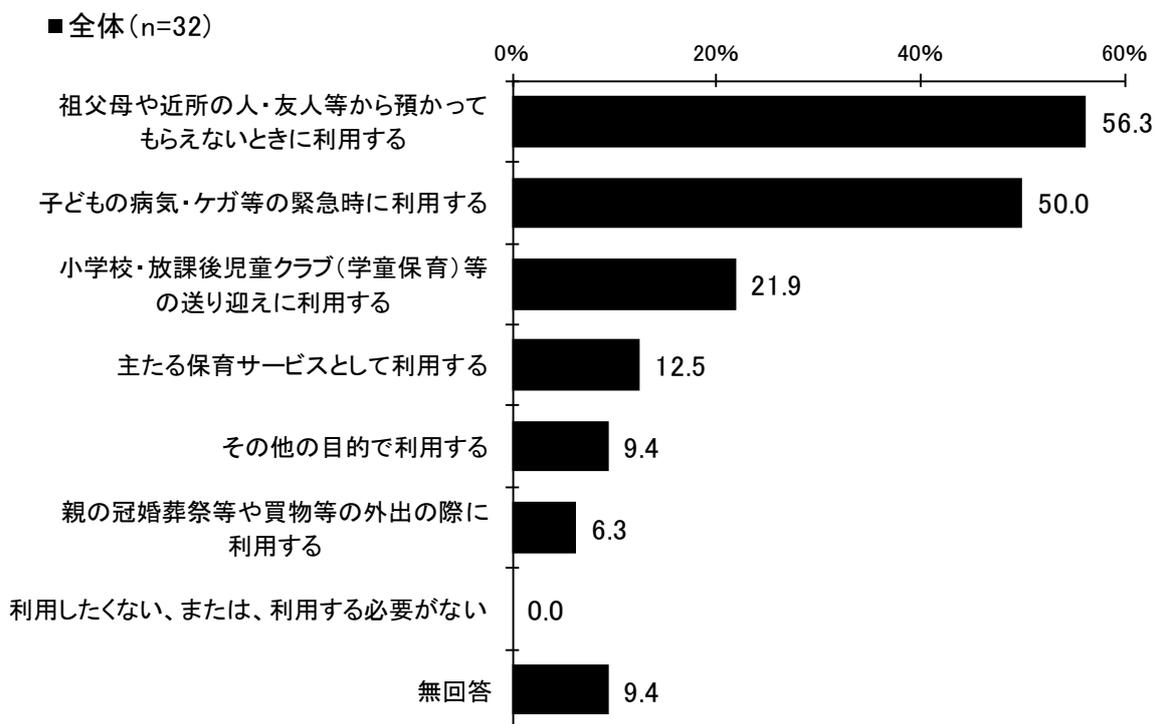
## (19) ファミリー・サポート・センターを利用希望する目的

問13で ㉗ ファミリー・サポート・センターの「C 今後利用したい」で「はい」に○をつけた方にお聞きします。

問15 どのような目的で利用しますか。【複数回答】

ファミリー・サポート・センターを利用希望する目的については、「祖父母や近所の人・友人等から預かってもらえないときに利用する」の割合が56.3%で最も高く、次いで「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用する」(50.0%)が続き、以下「小学校・放課後児童クラブ(学童保育)等の送り迎えに利用する」(21.9%)、「主たる保育サービスとして利用する」(12.5%)などの順となっています。

### ファミリー・サポート・センターを利用希望する目的【複数回答】



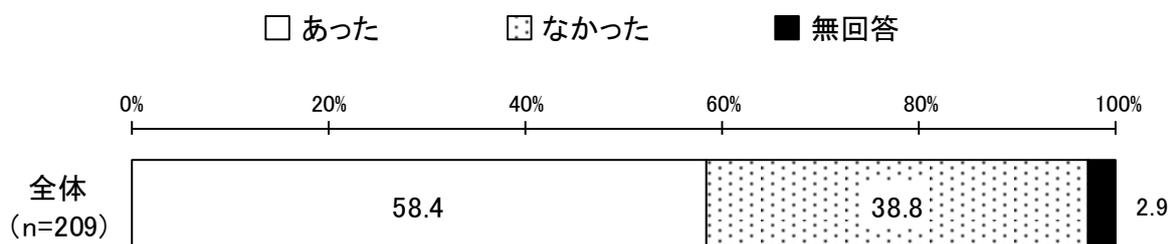
## 6 病気やけがの際の対応について

### (20) 病気やけがで通園や通学が利用できなかった経験

問16 この1年間に、お子さんが病気やけがで通園や通学が利用できなかったことはありますか。

病気やけがで通園や通学が利用できなかった経験については、「あった」の割合が58.4%で、「なかった」(38.8%)の割合を上回ります。

#### 病気やケガで通園や通学が利用できなかった経験



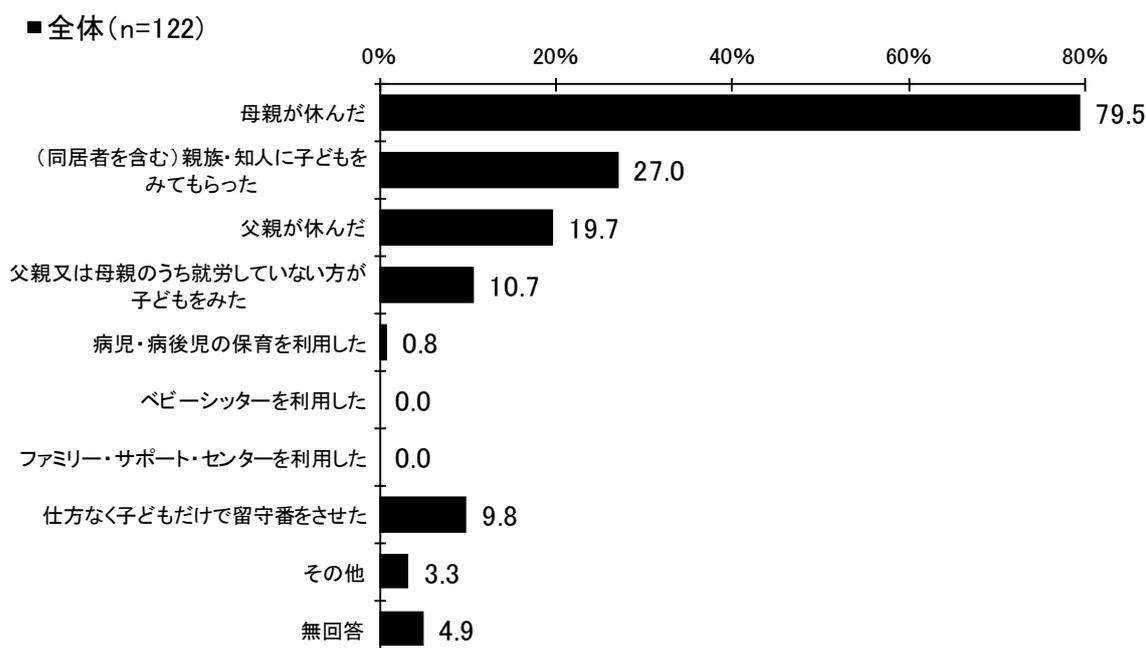
## (21) 子どもが病気の際の対処方法

問16で「あった」に○をつけた方にお聞きします。

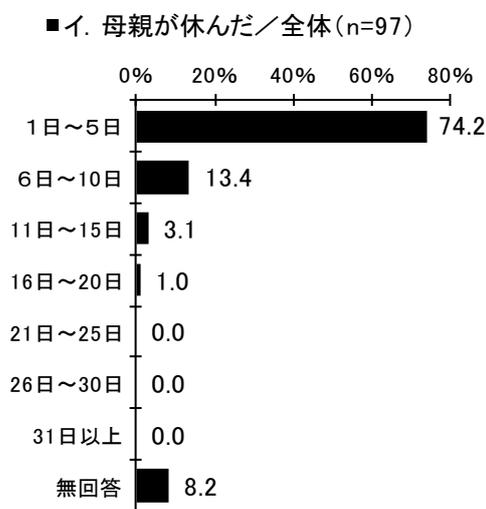
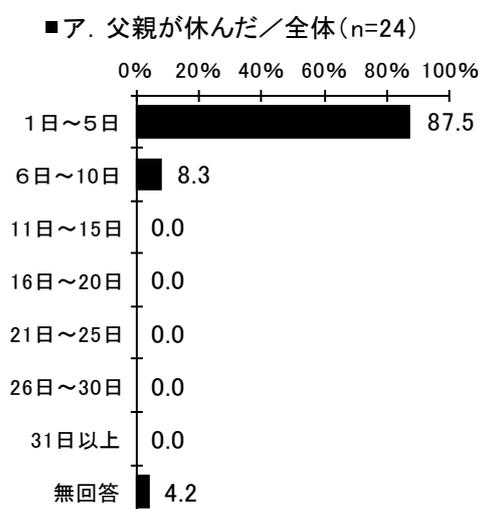
問16-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数はおおよそ何日ですか。【複数回答】

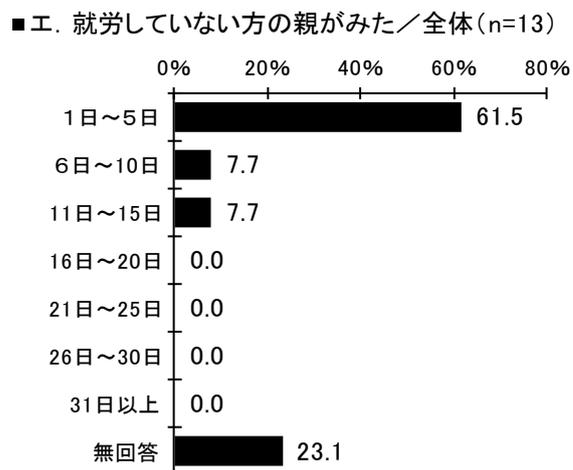
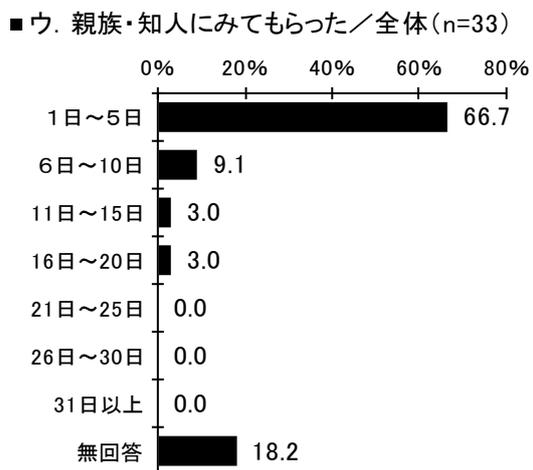
子どもが病気の際の対処方法については、「母親が休んだ」の割合が79.5%で最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(27.0%)が続き、以下「父親が休んだ」(19.7%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(10.7%)などの順となっています。

### 子どもが病気の際の対処方法【複数回答】



### 対処した日数

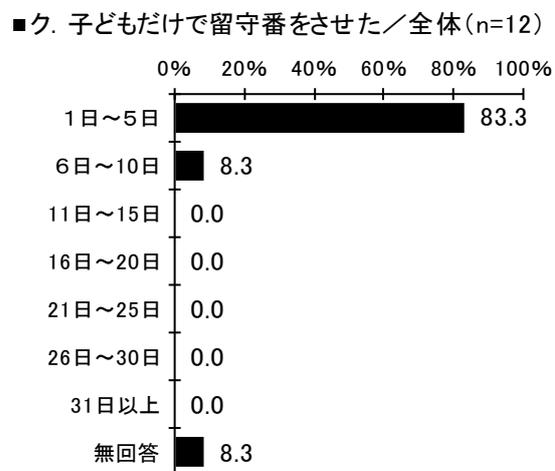




オ. 病児・病後児の保育を利用／全体(n=1)  
1日～5日…1人

カ. ベビーシッターを利用  
／該当者なし

キ. ファミリー・サポート・センターを利用  
／該当者なし



ケ. その他／全体(n=4)  
1日～5日…3人  
無回答…1人

## (22) 病児・病後児保育施設等の利用希望

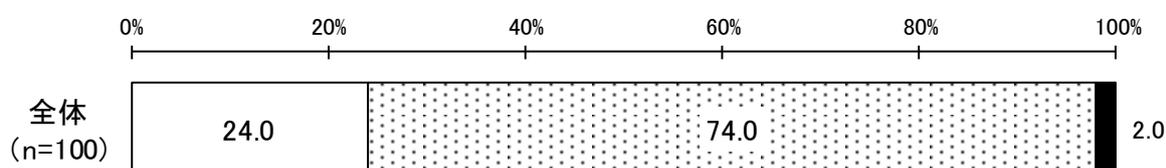
問16-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。  
 問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。

病児・病後児保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」の割合が74.0%で7割半ばを占めます。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合は24.0%でした。

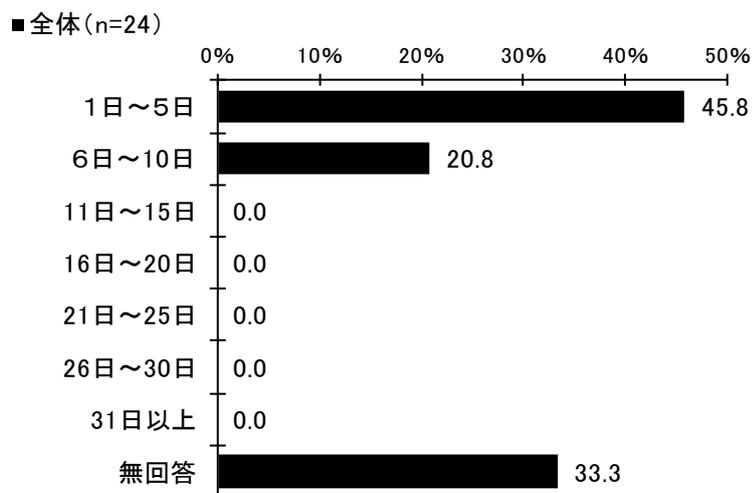
利用しなかった日数については、「1～5日」の割合が45.8%で最も高くなっています。

### 病児・病後児保育施設等の利用希望

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい  利用したいとは思わない  無回答



### 利用したかった日数



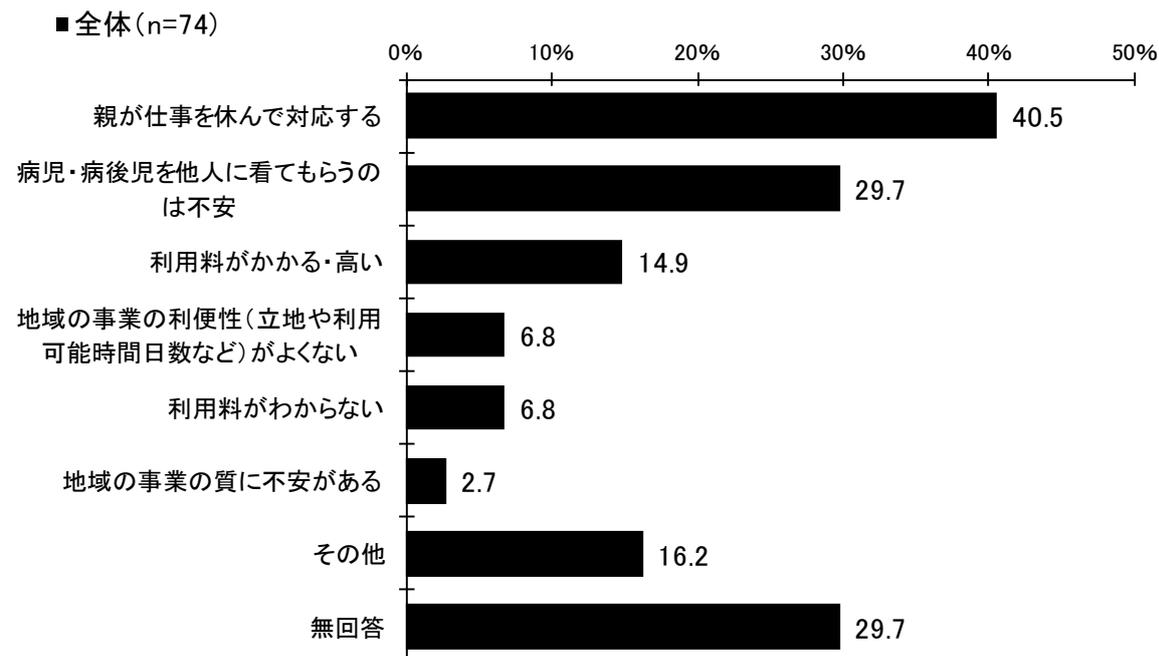
## (23) 病児・病後児保育施設を利用したくない理由

問16-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にお聞きます。

問16-3 そう思われる理由はなんですか。【複数回答】

病児・病後児保育施設を利用したくない理由については、「親が仕事を休んで対応する」の割合が40.5%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(29.7%)が続き、以下「利用料がかかる・高い」(14.9%)などの順となっています。

### 病児・病後児保育施設を利用したくない理由【複数回答】



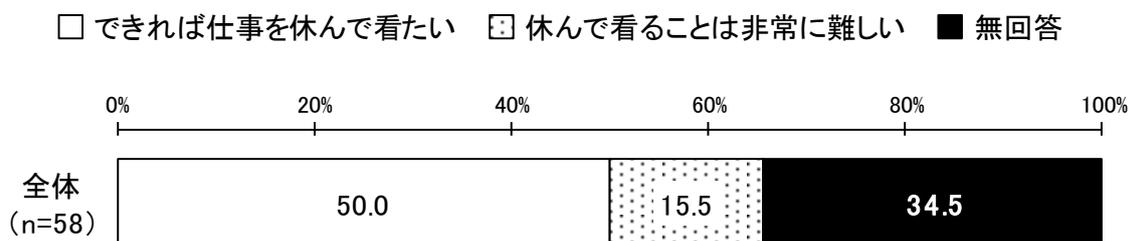
## (24) 子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望

問16-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに○をつけた方にお聞きします。  
 問16-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

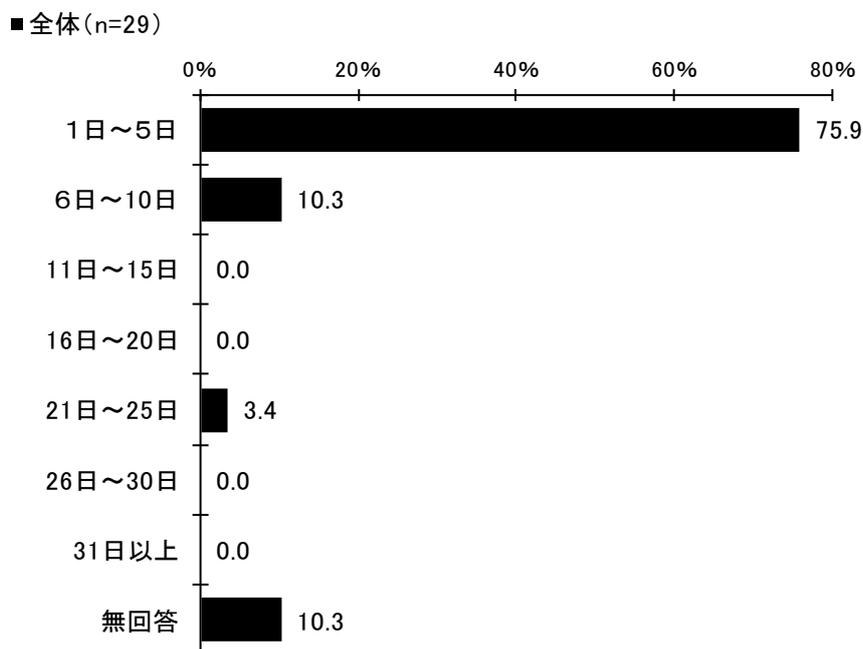
子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望については、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が50.0%で、「休んで看ることは非常に難しい」(15.5%)の割合を上回ります。

仕事を休んで見たかった日数については、「1～5日」の割合が75.9%で最も高くなっています。

### 子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望



### 仕事を休んで見たかった日数

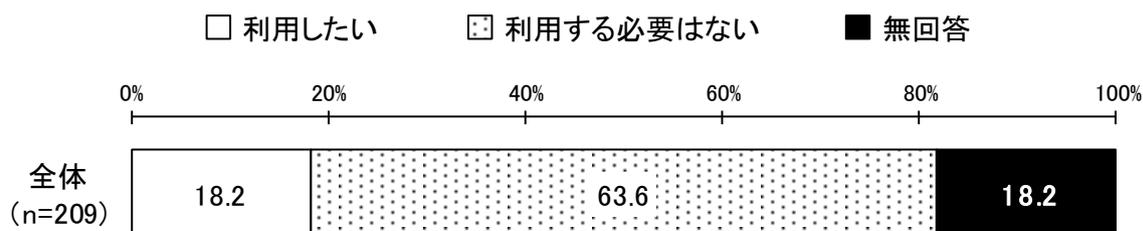


## (25) 不定期な教育・保育事業の利用希望

問17 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

不定期な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が63.6%で、「利用したい」(18.2%)の割合を上回ります。

### 不定期な教育・保育事業の利用希望

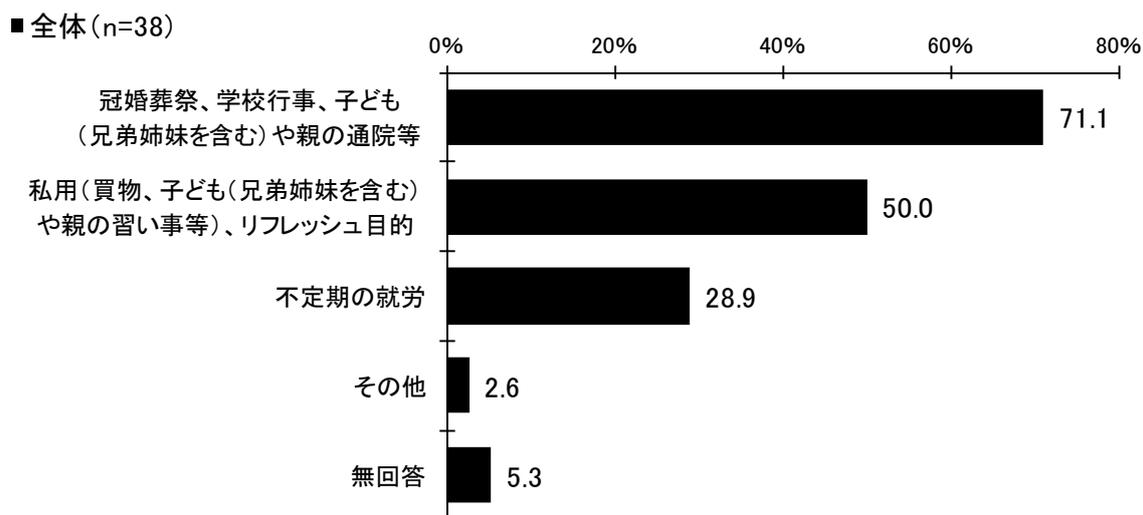


#### ①利用したい目的

利用したい目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が71.1%で最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（50.0%）が続き、以下「不定期の就労」（28.9%）などの順となっています。

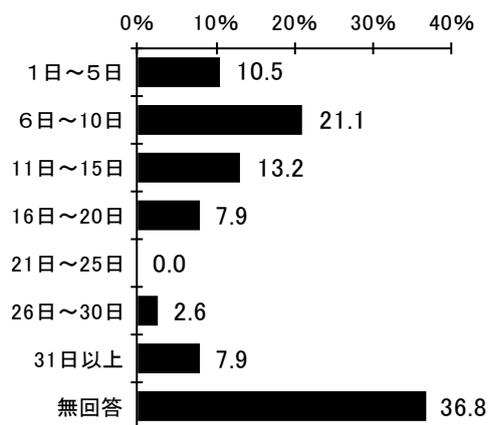
1年間で利用したい日数については、全体では「6日～10日」の割合が21.1%で最も高くなっています。

### 不定期な教育・保育事業を利用したい目的【複数回答】

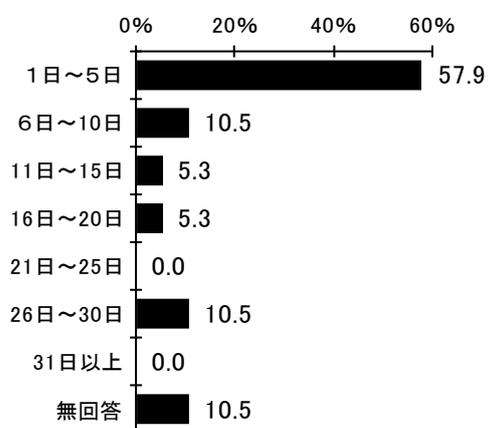


## 1年間で利用したい日数

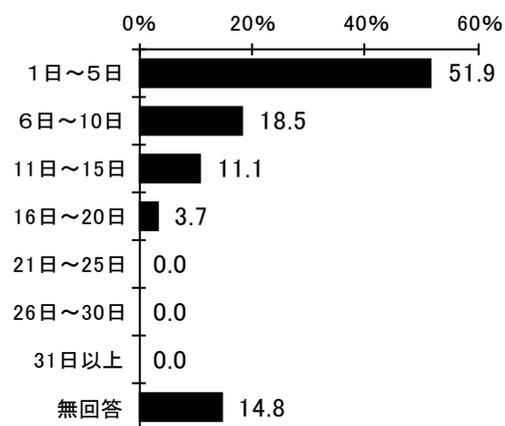
■ 合計の利用日数／全体(n=38)



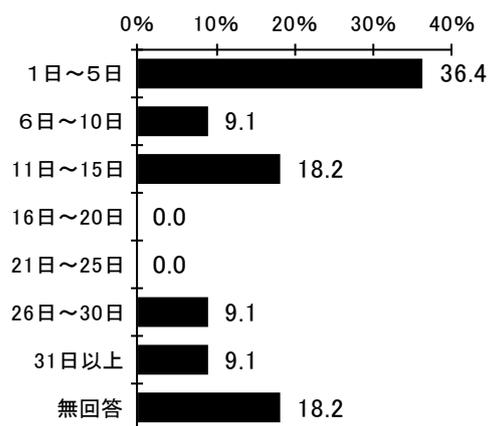
■ ア. 私用、リフレッシュ目的／全体(n=19)



■ イ. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院／全体(n=27)



■ ウ. 不定期の就労／全体(n=11)



エ. その他／全体(n=1)

6日～10日…1人

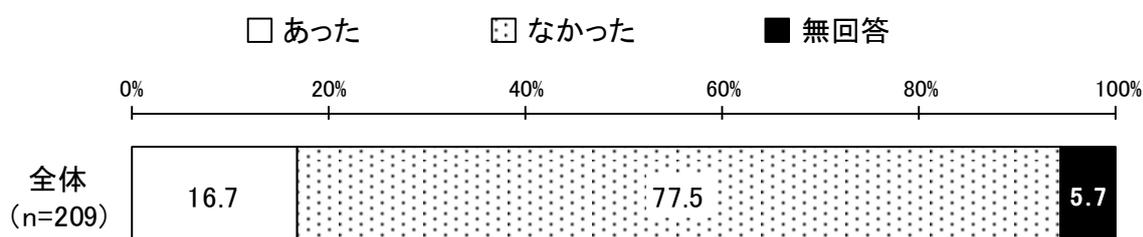
## (26) 泊りがけで家族以外に預けた経験

問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。

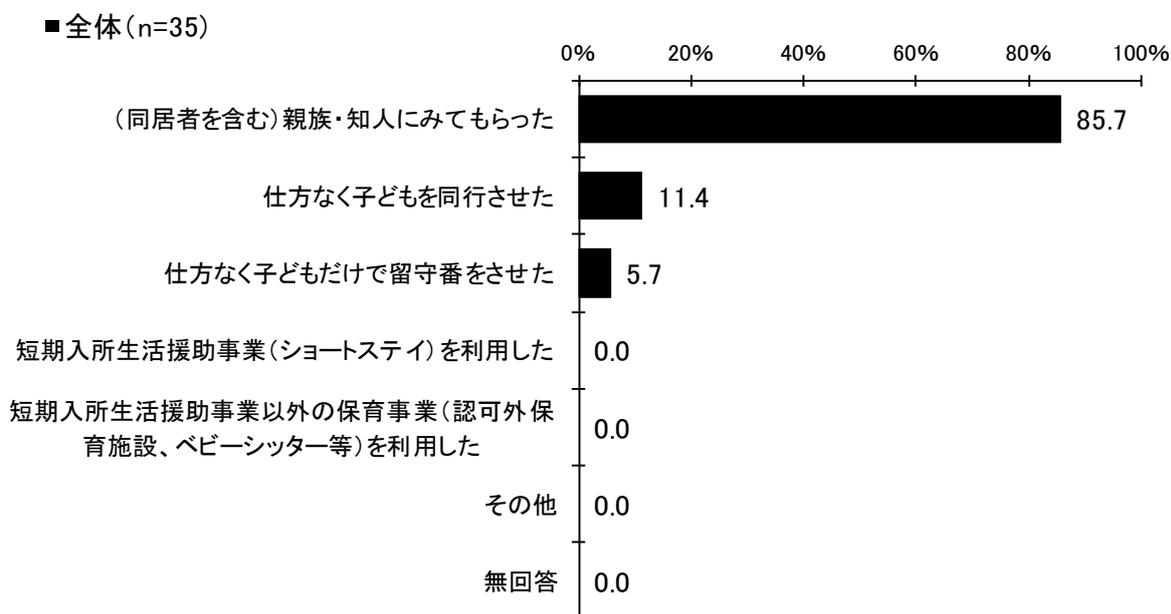
泊りがけで家族以外に預けた経験については、「あった」が16.7%、「なかった」が77.5%となっています。

泊りがけで預ける必要があった際の対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が85.7%で最も高く、他を大きく引き離します。次いで「仕方なく子どもを同行させた」（11.4%）が続きます

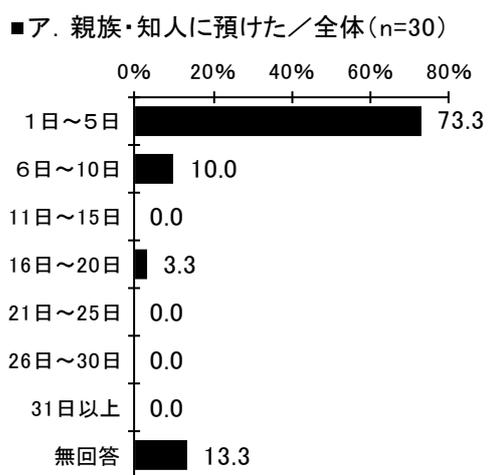
### 泊りがけで家族以外に預けた経験



### 泊りがけで預ける必要があった際の対処方法



## 対応した日数



イ. ショートステイを利用／該当者なし

ウ. ショートステイ以外を利用／該当者なし

エ. 子どもを同行させた／全体 (n=4)

1日～5日…4人

オ. 子どもだけで留守番をさせた／全体 (n=2)

1日～5日…2人

カ. その他／該当者なし

## (27) 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度

問18で「あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にお聞きします。  
問18-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度はどの程度でしたか。

泊りがけで家族以外に預けた際の困難度については、「特に困難ではない」の割合が70.0%で最も高く、次いで「どちらかという困難」(20.0%)が続き、以下「非常に困難」(6.7%)の順となっています。

### 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度



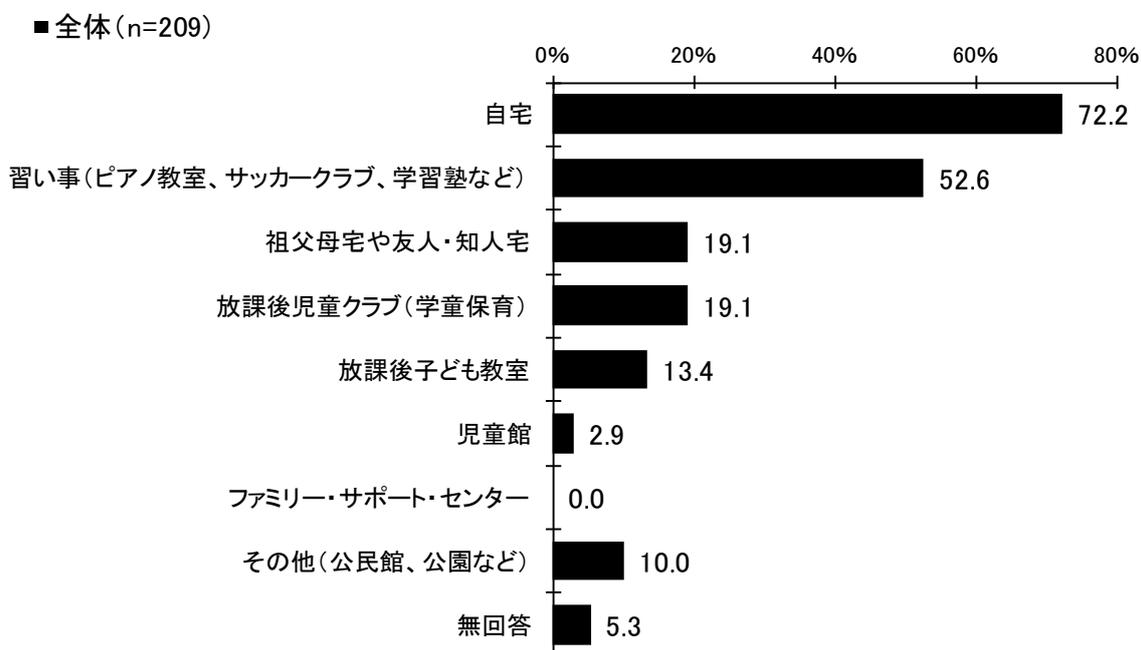
## 7 お子さんの日常生活、放課後の過ごし方について

### (28) 小学校の間の放課後過ごさせたい場所

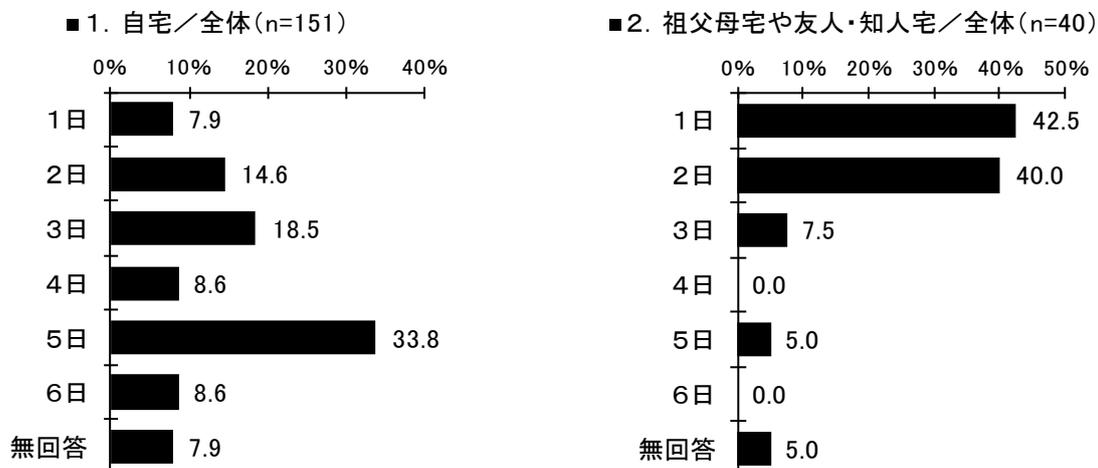
問19 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
【複数回答】

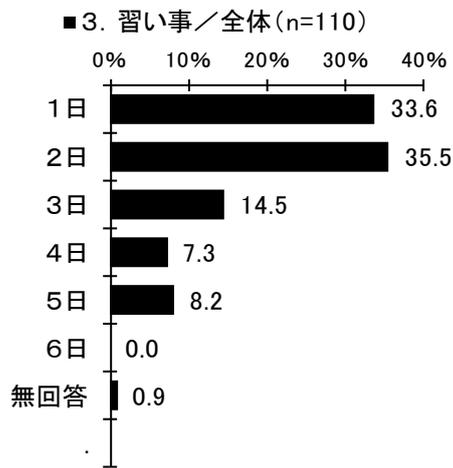
小学校の間の放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が72.2%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（52.6%）が続き、以下「祖父母宅や友人・知人宅」及び「放課後児童クラブ（学童保育）」（同率19.1%）、「放課後子ども教室」（13.4%）などの順となっています。

#### 小学校の間の放課後過ごさせたい場所【複数回答】



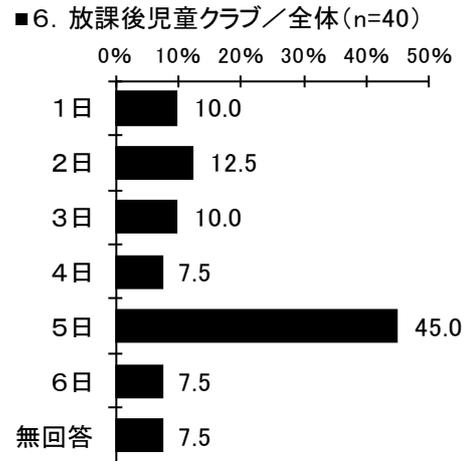
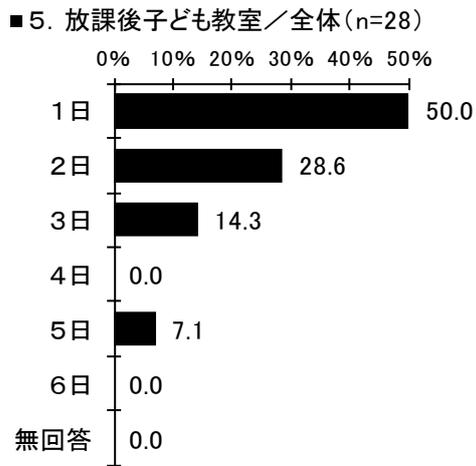
#### 1週間で利用する日数



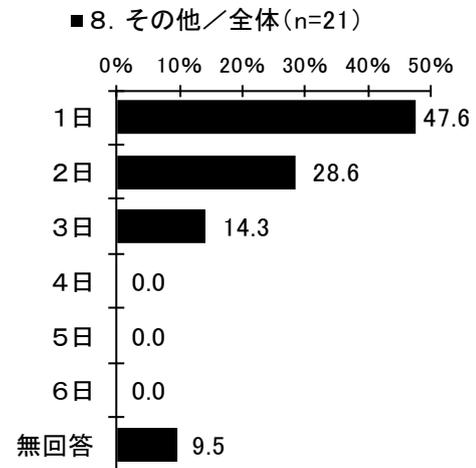


4. 児童館／全体(n=6)

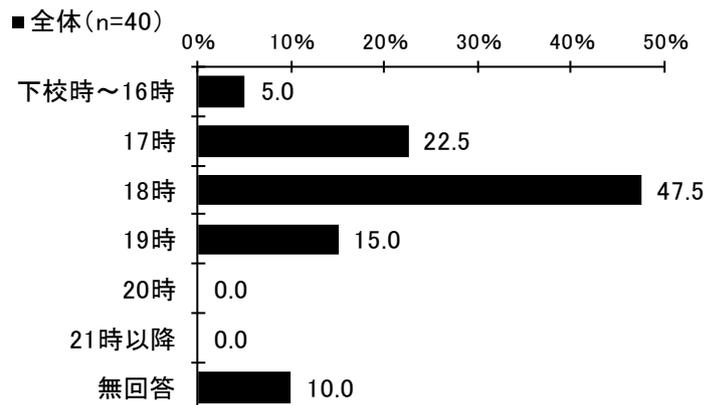
1日…1人  
 2日…2人  
 3日…1人  
 5日…1人  
 無回答…1人



7. ファミリー・サポート・センター／該当者なし



### 放課後児童クラブの終了希望時刻



## (29) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望

問19「放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にお聞きします。

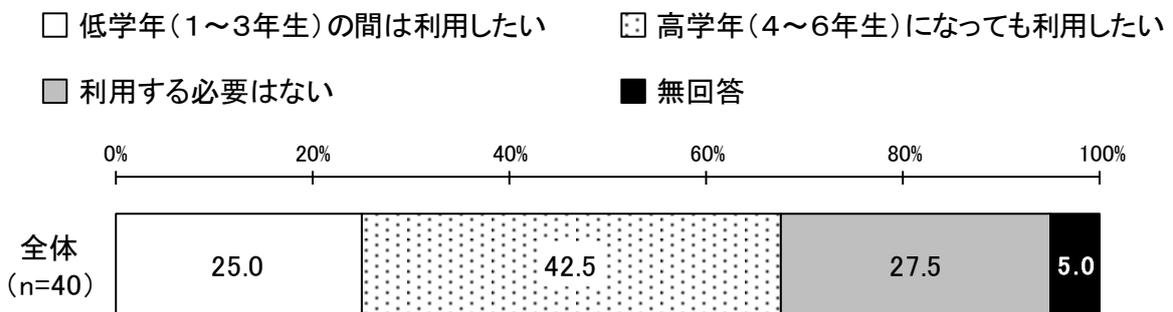
問20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。

### ①土曜日

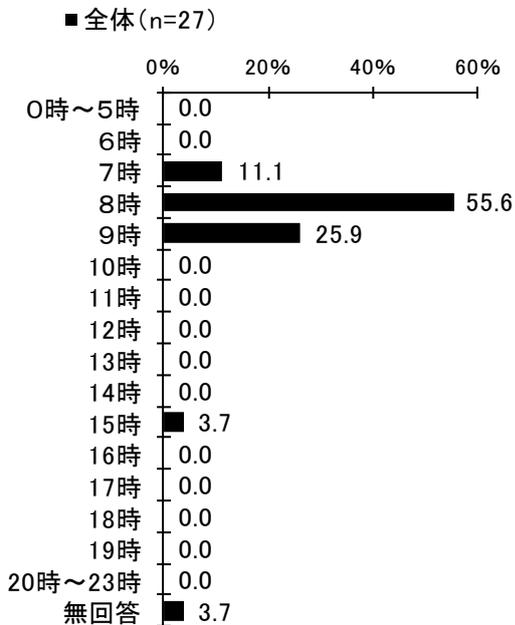
土曜日の放課後児童クラブ利用希望については、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が42.5%で最も高く、次いで「利用する必要はない」(27.5%)が続き、以下「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(25.0%)の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が55.6%、希望する利用終了時刻は「18時」が48.1%でそれぞれ最も高くなっています。

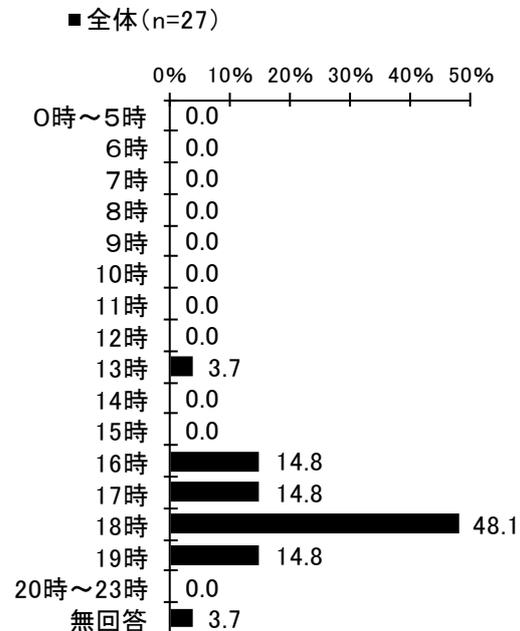
### 土曜日の放課後児童クラブ利用希望



### 希望する利用開始時刻



### 希望する利用終了時刻

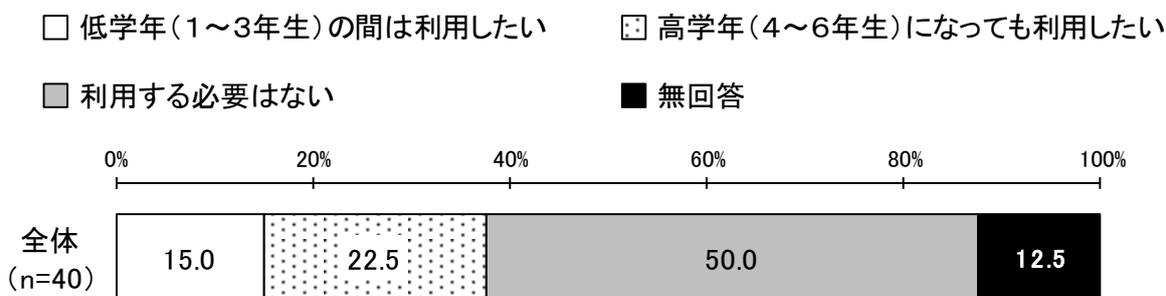


## ②日曜・祝日

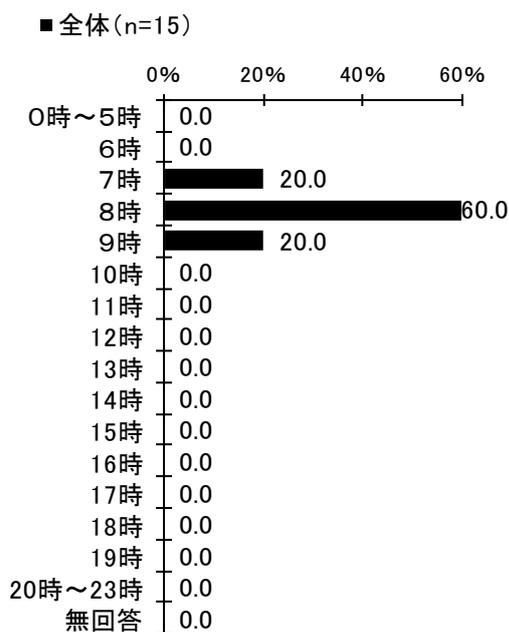
日曜・祝日の放課後児童クラブ利用希望については、「利用する必要はない」の割合が50.0%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（22.5%）が続き、以下「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（15.0%）の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が60.0%、希望する利用終了時刻は「18時」が53.3%でそれぞれ最も高くなっています。

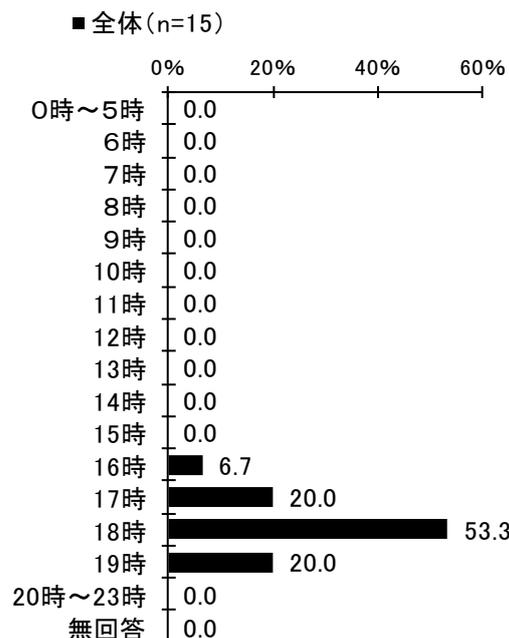
### 日曜・祝日の放課後児童クラブ利用希望



### 希望する利用開始時刻



### 希望する利用終了時刻



### (30) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望

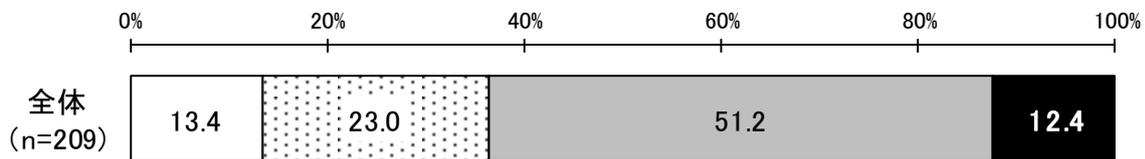
問21 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。

長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望については、「利用する必要はない」の割合が51.2%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（23.0%）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（13.4%）の順となっています。

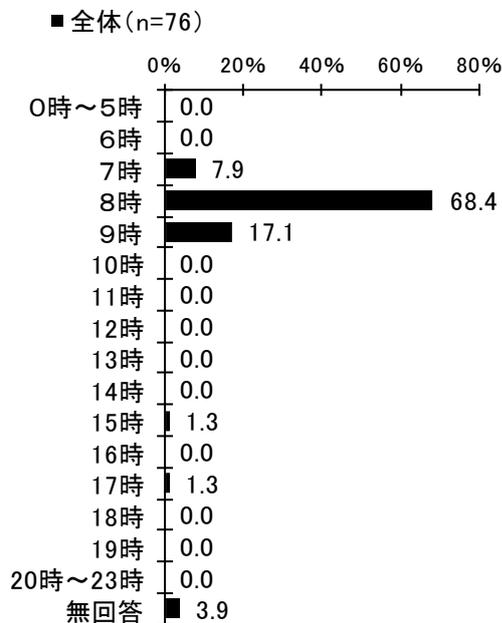
希望する利用開始時刻は「8時」が68.4%、希望する利用終了時刻は「18時」が43.4%でそれぞれ最も高くなっています。

#### 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望

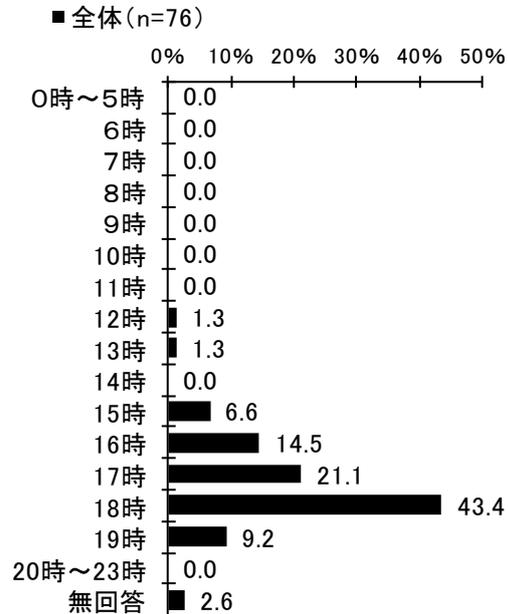
- 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答



#### 希望する利用開始時刻



#### 希望する利用終了時刻



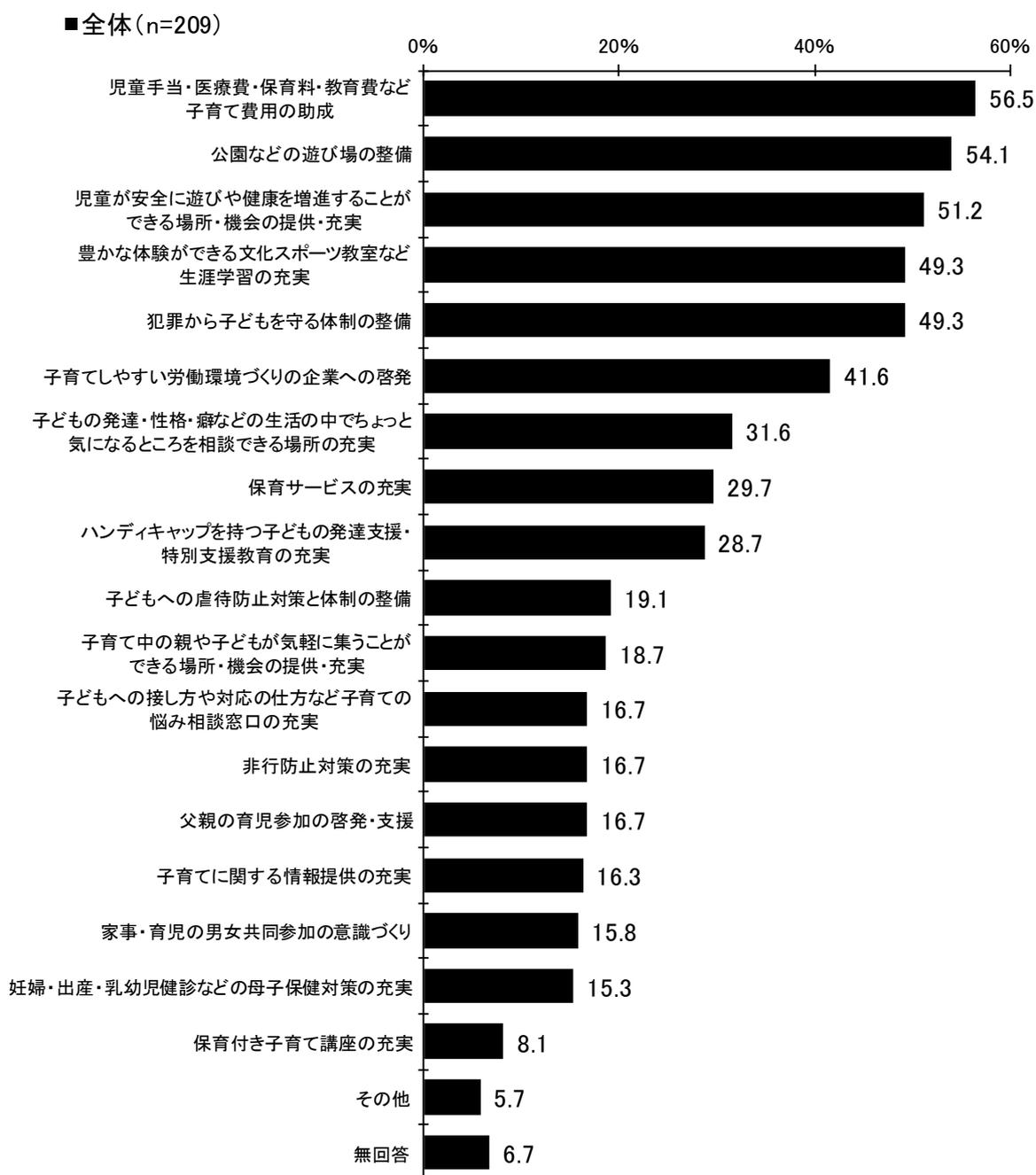
## 8 湯沢町の子育て支援対策について

### (31) 湯沢町が力を入れるべき子育て支援策

問22 町の子育て支援策として、今後何に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

湯沢町が力を入れるべき子育て支援策については、「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」の割合が56.5%で最も高く、次いで「公園などの遊び場の整備」(54.1%)が続き、以下「児童が安全に遊びや健康を増進することができる場所・機会の提供・充実」(51.2%)、「豊かな体験ができる文化スポーツ教室など生涯学習の充実」及び「犯罪から子どもを守る体制の整備」(同率49.3%)などの順となっています。

#### 湯沢町が力を入れるべき子育て支援策【複数回答】

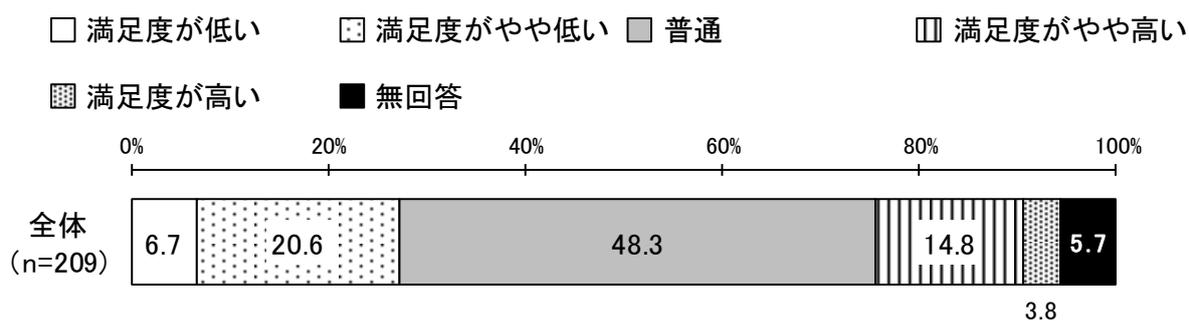


## (32) 子育ての環境や支援への満足度

問23 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

町の子育ての環境や支援への満足度については、「普通」の割合が48.3%で最も高く、次いで「満足度がやや低い」(20.6%)が続き、これに「満足度が低い」(6.7%)を合わせた“不満足である”が27.3%となっています。一方、“満足である”(「満足度がやや高い」14.8%と「満足度が高い」3.8%の合計)の割合は18.6%で、“不満足である”が“満足である”を上回ります。

### 子育ての環境や支援への満足度



## IV. 調査結果からみた課題

### (1) 育ちをめぐる環境について

主な子育ては「父母ともに」(53.5%)が半数以上となっていますが、「主に母親」が42.4%となっていることから、父親の育児参加について推進していく必要があります。

また、「祖父母等の親族にみてもらえる」割合が、緊急時もしくは用事の際では55.2%、日常においては36.0%となっていることから、祖父母等に向けた現状の育児情報の提供について充実させていくことが求められます。(問6、問7)

### (2) 保護者の就労状況と教育・保育事業について

母親の18.3%と父親の36.7%は帰宅時間が19時以降であることや、パートタイムで働いている母親の14.8%はフルタイムへの転換が実現できる見込みがあり、また、希望する平日の教育・保育事業の終了時刻が19時以降の方が2.9%となっています。日曜日・祝日の教育・保育事業についても、26.2%が「月に1～2回は利用したい」と回答しており、希望する利用終了時刻が19時以降と回答している割合が18.6%となっています。

これらのことから、ニーズを見極めながら時間外保育や休日保育の拡大について検討する必要があります。(問10、問11、問14-2、問19)

### (3) 職場の両立支援制度について

育児休業を取得していない割合は母親では24.4%で、その理由として「仕事が忙しかった」(33.3%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(21.4%)が上位にきています。一方、父親で取得していない割合が87.2%で、その理由として「仕事が忙しかった」(28.7%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(26.7%)のほか、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」も20.0%となっています。

そのため、育児休業取得について事業所への理解促進や制度の周知のほか、町民全体に両立支援に向けた意識の醸成を図っていく必要があります。(問13)

また、育児休業を取得していない理由として「収入源となり、経済的に苦しくなる」が母親で19.0%、父親で20.0%となっており、さらに0～2歳期における子育てとして「家庭保育給付など経済的な支援があれば、在宅で子育てしたい」「育児休業制度が整っていれば、在宅で子育てしたい」がそれぞれ半数以上となっているほか、育児休業から希望よりも早く職場復帰した母親の51.7%が「経済的な理由で早く復帰する必要があった」と回答しているなど、在宅における子育てや育児休業制度の促進を図る上で、経済的な支援が重要となっていることが示されています。(問13、問13-1、問13-7)

### (4) 地域子育て支援事業利用について

地域子育て支援事業の利用者は18.0%に留まっていますが、今後利用したい方も26.7%おり、また希望する利用回数も月に「1回～5回」が半数を超えていることから、利用者の充実度の向上を図りつつ、地域子育て支援事業自体の周知を徹底していく必要があります。(問16、問17)

## (5) 子育て支援事業の認知とニーズについて

子育て支援事業について「知らない」と回答した割合が高かった事業は、就学前児童アンケートでは、「教育相談センター・教育相談室」(60.5%)と「子育ての総合相談窓口」(51.7%)、就学児童アンケートでは「児童館」「子育ての総合相談窓口」(同率49.8%)「教育相談センター・教育相談室」(49.3%)となっていることから、周知の強化が必要です。

同様に、子育て支援事業のニーズで「今後利用したい」割合をみると、就学前児童アンケートでは「認定こども園の園庭等の開放」(62.2%)、「町が発行している子育て支援情報誌・チラシ等」(54.7%)、就学児童アンケートでは「町が発行している子育て支援情報誌・チラシ等」(34.0%)、「教育相談センター・教育相談室」(31.1%)となっていることから、周知の徹底と特に情報誌・チラシ等では内容の充実を図ることが求められます。(問18、就学児童問13)

## (6) 病児・病後児保育について

子どもが病気の際の対応で「病児・病後児の保育を利用した」は13.9%に留まっています。病児・病後児保育の利用希望についても「利用したいとは思わない」が58.3%で、その理由として「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が38.8%となっています。

不安の解消を図ることのできる周知の仕方を根気強く続けていくことが必要です。(問21-1、問21-2、問21-4)。

## (7) 放課後児童クラブ(学童保育)の利用について

平日の放課後過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ(学童保育)」と回答した方は、就学前児童アンケートの小学校低学年では40.0%、高学年では20.0%、就学児童アンケートでは「利用している又は利用したことがある」が40.2%、「今後利用したい」が27.8%、放課後過ごさせたい場所としては19.1%となっています。また、長期休暇期間中の利用希望(低学年と高学年の合算)は、就学前児童アンケートでは54.3%、就学児童アンケートでは36.4%となっていることから、ニーズに合わせた開設や内容等の整備を図っていくことが求められます。(問25、問26、問28、就学児童問13、問19、問21)

## (8) 今後町が力を入れるべき子育て支援策について

今後町が力を入れるべき子育て支援策として、就学前児童と就学児童アンケートのどちらも、「公園などの遊び場の整備」「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」「児童が安全に遊びや健康を増進することができる場所・機会の提供・充実」が上位3項目となっており、いずれも50%を超えています。

そのため、まずこれらの支援を進めていくことが重要であり、その後にそれぞれのアンケートの4位以下の項目について検討を進めていくことが求められます。(問29、就学児童問22)

## (9) 子育ての環境や支援への満足度について

子育ての環境や支援への満足度は、就学前児童・就学児童アンケートともに、「普通」が最も高く40%台となっています。しかし、「満足である(「満足度がやや高い」と「満足度が高い」

の合算)”と“不満足である（「満足度が低い」と「満足度がやや低い」の合算）では、どちらのアンケートでも“不満足である”の方が8.7ポイント上回っているため、子育て環境や支援の満足度向上に向け、取組を進める必要があります。（問29-1、就学児童問23）

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査  
調査結果報告書

平成 31 年 3 月  
湯沢町

〒949-6102 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立 1580 番地  
湯沢町 子育て教育部 子育て支援課  
TEL : 025-788-0292  
FAX : 025-788-0030